

田中谷遺跡(Ⅲ区)発掘調査報告書

2001年3月

松江市教育委員会
財団法人松江市教育文化振興事業団

『田中谷遺跡（Ⅲ区）発掘調査報告書』正誤表

ページ	行	誤	正
内表紙 例言	表題 3行 "4行	田中谷遺跡（IV区）発掘調査報告書 田中谷遺跡（IV区）	田中谷遺跡（III区） 田中谷遺跡（III区）
本文 抄録	最下4行 2行 フリガナ 書名	IV区以外は IV区を略している 第5図 田中谷遺跡（IV区）調査成績図 田中谷遺跡IV区は たなかにいせま はつくつちよさほうこくしょ 田中谷遺跡発掘調査報告書	IV区以外は IV区を略している 第5図 田中谷遺跡（III区）調査成績図 田中谷遺跡III区は たなかにいせま はつくつちよさほうこくしょ 田中谷遺跡発掘調査報告書

田中谷遺跡(IV区)発掘調査報告書

2001年3月

松江市教育委員会
財団法人松江市教育文化振興事業団

例 言

1. 本書は平成12年度に財團法人松江市教育文化振興事業団が実施した市道春日東生馬線拡幅工事に伴う出中谷遺跡（IV区）にかかる発掘調査報告書である。ただし、IV区以外は島根県埋蔵文化財調査センターが調査を実施しているため、本報告書本文中ではIV区を略している。

2. 本発掘調査は、松江市土木課から松江市教育委員会が依頼を受け、平成12年度に財團法人松江市教育文化振興事業団が実施したものである。

3. 調査組織は以下のとおりである。

依頼者 松江市土木課

事務局 松江市教育委員会 教育長 原 勤（平成12年9月30日まで）

伊藤 忠志（平成12年10月1日から）

生涯学習課課長 川原 良一

文化財室室長 岡崎雄二郎

文化財室主幹 古岡 弘行

主任主事 古藤 博昭

実施者 財團法人松江市教育文化振興事業団

理事長 宮岡 寿雄（平成12年5月6日まで）

理事長職務代理者

副理事長 安藤 瑞也（平成12年5月6日から）

（平成12年9月6日まで）

理事長 松浦 正敬（平成12年9月7日から）

事務局長 柳浦 孝行

調査係長 渥古 謙子

調査者 調査担当者 石川 崇

江川 幸子

調査補助員 宮本亜希子

青山 悅朗

4. 調査の実施にあたっては次の方々の指導と協力を得た。記して感謝の意を表する次第である。

中村唯史（島根大学汽水城研究センター客員研究员）

5. 本書の作成には以下のものが携わった。

(遺物実測) 江川、石川、宮本、青山、福田万里、人森裕子、柿田敬志

(浮書) 青山、宮本、福田

(拓本) 奥田美穂子、花田陽子、大森

6. 本書に掲載した写真は江川、石川、宮本、青山が撮影した。

7. 出土遺物はすべて松江市教育委員会で保管している。

8. 本書の執筆及び編集は江川、石川が協議してそれぞれ執筆・編集し、宮本、青山がこれを助けた。

目 次

調査の概要

I 調査に至る経緯	1
II 周辺の歴史的環境	3
III 調査概要	5
IV 遺構について	5
V 遺物について	17
VI 結 語	48

図 版



第1図 島根県地図

挿 図 目 次

第1図 岛根県地図	
第2図 □中谷遺跡位置図	1
第3図 □中谷遺跡調査区位置図	2
第4図 周辺遺跡位置図	4
第5図 □中谷遺跡調査成果図	6
第6図 □中谷遺跡北区遺構配置図	7
第7図 □中谷遺跡南区遺構配置全体図	9
第8図 □中谷遺跡南区遺構配置図（1）	10
第9図 □中谷遺跡SK-01平面図	11
第10図 □中谷遺跡南区遺構配置図（2）	12
第11図 □中谷遺跡南区遺構配置図（3）	13
第12図 □中谷遺跡杭列・流木検出状況	14
第13図 □中谷遺跡セクション図	15
第14図 遺物実測図（1）	19
第15図 遺物実測図（2）	20
第16図 遺物実測図（3）	21
第17図 遺物実測図（4）	22
第18図 遺物実測図（5）	23
第19図 遺物実測図（6）	24
第20図 遺物実測図（7）	25
第21図 遺物実測図（8）	26
第22図 遺物実測図（9）	27
第23図 遺物実測図（10）	28
第24図 遺物実測図（11）	29
第25図 遺物実測図（12）	30
第26図 遺物実測図（13）	31

第27図 遺物実測図 (14)	32
第28図 遺物実測図 (15)	33
第29図 遺物実測図 (16)	34
第30図 遺物実測図 (17)	35
第31図 遺物実測図 (18)	36
第32図 遺物実測図 (19)	37
第33図 遺物実測図 (20)	38
第34図 遺物実測図 (21)	39
第35図 遺物実測図 (22)	40
第36図 遺物実測図 (23)	41
第37図 遺物実測図 (24)	42
第38図 遺物実測図 (25)	43
第39図 遺物実測図 (26)	44
第40図 遺物実測図 (27)	45
第41図 遺物実測図 (28)	46
第42図 遺物実測図 (29)	47

図 版 目 次

図版 1 田中谷遺跡調査前全景	図版 8 土器・土製品・木製品
図版 2 遺物出土状況	図版 9 弥生土器
図版 3 流木検出状況・川河道土層断面	図版 10 弥生土器
図版 4 木製品出土状況	図版 11 弥生土器・土師器
図版 5 北区SB-01・SK-01壳掘状況(上)	図版 12 弥生土器・土師器・須恵器・土製品・黒曜石
図版 6 北区壳掘状況	
図版 7 弥生土器	

I. 調査に至る経緯

平成11年度において島根県住宅供給公社が松江市法吉町地内において、(仮称)法吉団地造成工事を計画した。この計画に併せて松江市都市建設部土木課(事業者)では、既存の市道改良工事と住宅団地内への新設を目的とする市道春日東生馬線改良工事を計画し、平成11年7月12日付けで市教育委員会に予定地内の分布調査依頼書を提出した。

その依頼を受けて当教育委員会では平成11年7月に住宅団地予定地内の市道新設部分について試掘調査を実施し、併せて島根県教育委員会によって宅地造成部分の試掘調査が行なわれた。

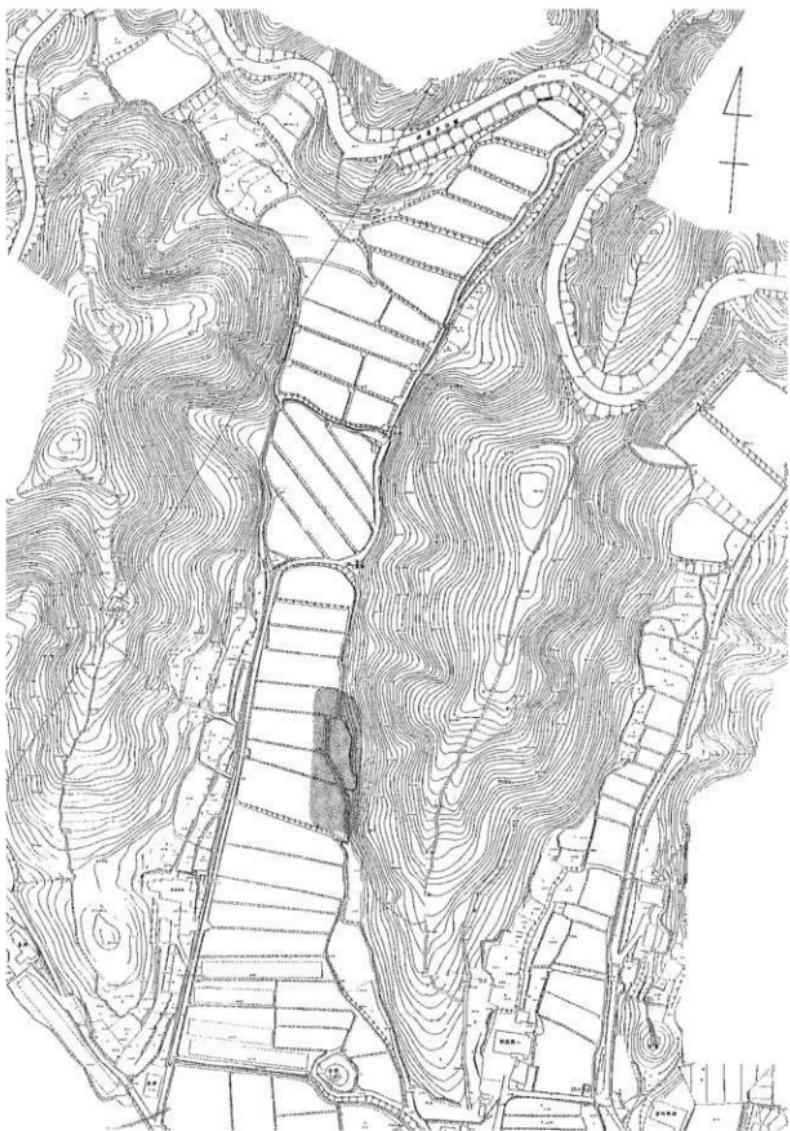
この調査の結果、道路計画部分を含む範囲で弥生上器片、上師器片、須恵器片が大量に検出され、本遺跡の存在が明らかになった。遺物の出土した地点の北側には遺物散布地として周知の「田中谷遺跡」が存在しており、同じ谷筋で発見された他の遺跡を含めてこの遺跡の広がりと考えられ、事前の発掘調査を実施する必要が生じた。

事業者により平成12年3月15日付上第1404号で予定地内の発掘調査依頼書が当教育委員会に提出されたことを受け、平成12年度において発掘調査を実施することとなった。

本遺跡の発掘調査については松江市教育委員会が財団法人松江市教育文化振興事業団に委託して、平成12年4月から実施したものである。



第2図 田中谷遺跡位置図



第3図 田中谷遺跡調査区位置図

II. 周辺の歴史的環境

田中谷遺跡は松江市街地の北側、法吉町の北側・東側・西側三方を丘陵に開まれた谷筋に位置する。

本遺跡内は近年まで田畠として使用されており、当事業団で調査した地点は谷筋のほぼ中央東側である。他の地点に関しては島根県埋蔵文化財調査センターによって調査が行なわれた。

本遺跡の周辺の歴史的環境は、旧石器時代から弥生時代にかけて、明確な遺構を持つ遺跡が確認されていなかった。本遺跡の南側に位置する法吉遺跡②からは縄文土器や弥生土器、石器類が、下り松遺跡③からも弥生土器や石器が出上している。

古墳時代になると確認されている遺跡の数が増えてくる。まず、すぐ南側に位置する塚山古墳④や谷を一つ離れた丘陵突端に伝宇牟加比売命御陵古墳⑤がある。塚山古墳は1999年に調査が行なわれ造出部が確認された。伝宇牟加比売命御陵古墳は一辺が約16m、残存高が約2mで主体部は石囲いの木棺を使用していたものと思われ、南側に造出を持つ古墳である。また造出には埴輪が埋め込まれており墓前祭祀に使用したと思われる円筒上器や須恵器も出土している。

そのほかにも21基からなる月選古墳群⑥は竜虎鏡などの鏡が出土し、箱式石棺や碌床をもつ木棺が使用されていたと考えられる。岡田薬師山古墳⑦は主体部が石室で須恵器や玉類が埋葬されていた。この他にも本遺跡の南側丘陵頂上部にある久米占墳群⑧は6基（内方墳4基）からなり、さらにその南側には方墳4基からなる唐梅古墳⑨が存在する。

この時期にはこの周辺が開けていたことが伺えるが、集落址など生活遺構を持つ遺跡はあまり確認されていない。



第4図 周辺遺跡位置図

これ以後なるとまた数多くの横穴墓群が確認されている。ひゃくだ横穴⑩、比津が崎横穴⑪、水酌崎横穴群⑫などである。

平安時代以降には、2基の経塚をもつ山積古墓群⑬や一字一石経が出土した石在経塚⑭、渡来銭（宋錢・明錢）と長さ約44cmの脇差し一口が出土したコゴメダカ山遺跡⑮など古墓が確認されている。

戦国時代この周辺は、尼子氏の勢力下にあり「尼子十旗」のうち第一と言われた白鹿城⑯があり、その出城と思われる高つぼ山城⑰や小白鹿城⑱がある。白鹿城は尼子氏の家臣松田氏の居城とされ、1563年（永禄6年）に毛利氏によって攻略された。その戦いは激戦を極め、毛利・尼子の両軍にかなりの戦死者が出たとされている。石敷きの基壇や宝篋印塔が出土した二反田古墓⑲はその戦いの折の墓とされる⁽⁵⁾。

周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	種別	摘要
①	田中谷遺跡	法吉町田中谷	散布地	弥生土器、須恵器、木器
②	法吉遺跡	法吉町尾後	散布地	縄文土器、弥生土器、石器
③	下り松遺跡	法吉町下り松	散布地	弥生土器、須恵器、石器
④	塙山古墳	法吉町下り松	古墳	方墳（墳長約30m）、埴輪、
⑤	伝宇摩加比充命御陵古墳	法吉町鶯谷	古墳	方墳（1辺16m）、刀子、円筒埴輪
⑥	月廻古墳群	比津町比津ヶ丘	古墳	21基、玉類、鉄器、駕籠鏡
⑦	岡田茱萸山古墳	法吉町	古墳	方墳（1辺10m）、子持壺、玉類
⑧	久米古墳群	法吉町久米	古墳	6基（内方墳4基）
⑨	唐梅古墳群	法吉町唐梅	古墳	方墳4基
⑩	ひゃくだ横穴	比津町	横穴	四柱式妻入、家形石棺
⑪	比津が崎横穴	比津町	横穴	須恵器
⑫	水酌崎横穴群	比津町水酌崎	横穴	須恵器、玉、金環
⑬	山積古墓群	法吉町山積	古墓	経塚2基
⑭	石在経塚	法吉町石在	古墓	一字一石経
⑮	コゴメダカ山遺跡	法吉町	古墓	宋錢・明錢
⑯	白鹿城	法吉町	城跡	
⑰	高つぼ山城	法吉町	城跡	白鹿城の出城
⑱	小白鹿城	法吉町	城跡	白鹿城の出城
⑲	二反田古墓	法吉町二反田	古墓	宝篋印塔14基以上

III. 調査概要

田中谷遺跡は松江市法吉町地内にあり、北山山脈にある真山から派生した丘陵の末端部付近に位置する。東西両側を丘陵に挟まれた谷地形であり、この谷は降雨量が少ない時期でも絶えることなく小川が流れ、南側にある春日町や黒田町の低地に流れ込んでいる。

本遺跡は谷全体が遺跡であるが、本報告書は当事業団が行なった市道建設予定地（市道春日東生馬線）の発掘調査によるもので、それ以外の宅地造成部分は島根県埋蔵文化財センターが調査を行った。本調査区は谷のほぼ中央、谷の中央よりもやや東側に位置する（第3図）。

本調査は廃土処理の関係上、南北二分して行なった。南北両区とも試掘調査の際に上面に堆積していた灰色粘質土には遺物が混入していないことが確認されているため、重機で上面の灰色粘質土までをすべて除去し、そこから手掘り調査を行った。

調査の結果、全面的にはⅠ河道を中心に東西両側で様相が異なる。まずⅠ河道は中央やや東寄りから検出された。旧河道は1本ではなく、土壠断面から小さな小川が何度も氾濫を繰り返して幾重にも流れを変えたために平面的には1本の河道のように見えた。Ⅱ河道の西側は非常に安定した地盤に掘立柱建物跡と考えられる遺構や溝、土壙などが確認されている（第5図）。反対にⅢ河道の東側は上部の丘陵からの土砂が大量に流れ込んでいたが、遺構は確認されなかった。

IV. 遺構について

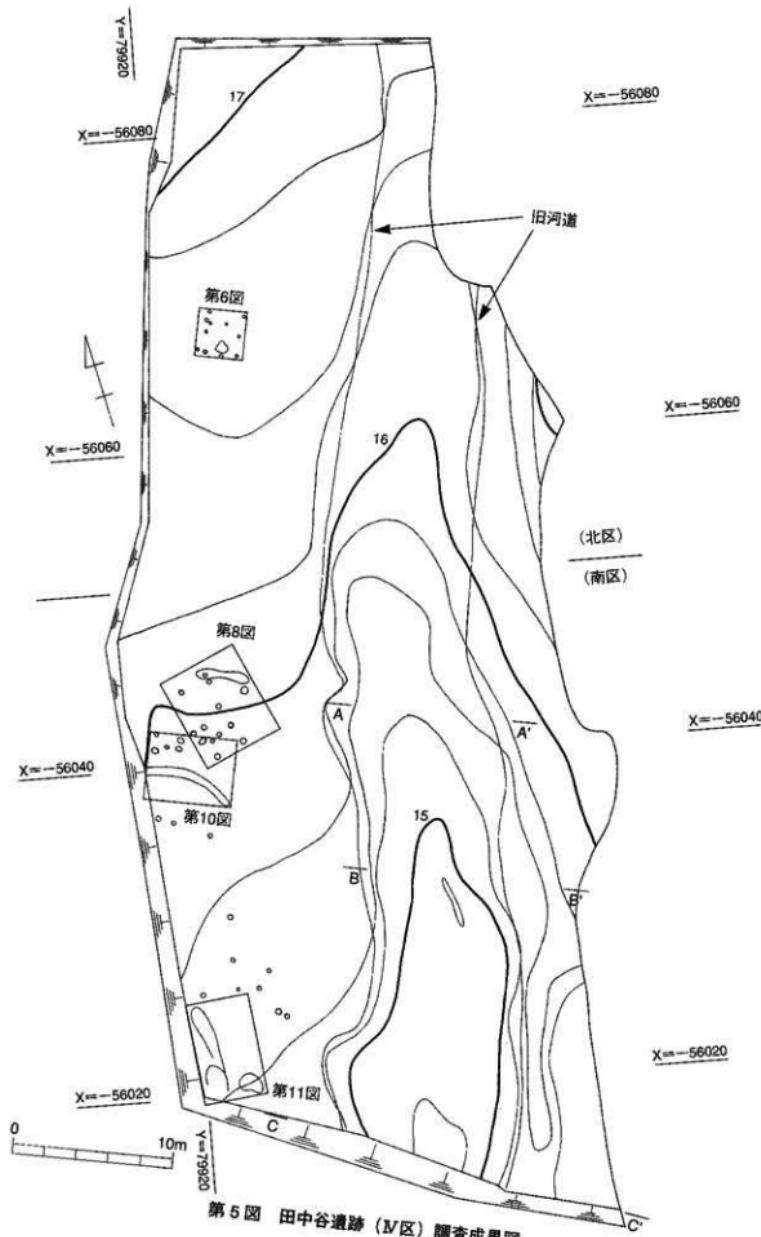
○北区

まず旧河道の西側からは掘立柱建物跡（SB-01）と土壙（SK-01）を検出した（第6図）。西側は基盤直上の土層はやや小さめの角礫が密に散布した層が堆積しており、同層から若干の遺物が出土したが、その量は極めて少量であった。その角礫を含んだ層の下から褐色の層が見られ、それが基盤層と考えられ、そこから遺構が検出された。

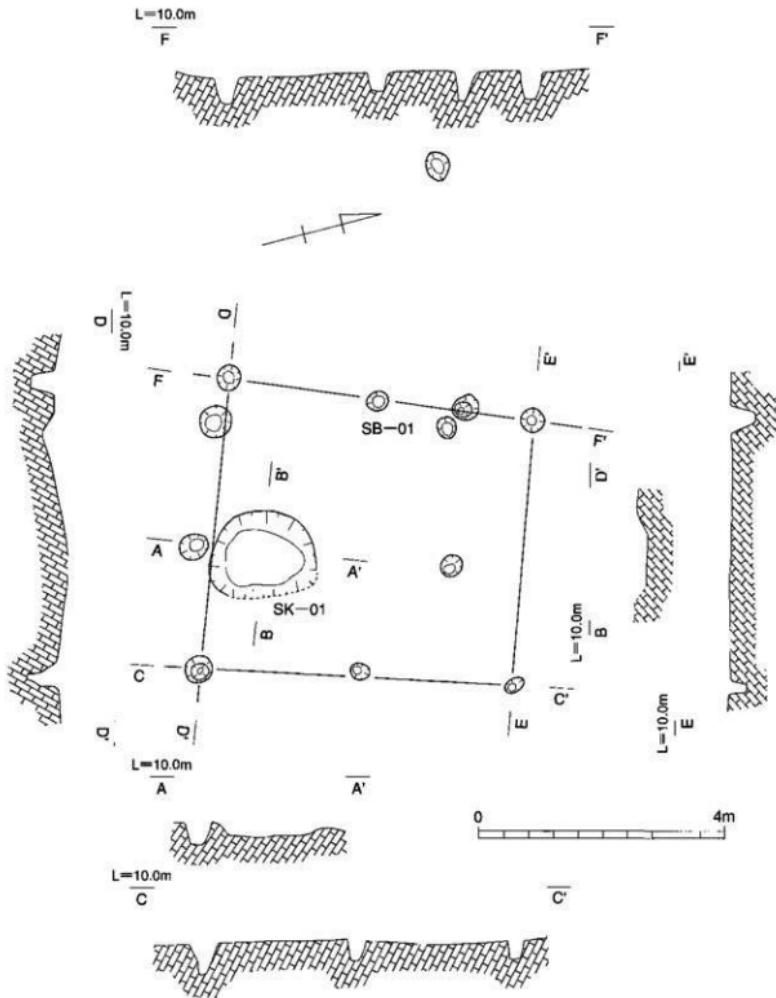
SB-01は梁行き2間、桁行き2間の掘立柱建物跡で、柱穴は上端径12~26cm、下端径5~14cm、深さ8~26cm、柱穴間の距離は約1mを測り、ほぼ等間隔に位置し、柱の数は7本を数える。検出された柱穴は浅いが、本来はもう少し深かったかもしれない。SK-01を伴う住居と考えられる。

SK-01はSB-01の西側に位置する。平面形は不整形円形で、上端径130~220cm、下端径120~210cm、深さ8~15cmを測る。覆土は2層あり、床面直上は明茶色粘質土、その上には炭化物を含んだ黒灰色土が堆積している。その炭を含んだ層から摩滅した土器が出土しているが、時期の限定はできなかった。SB-01とは何らかの関連があると思われるが、その用途については不明である。

旧河道は上層にあたる灰色砂層や砂礫層中から大量の遺物が出土した。遺物の中には若干の石器も含まれていたが、土器片がその大半を占めていた。出土遺物の時期は弥生時代後期のものが大半を占めており、それ以外には古墳時代前期から古墳時代後期の須恵器なども出土している。



第5図 田中谷遺跡(IV区) 調査成果図



第6図 田中谷遺跡北区造構配置図

○南区

北区と同様に西側に安定した基盤層から遺構が検出された。掘立柱建物跡が2棟（SB-02～03）、土壙が1基（SK-02）、溝が4本（SD-01～04）、これ以外にも数多くのピットが検出されたが、建物などの復元にはいたらなかった。また旧河道中からは杭列が検出された。

第7図は南区の遺構群の全体図である。第8～10図は南区の中で北側に位置する遺構群である。掘立柱建物跡が2棟（SB-02～03）、土壙が1基（SK-02）、溝が2本（SD-01～02）、これ以外にも数多くのピットが検出されたが、建物などの復元にはいたらなかった。

第8図は掘立柱建物跡と思われる遺構を中心としたものである。

SD-01の平面形は途中でくびれるが、東西方向に走るほぼ直線形を呈するもので、長さは約3.0m、上端幅32～58cm、下端幅20～30cm、深さ1.7～11.6cmを測る。覆土は炭化物を大量に含んだ濃灰色土1層で、その中から上器片が多数出土したが、時期が限定できるものはなかった。遺構内にピット（SB-02の柱穴）を検出し、このSD-01がSB-02に伴うものと考えられる。

SB-02は梁行き1間、桁行き1間の掘立柱建物跡で、柱穴は上端径42～62cm、下端径14～30cm、深さ26～47cm、柱穴間の距離は約1.6mを測り、ほぼ等間隔に位置する。柱の数は4本を数える。検出された柱穴の中には深いものもあるが、本来はもう少し深かったかもしれない。SD-01を伴う住居と考えられるが、SB-02内から遺物は出土しなかった。

SB-03は梁行き1間、桁行き2間の掘立柱建物跡で、柱穴は上端径10～44cm、下端径6～26cm、深さ16～42cm、柱穴間の距離は梁行き側1.1m、桁行き側0.8mを測る。柱の数は6本を数える。検出された柱穴の中には深いものもあるが、本来はもう少し深かったかもしれない。東南隅の柱穴からは柱根らしきものが残っていた。ピットや住居址内から遺物は出土しなかった。

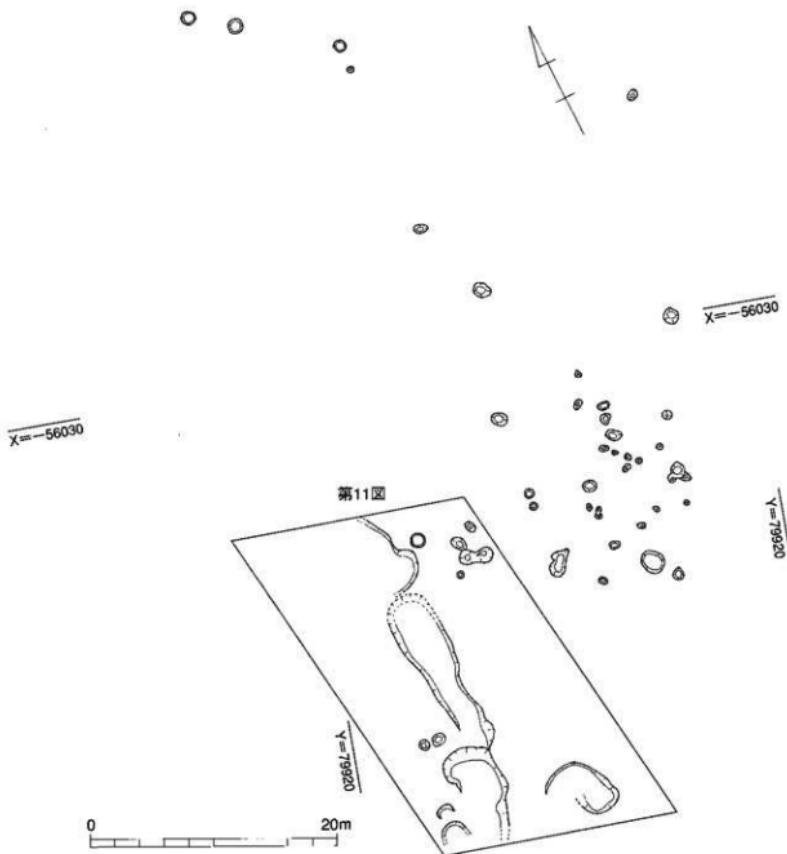
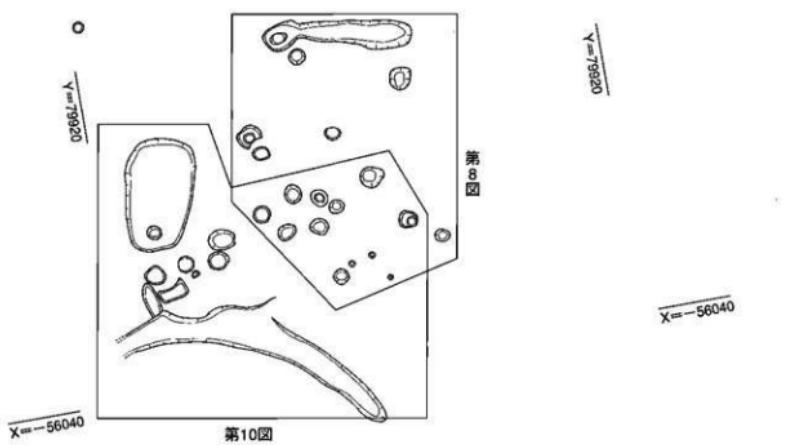
このほかにもピットが検出され、これらの建物とは異なる建物跡がほかのピットと対応して復元できる可能性がある。

第9図はSK-02を中心とした土壙群である。

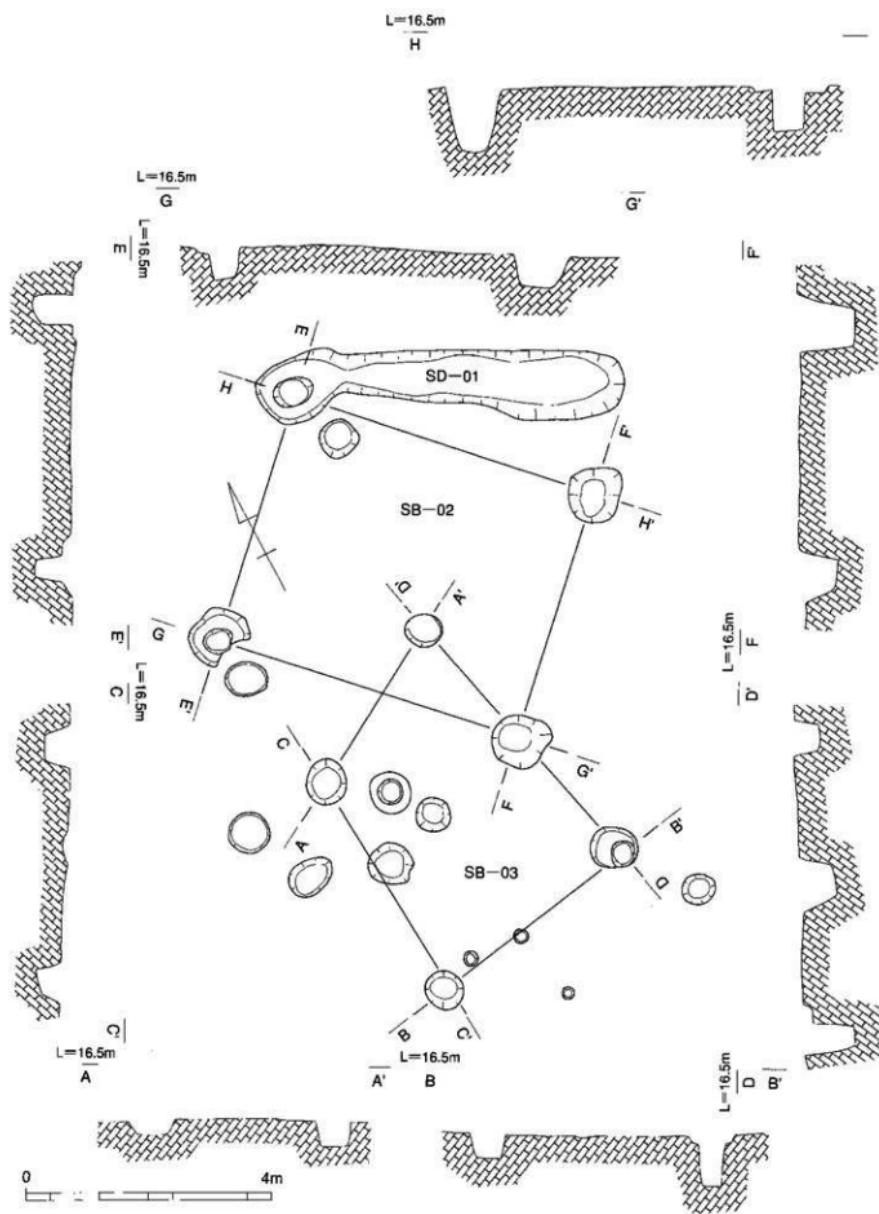
SK-02の平面形は隅丸方形を呈し、上端の長軸84cm、短軸72cm、下端の長軸64cm、短軸44cm、深さ8～12cmを測る。覆土は炭化物を含んだ褐色土1層であり、周辺にも炭化物が散らばっていた。その覆土からは弥生土器が1片出土しているが、詳細な時期を限定できるものではなかった。遺構内にピットがあるが、両者の関連については不明である。

第10図はSD-02を中心とした遺構群である。

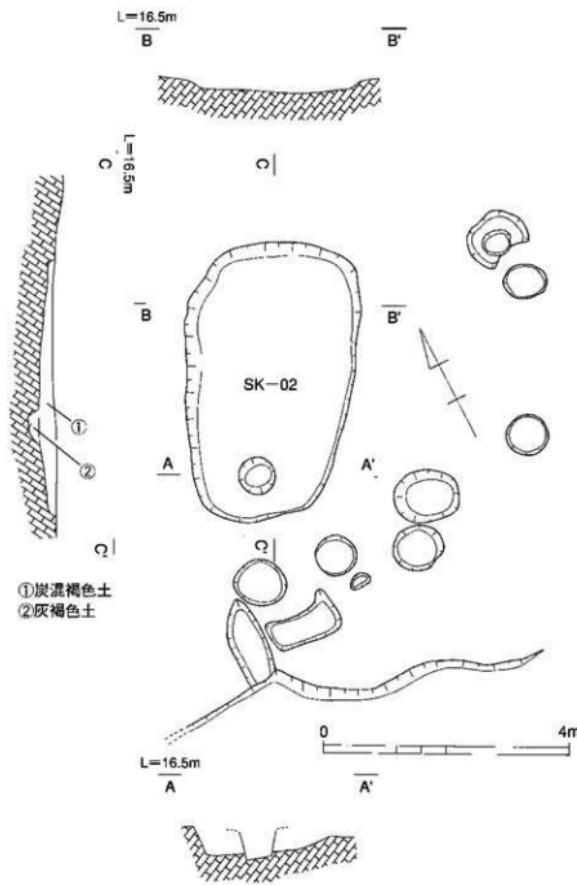
SD-02の平面形は東西方向に走り、弧状を呈するもので、途中で途切れるものの長さは約5.0m以上を測り、西側にも続いているが調査区外のため正確な長さは不明である。上端幅44～82cm、下端幅32～70cm、深さ10～30cmを測る。覆土は炭混じりの灰色土一層であったが、覆土中からは弥生土器が1片出土している。



第7図 田中谷造跡南区造構配置全体図



第8図 田中谷遺跡南区遺構配置図 (1)



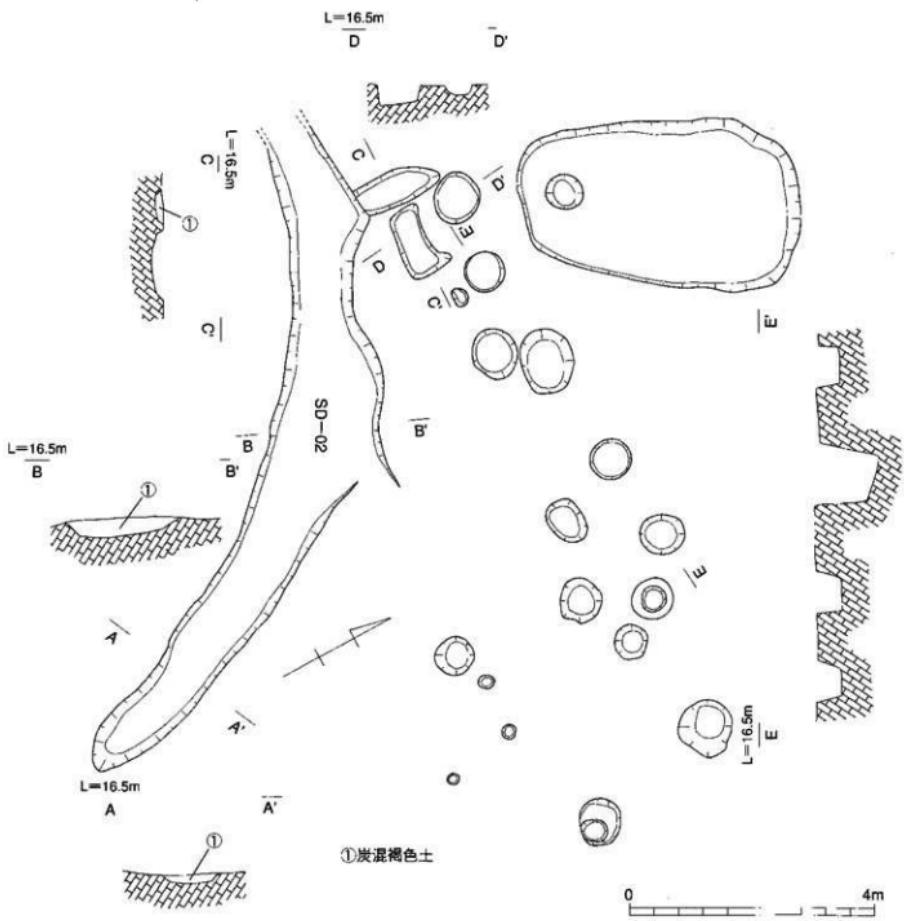
第9図 田中谷遺跡SK-01平面図

SK-03の平面形は円形を呈し、上端径38cm、下端径32cm、深さ8cmを測る。検出面からは浅く、性格等については不明である。自然にできたくぼみに上は入った可能性も考えられる。遺物は出土しなかった。

SK-04の平面形は椭円形を呈し、上端径28~69cm、下端径20~61cm、深さ10cmを測る。覆土は炭化物を含んだ灰色土1層であるが、遺物は出土しなかった。SD-02と切り合っているが、両者の時期差や関連など詳細は不明である。

SK-05の平面形は隅丸方形を呈し、上端の長軸58cm、短軸24cm、下端の長軸50cm、短軸18cm、深さ18cmを測る。覆土は炭化物を含んだ濃褐色土1層で、遺物は出土しなかった。

これらの遺構の相互関係や性格等の詳細については不明である。



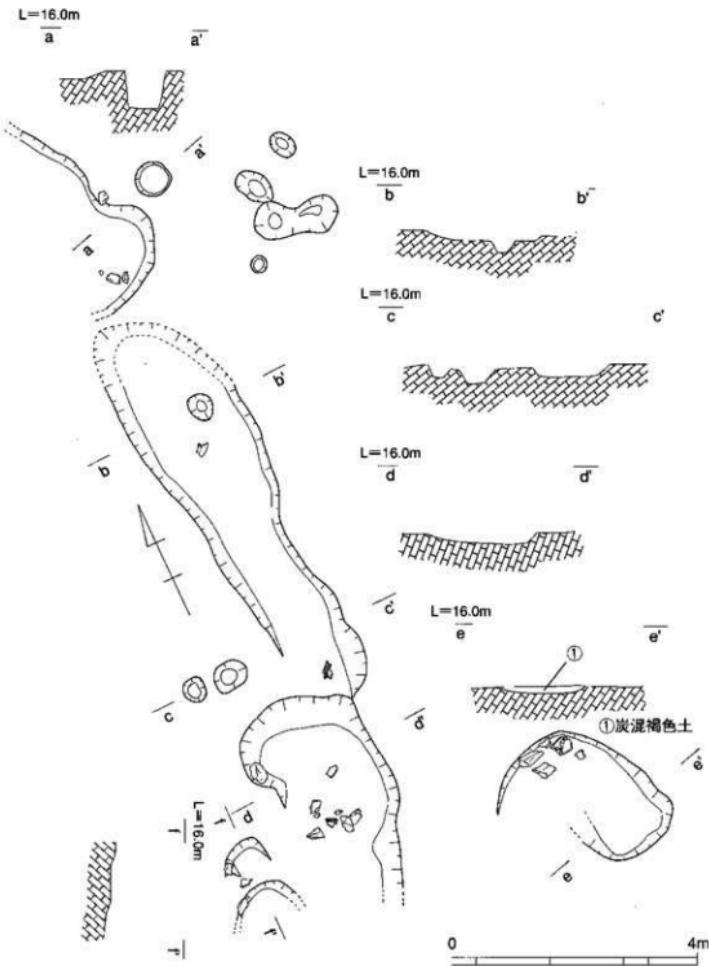
第10図 田中谷遺跡南区遺構配置図(2)

E-E'は直線に並ぶピット群である。ピットは上端径32~52cm、下端径23~36cm、深さ16~43cm、ピット間の長さは39~54cmを測る。これらのピットに対応する同様のピット群が検出できなかつたため、建物跡の復元はできなかつた。

周辺にはこれ以外にも多くのピットが検出されたが、いずれも建物跡の復元にはいたらなかつた。

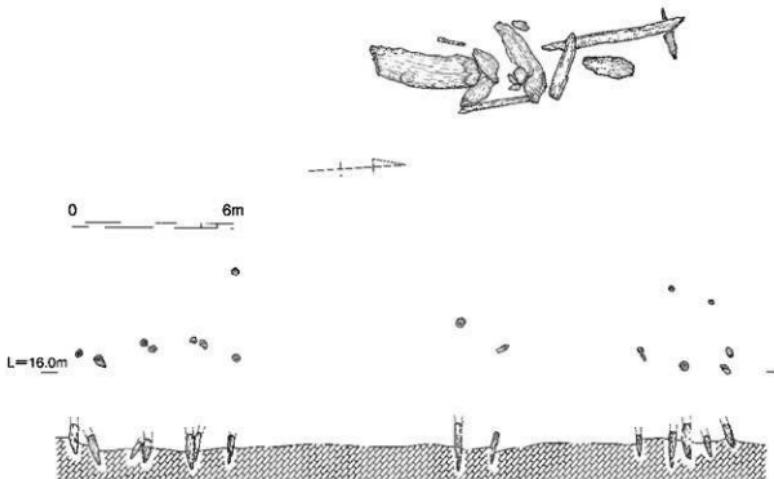
第12図は南区の南側から検出された遺構群で、いずれも用途不明遺構である。

SX-01は西側が調査区外のため半分しか検出できなかつた遺構である。高低差は6cmを測る。覆土中から土器片が数片出土し、弥生土器の底部が出土した。



第11図 田中谷遺跡南区造構配置図（3）

SD-03の平面径はほぼ直線形を呈するもので、南側は途切れているかもしくはSX-02によって削平されている。長さは約3.5m、上端幅96cm、下端幅74cm、深さ6cmを測る。覆土は炭化物を含んだ灰色土1層で、覆土中からは土器が2片出土している。また造構内からピットが検出されているが、その関連については不明である。



第12図 田中谷遺跡杭列・流木検出状況

SX-02は南側が調査区外のため、全体を検出することができなかった。長さは2m以上、上端幅100cm、下端幅74cm、高低差は6cmを測る。石が4個、土器片が1片出土した。

SX-03は平面形はほぼ隅丸方形を呈すると思われるが、途中で途切れているため完全な形で検出できなかった。上端の長軸128cm、短軸80cm、下端の長軸114cm、短軸50cm、深さ5cmを測る。覆土は炭化物を含んだ褐色土1層で、石が5個、土器片が2片出土した。

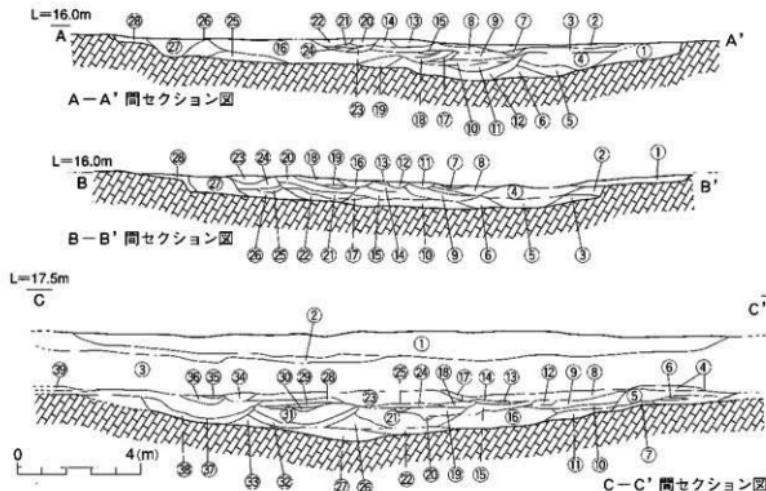
これらの遺構以外にも多くのピットが検出されたが、建物等の復元にいたらなかった。また炭化物を検出され、生活の痕跡がみられる。

第13図はII河道から検出された杭列と流木の出土状況である。

杭列は旧河道の西側で、ほぼ南北方向に約4mにわたって検出されたものである。杭は太さ5cm前後の木を使用している。杭は穴を掘って打ち込んだものではなく、形状は先が尖っているため直接的に打ち込んだものと思われる。杭が密集しているところは10cm前後の間隔をとって打ち込んでいるが、間があいているところは、すでになくなっていたものと思われる。

本米などの目的で杭を設置したかはわからないが、旧河道の端にあることや杭を境にして河道の反対側に建物跡らしき遺構が検出されているため、河道との境を示しものではないだろうか。

旧河道から出土した流木はしがらみ状に集積されていた。また土器とともに出土するところもあり、故意に投げ捨てたかもしくは大水によって流されて集まつたものと思われる。



第13図 田中谷遺跡セクション図

A-A' 間セクション図土層名

- ①風化石を多く含む褐色粘質土
- ②灰褐色粘質土
- ③淡灰褐色砂質土
- ④大礫を含む淡灰褐色砂質土
- ⑤石粒を多く含む淡褐色砂質土
- ⑥砂混じりの膠層
- ⑦灰色砂質土
- ⑧石粒を多く含む灰色砂質土
- ⑨石を多く含む灰色砂質土
- ⑩石粒を多く含む淡褐色砂質土
- ⑪石粒を多く含む灰色砂質土
- ⑫石を含む灰色砂質土
- ⑬淡褐色砂質土
- ⑭灰色砂質土
- ⑮大礫の膠間に灰色砂質土
- ⑯灰色砂質土
- ⑰膠流本を含む灰色砂質土
- ⑱石を多く含む褐色砂質土
- ⑲灰色砂質土
- ⑳腐食物(木片)を多く含む灰色砂質土
- ㉑茶灰色砂質土(炭を多く含む)
- ㉒大礫の灰色砂質土
- ㉓大粒の褐色砂質土
- ㉔黒色砂質土
- ㉕中膠層(間に砂をかむ)
- ㉖黒色粘質土
- ㉗風化した礫を多く含む褐色土

B-B' 間セクション図土層名

- ①小礫を多く含む褐色粘質土
- ②風化石を多く含む褐色粘質土
- ③礫を多く含む白色粘質土
- ④小礫を多く含む灰色砂質土
- ⑤黑色砂質土
- ⑥大礫を含む灰色砂質土
- ⑦濃灰色砂質土
- ⑧灰色砂質土
- ⑨小石を含む灰褐色砂質土
- ⑩黒色砂質土
- ⑪灰色粘質土
- ⑫黒色砂質土
- ⑬小石が多い黑色砂質土
- ⑭小礫を含む灰色砂質土
- ⑮礫が多い灰色砂質土
- ⑯黑色砂質土
- ⑰膠層
- ⑱灰色砂質土(炭が多い)
- ㉑淡褐色砂質土
- ㉒小石を多く含む砂質土
- ㉓小礫層
- ㉔小礫を多く含む灰色砂質土
- ㉕黑色粘質土
- ㉖灰色砂質土
- ㉗腐食物(木片)を多く含む黑色粘質土
- ㉘灰色砂質土
- ㉙大礫層
- ㉚風化した礫を多く含む褐色土

C-C' 間セクション図土層名

- ㉑褐灰色粘質土
- ㉒暗褐色粘質土
- ㉓灰色粘質土
- ㉔小石を含む褐色粘質土
- ㉕黒灰色粘質土
- ㉖褐色砂質土
- ㉗風化礫混じりの褐色土
- ㉘小礫を少々含む黑色粘質土
- ㉙小礫を多く含む灰色粘質土
- ㉚鉛塵を少々含む灰色粘質土
- ㉛風化礫混じりの褐色土
- ㉜礫混じりの褐色土
- ㉝淡褐色粘質土
- ㉞黑色粘質土
- ㉟小石を密に含む灰褐色砂質土
- ㉟中膠層を含む灰色砂質土
- ㉛黒褐色粘質土
- ㉜小礫を密に含む灰色粘質土
- ㉝小石を密に含む黑色粘質土
- ㉞黑色砂質土
- ㉟小礫を含む灰色砂質土
- ㉛大礫を含む白色粘質土
- ㉜大礫を含む白色粘質土
- ㉝小礫を密に含む褐色砂質土
- ㉞細繊維を密に含む灰色砂質土
- ㉟灰色砂質土
- ㉛中・大砂を含む灰色砂質土
- ㉝大砂を含む灰色砂質土
- ㉞中・中膠層を含む灰色砂質土
- ㉟小礫を含む灰褐色砂質土
- ㉛淡褐色砂膠層
- ㉝小礫を含む褐色粘質土
- ㉞中・大砂を含む灰色砂質土
- ㉟中・大砂を含む灰色砂質土
- ㉛中・大砂を含む灰色砂質土

第13図は旧河道の痕跡を示したセクション図である。A-A'間、B-B'間は表土も除去した後からの上層断面であり、C-C'間は表土を含めた上層断面である。C-C'間の①(褐灰色粘質土)～③(灰色粘質土)までは耕作上である。

II河道は調査区全域にわたってほぼ南北に走っていた。この土層断面から半月状の土層が数多くみられるが、これが1つ1つの河道であり、大小の河道が数多く切り合っているような状態である。また大雨などによって谷に大水が集まり、通常幅狭で水量が少ない小川でも、河道の流れが変わってしまった。それが何度も繰り返されることによって幅約15mの1本の河道のような痕跡となった⁽¹⁾。

また旧河道の堆積上中からは大量に上器片も出土した。これは北区でも同様で木製品なども出土している。おそらくは谷で集落を営んでいた人々が投げ捨てたり、集落にあったものが大水で流されてきたものと推測される。出土器の大半が弥生時代後期の土器で、東端のII河道から須恵器が出土したため、弥生時代後期から古墳時代後期にわたって何度も流れを変えたものと思われる。

掘立柱建物跡は計3棟検出された。溝や上塙は住居に伴うものとして使用された可能性が高い。しかし柱穴の大きさや深さ、配列などから恒常的な住居よりも小屋のような臨時の住居の可能性も否定できない。また土壤や溝の覆土は炭化物を含んだ層であり、生活の痕跡を示すものと考えられ、河道から出土する大量の上器片や木製品などが集落の存在を示しているのではないだろうか。いずれにしても周辺に大きな集落があったことが推察される。

註)

(1) 鳥取大学汽水城研究センター客員研究员 中村唯史氏のご教授による

V. 遺物について

遺物は、上器、石器、木製品が出土した。これらの遺物の大半は旧河道群から出土したものであるが、旧河道群には複雑な切り合い関係があり、残念ながら層位的に遺物を取り上げることはできなかった。

土器は、遺構面から出土したものと旧河道群から出土したものがあったが、遺構面出土の破片と旧河道出土の破片が接合するものが見られたため、出土場所は後頁の遺物観察表に記載するにとどめて、掃縄内での区別はおこなっていない。

遺構面から出土した土器片は、量は多いもののいずれも風化が激しいうえに極めて小さい破片ばかりで、全体形が復原できる個体は非常に少なかった。かろうじて図面化できた土器は、壺では第14図11・15、甕では第16図3・7・24、第17図2・5、第18図3、第19図2のわずか9点のみである。

これに対して旧河道群から大量に出土した土器は細分化したものが多くたが、ほとんど風化が見られなかつたため、小片についてもできる限り復原して図面化することに努めた。旧河道群では、浅いレベルから深いレベルまで高い密度で上器が埋没していたが、上記したとおり旧河道群のセクションは非常に複雑で、必ずしも上層の遺物が新しいものであるという状況ではなかつたため、層位から新旧関係を判断することはできなかつた。

したがって、本報告では上器は出土地点、出土層位に関係なく、種類別に若干存在する新旧関係を考慮して図面の掲載をおこなつた（第14図～37図）。

全体を概観すると、時期は弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての土器が大半を占めている。松本編年で表現するとV-2様式からV-4様式で、一部古墳時代初頭の土師器も含まれている。中でも量が多かったのはV-3、4様式である。壺甕類の器壁外面には、肩部を中心に貝殻腹縁やハケ状工具で点文や羽状文などが施文された、装飾性に富んだ土器も多い（第30・31図）。その他の時期のものとしては古墳時代後期の上器があるが、全体からみるときわめて微量である。個別の詳細は後頁の遺物観察表にゆずることにして、以下では器種ごとに概略を記す。

・壺（第14・15図）

壺は出土数が少なく、全体における割合は低い。第14図13は内面がハケメ調整で、ケズリ調整が施されていない。口径の削には器壁が厚いものである。15は頸部に径約3cmの乳状突起の装飾が付けられたものである。第15図10はめずらしい長頸壺で、頸部には縦方向に丁寧なミガキ調整が施されている。

・甕（第16～29図11）

甕の出土数は非常に多く、出土遺物の大半を占めている。複合口縁の甕がほとんどであるが、単純U縁の甕も若干出土している（第29図1～11）。複合口縁の甕は、口縁端部に四線文が施されたものもあるが、大半は擬U線文が施されたものである。複合口縁の内面調整はヨコナデ調整が主流で、

部に横またはやや斜め方向のミガキ調整が認められる。ミガキ調整の位置や範囲は個体によって様々で、V-1～3様式の中では全体に占める割合は低いながら、全般に存在しているようである。V-4様式になるとこのミガキ調整は消滅している。底部は平底がほとんどであるが、やや丸底化したものも見られる（第32図）。

・注口土器（第29図12～18）

注口部の出土でしかその存在は判らず、全体形が復原できる破片は出土しなかった。第29図12は注口部基部にも文様が施されており、装飾性の高い個体であったと思われる。

・器台（第33・34図）

筒部がやや長いタイプから、「く」字状に折れ曲がるタイプまでがあり、時期的には壺・甕類と合致する。第33図10の受け部内外面には赤色顔料が塗布されている。

・高坏・低脚坏（第35～36図25）

高坏は、複合口縁とそれにともなう脚部、器壁の厚い脚部という典型的な弥生系の他に、第36図5、9、10など、明らかに古墳時代前期と考えられる脚部が出土している。坏と脚の接合部は必要以上に粘土を充填しているものと、コンパクトな円盤充填のものが見られる。低脚坏は、複合口縁を逆にした形状の脚をもつものが見られる（第36図18）。

・蓋（第36図26～28）

第36図26は複合口縁状のつまみを持つ蓋である。立ち上がり部には擬凹線文が施されている。28は天井部に粘土が充填されていないものである。

・上玉（第37図20～26図）

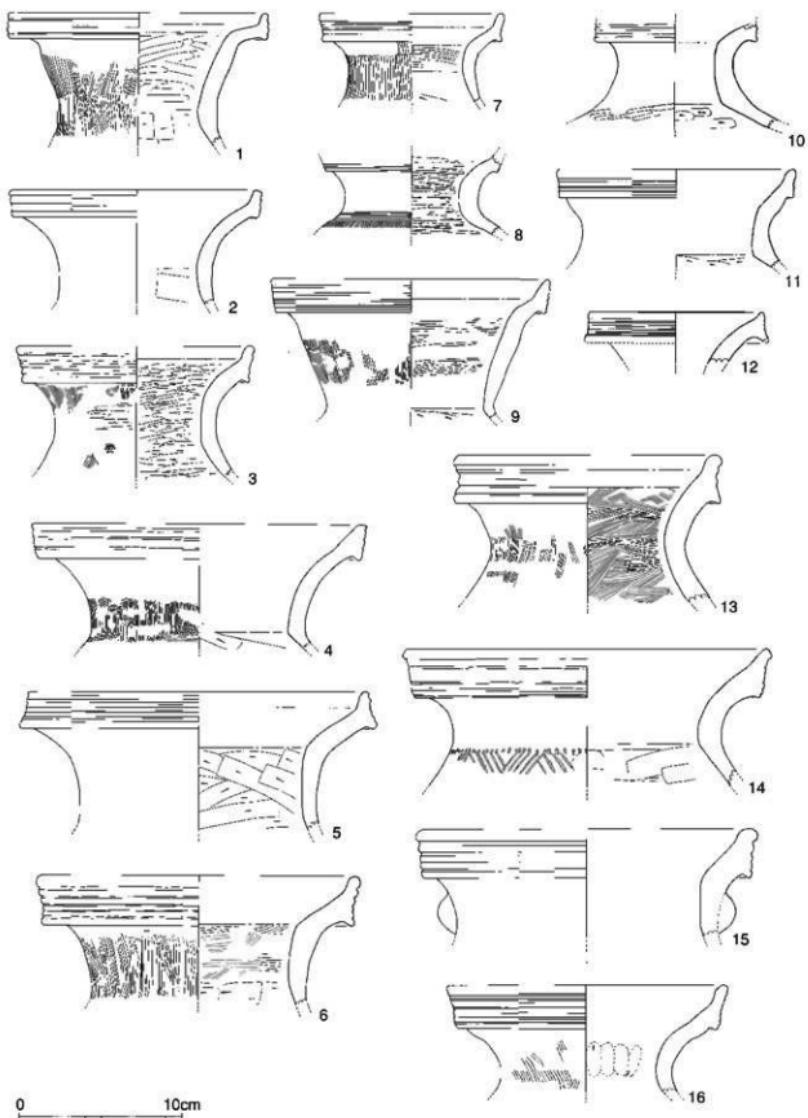
24のみ断面がやや扁平な形状を呈しているが、断面球形のものが多い。孔径は4～5mmである。25は対応する2カ所の位置に径の小さいくぼみが穿たれているが、孔は貫通していない。26はくぼみすら無い球形の玉で用途は不明である。

・その他（第37図1～19）

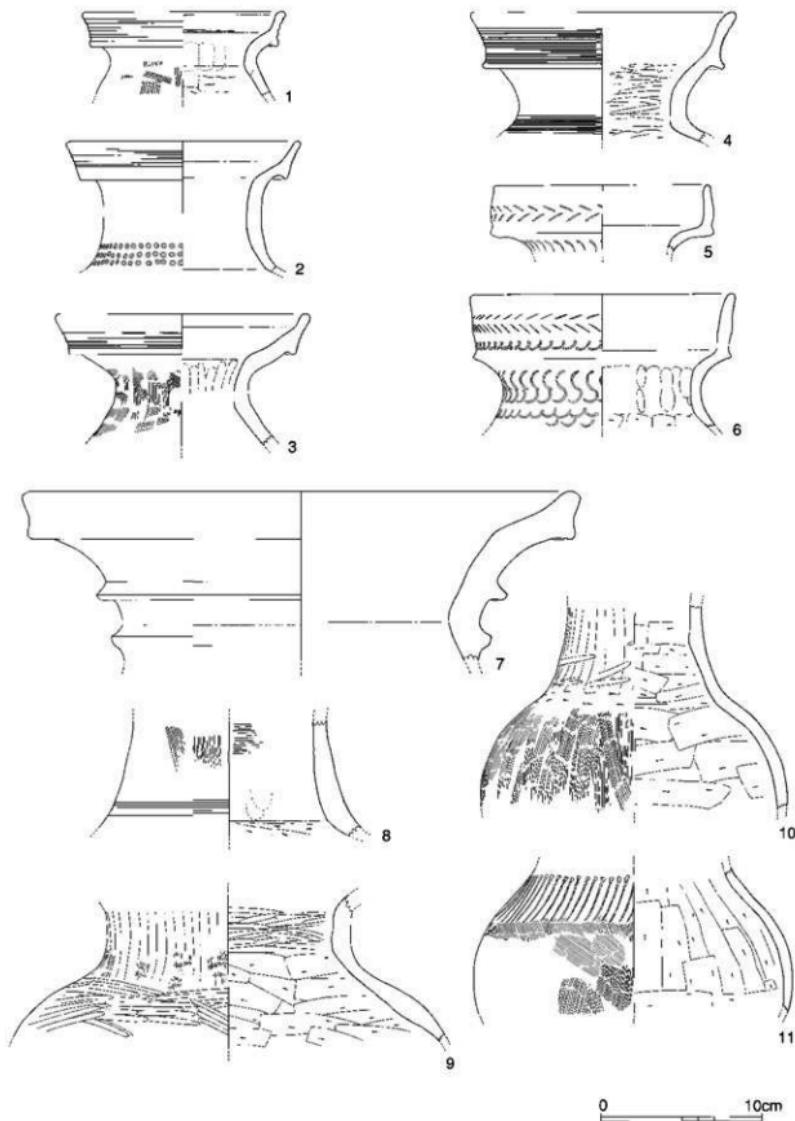
その他の少数の土器としては、把手部分（1、2、4）、甕型土器の把手（3）、土製支脚（5～7）、小型丸底壺（8～11）、須恵器の蓋（12）、坏（12～16）、高坏（17～19）がある。小型丸底壺は、複合口縁を持つやや古いタイプの8と、古墳時代前期の9～11がある。

石器は、出土状況は土器とほぼ同じである。

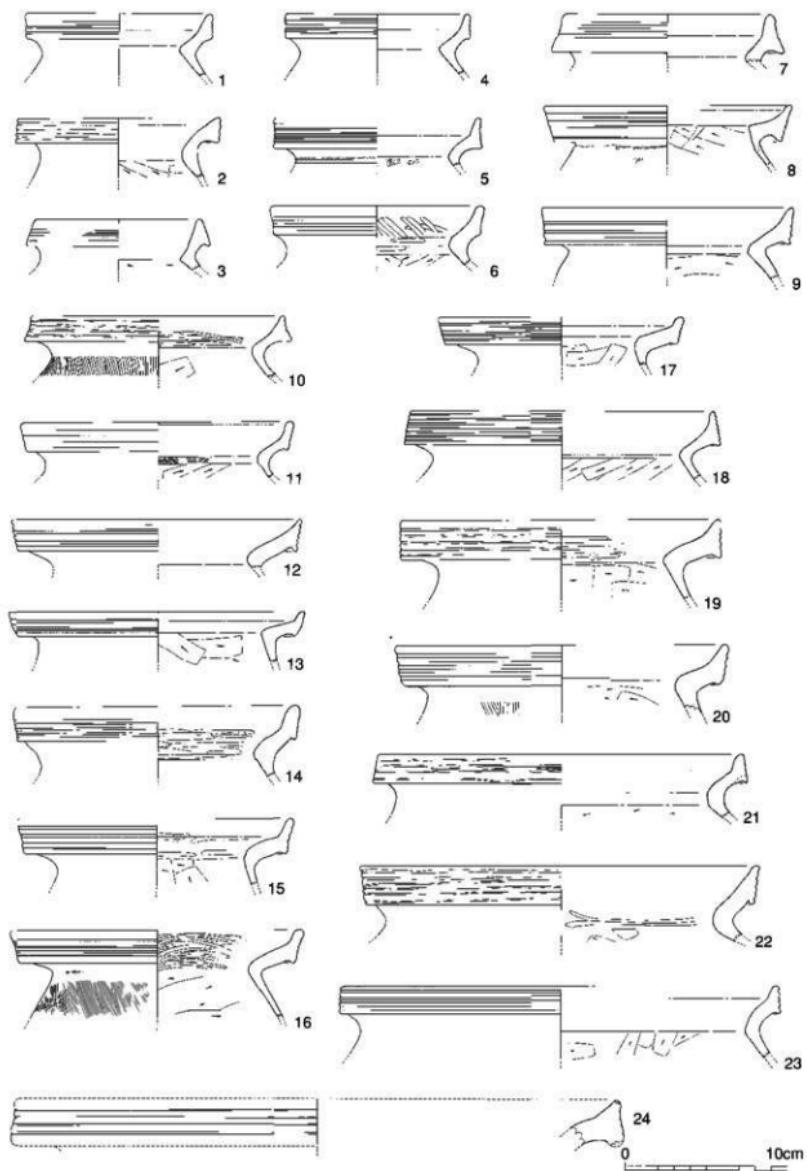
遺構面や旧河道群から、黒曜石製の鎌（第38図1、2）、鎌木製品（3）、スクレイパー（第38図4



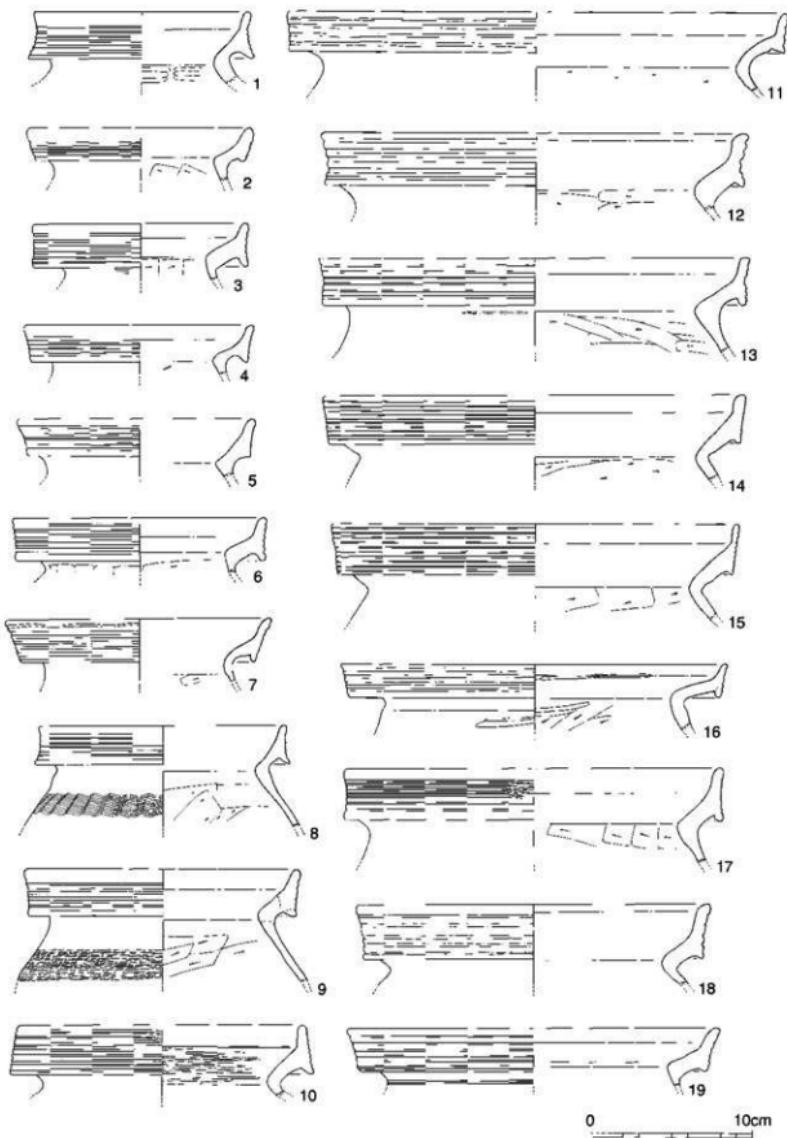
第14図 遺物実測図（1）



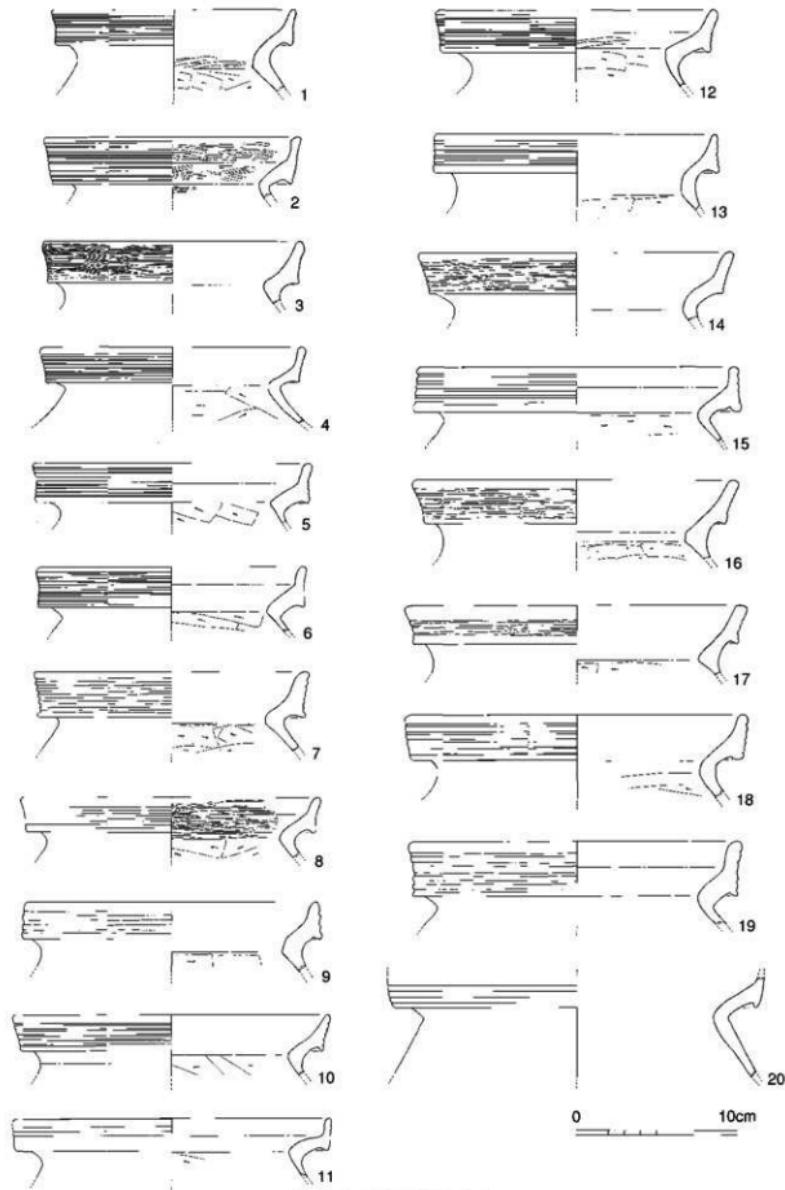
第15図 遺物実測図 (2)



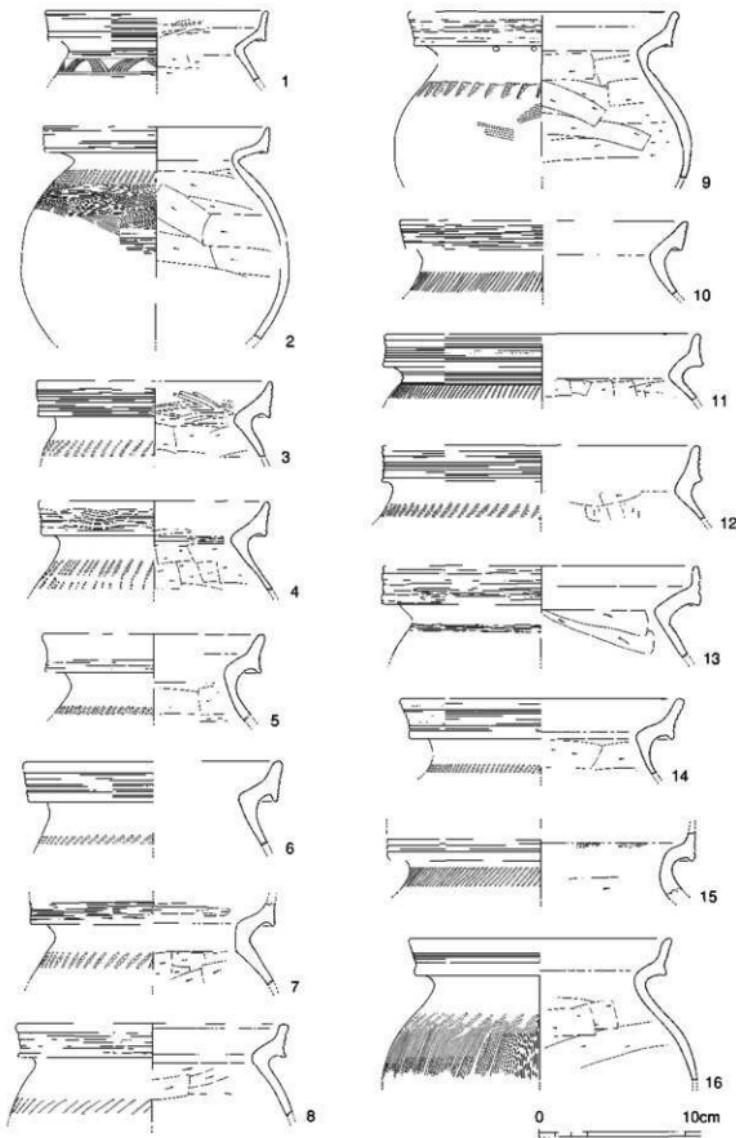
第16図 遺物実測図（3）



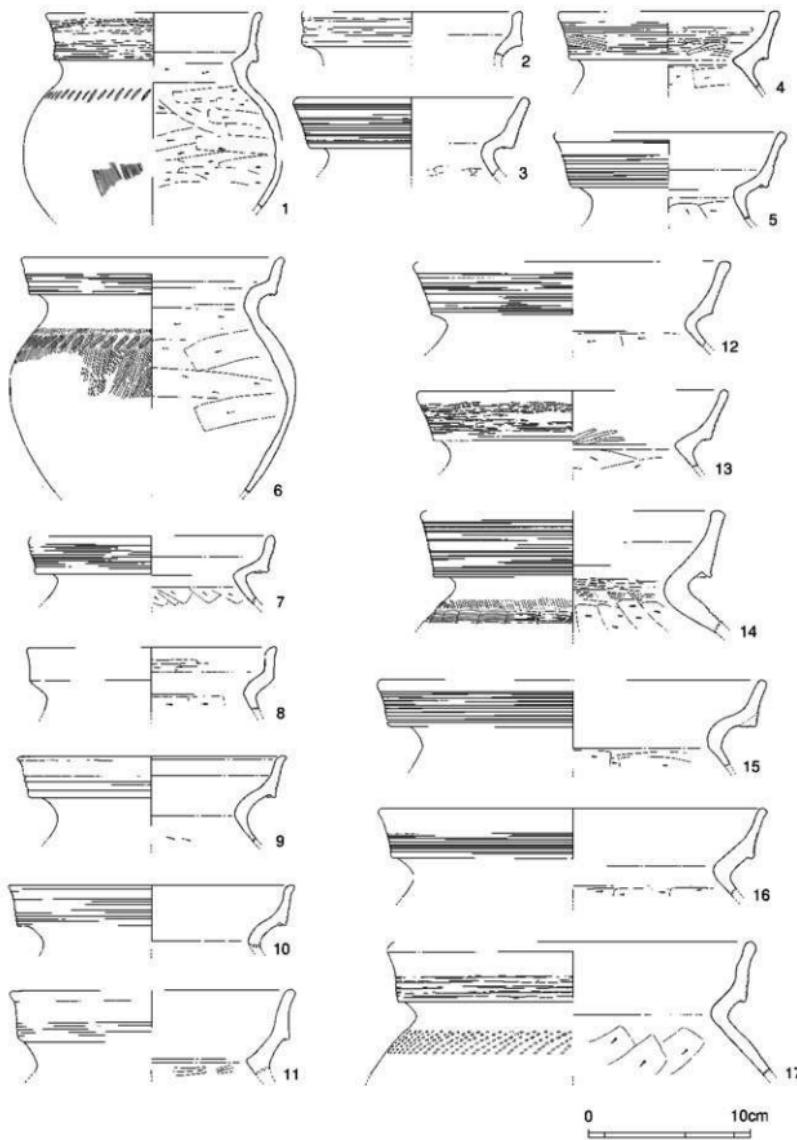
第17図 遺物実測図 (4)



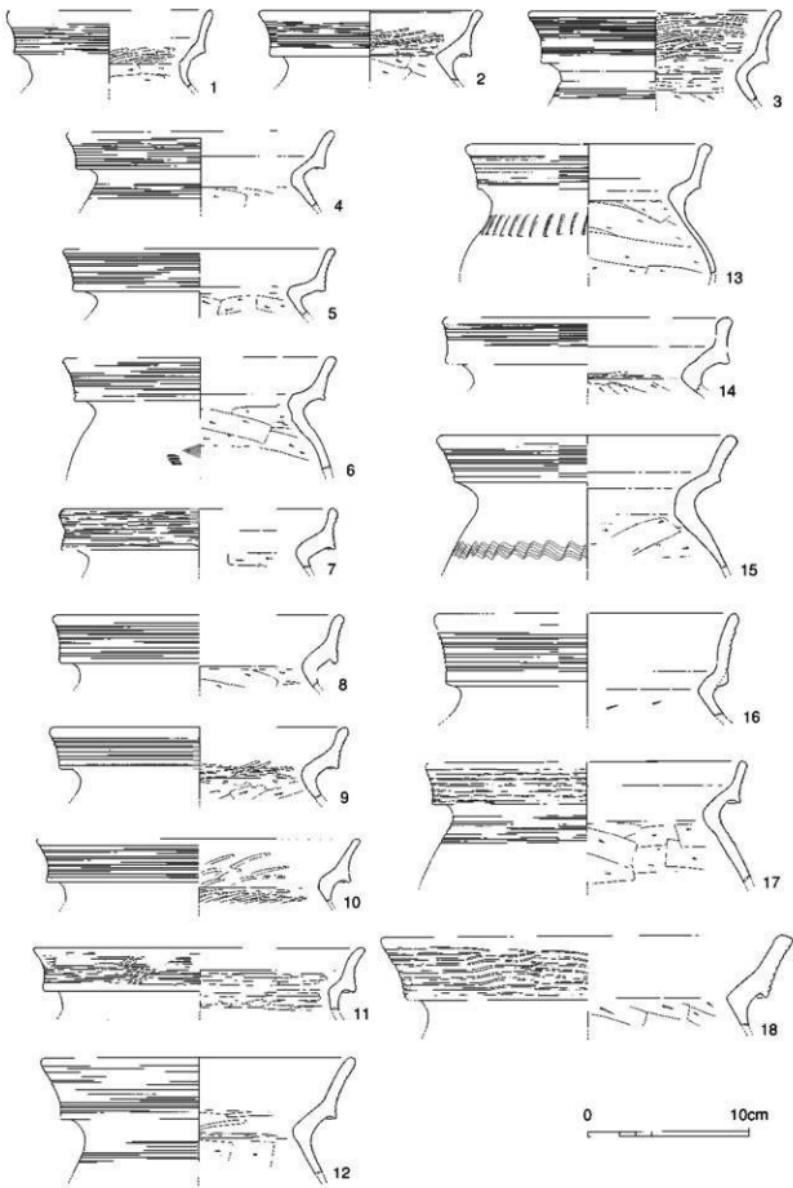
第18図 遺物実測図 (5)



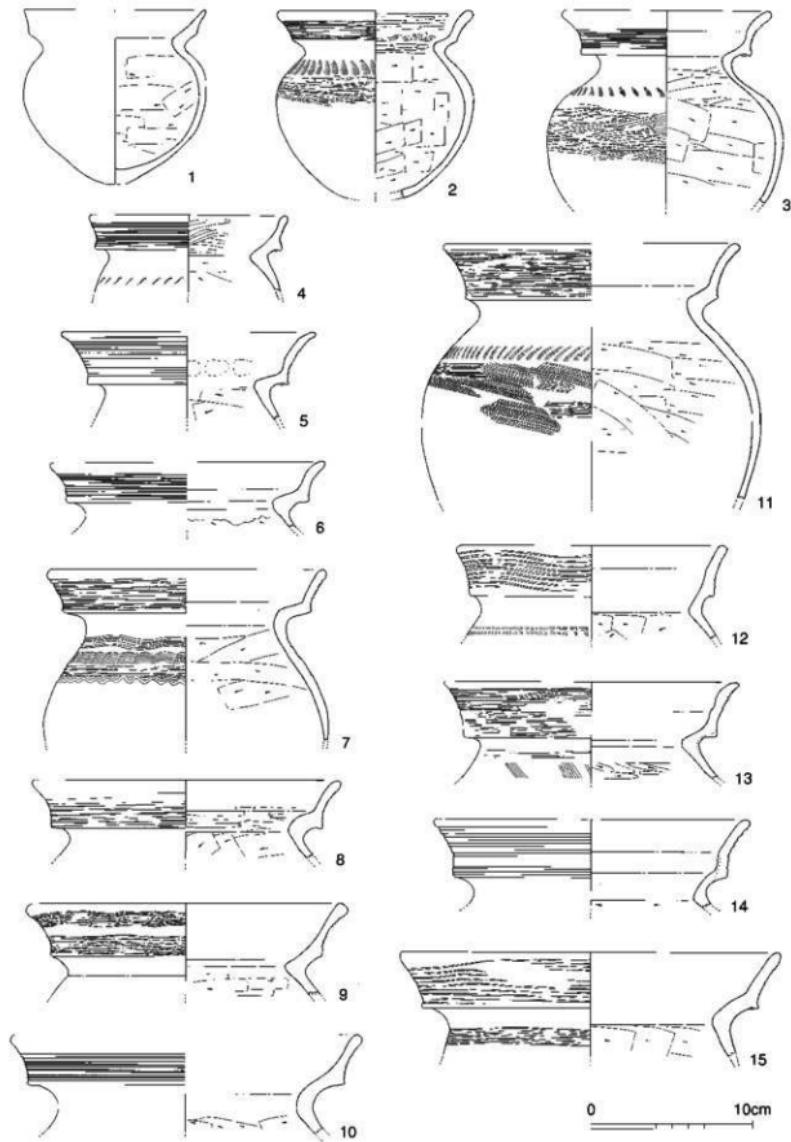
第19図 遺物実測図 (6)



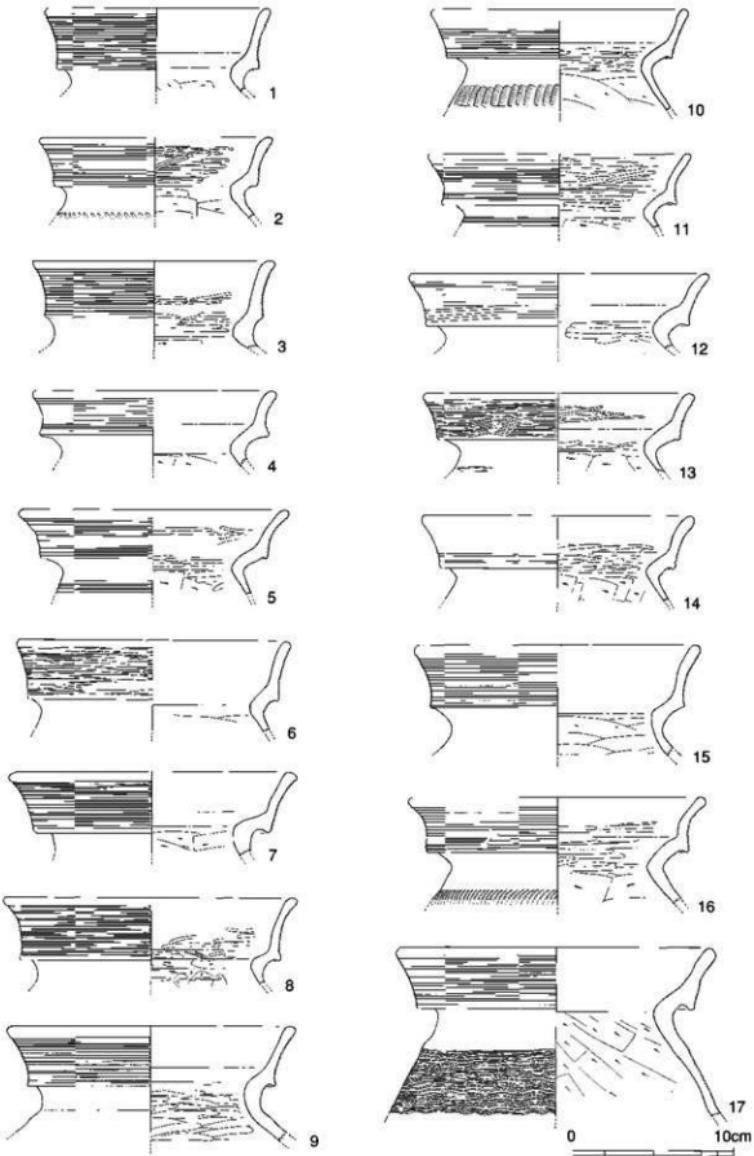
第20図 遺物実測図 (7)



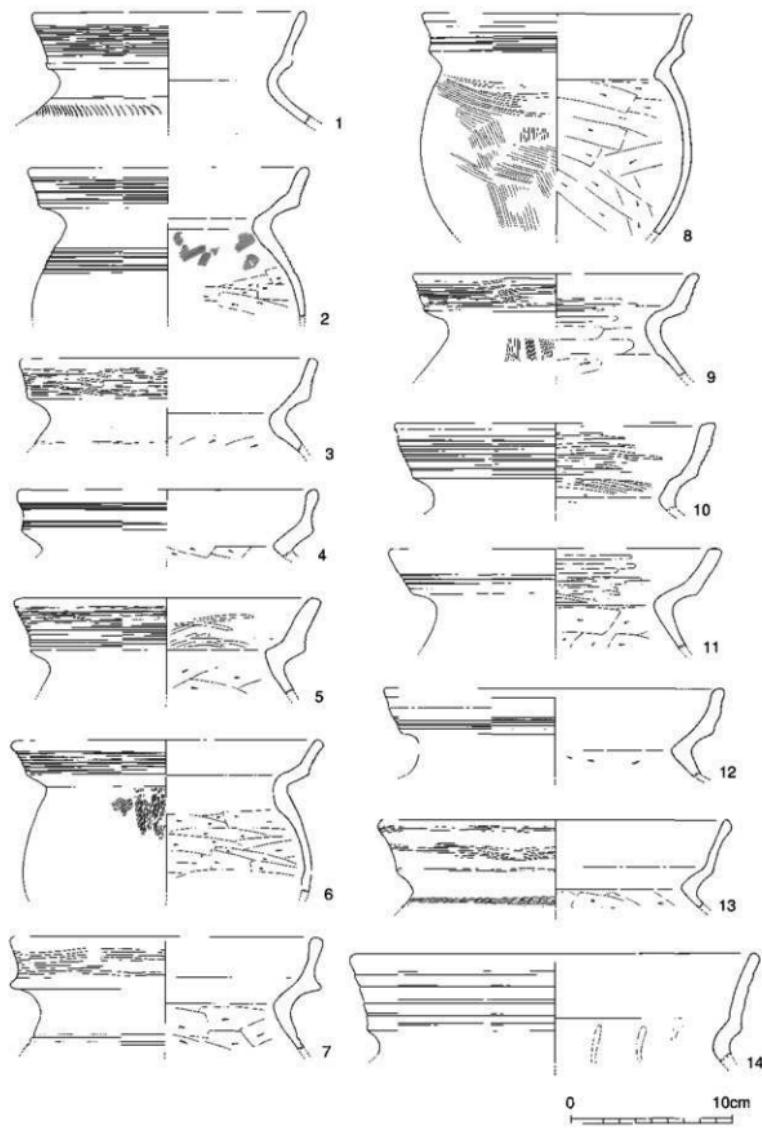
第21図 遺物実測図 (8)



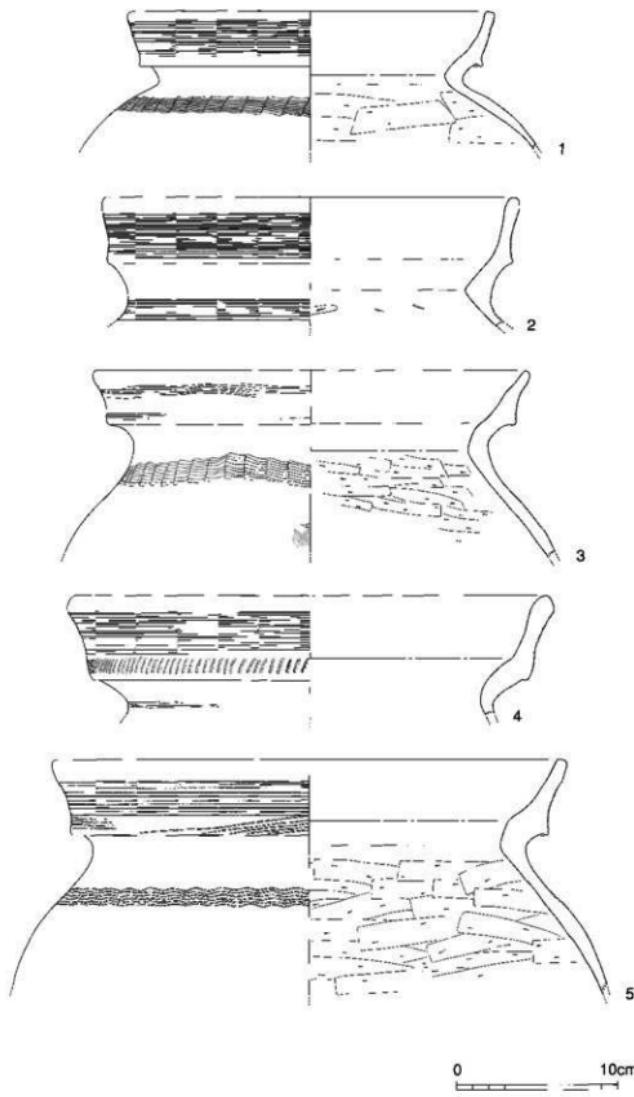
第22図 遺物実測図 (9)



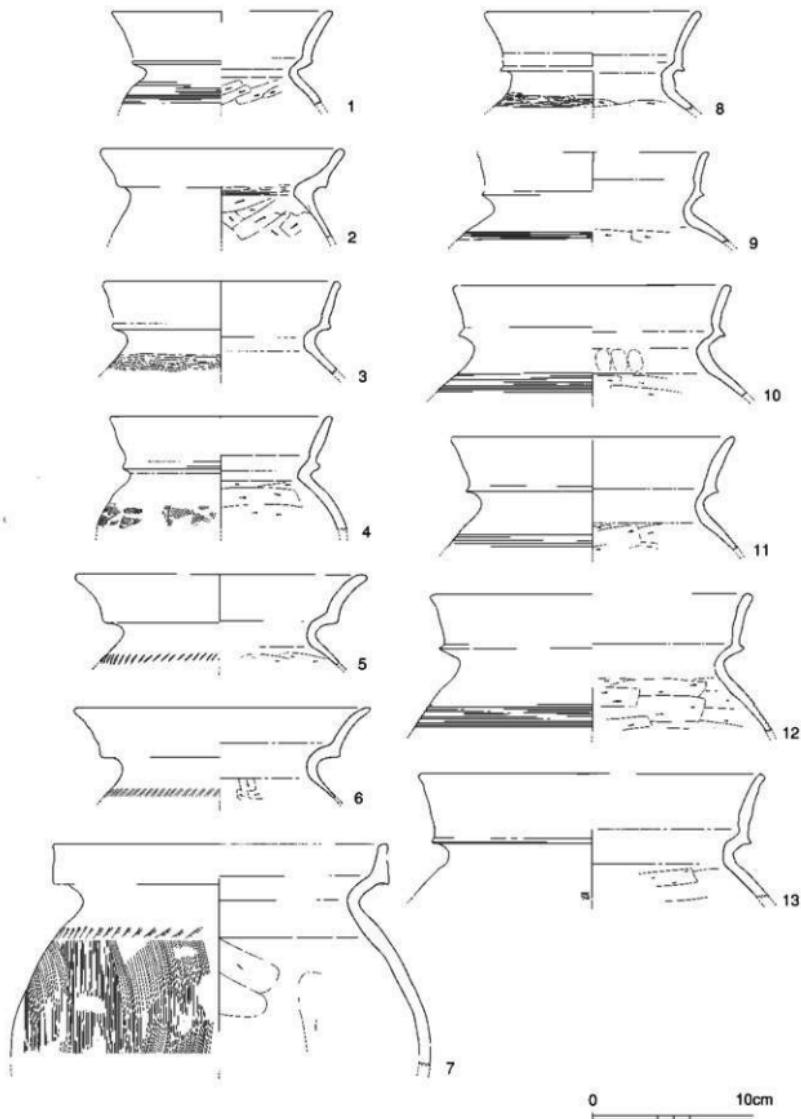
第23図 遺物実測図 (10)



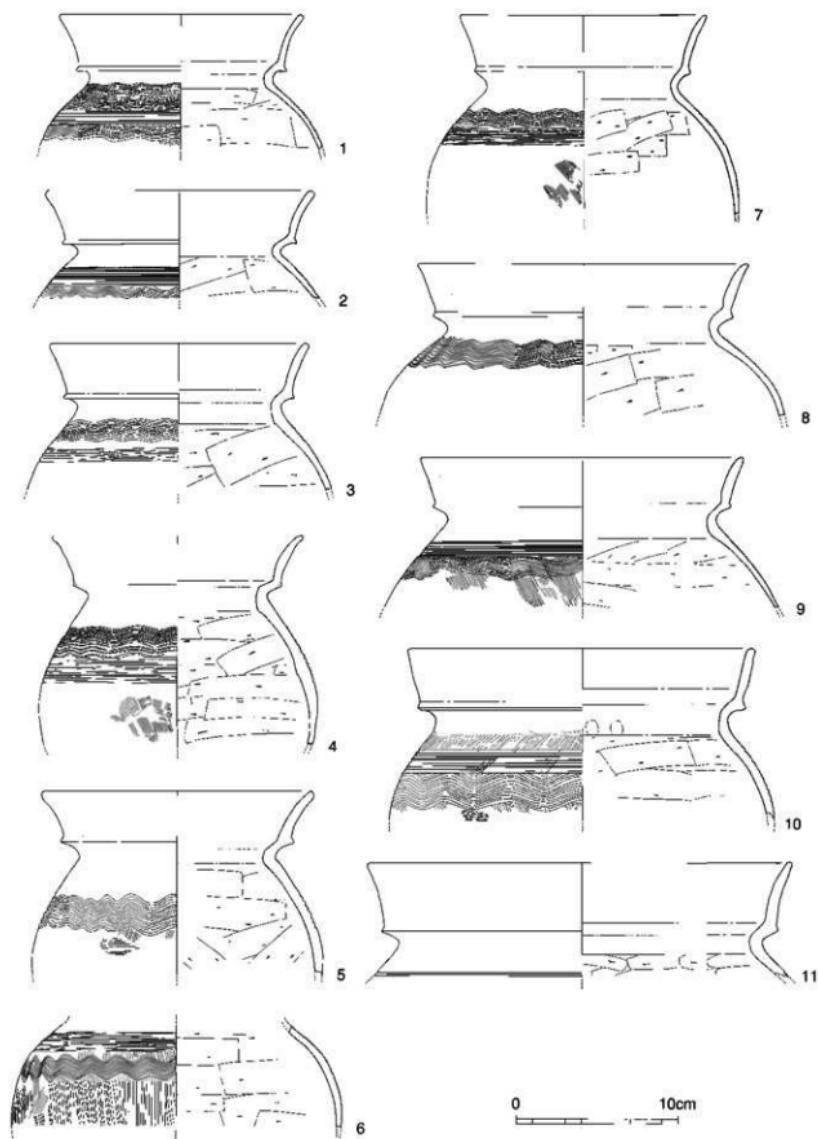
第24図 遺物実測図 (11)



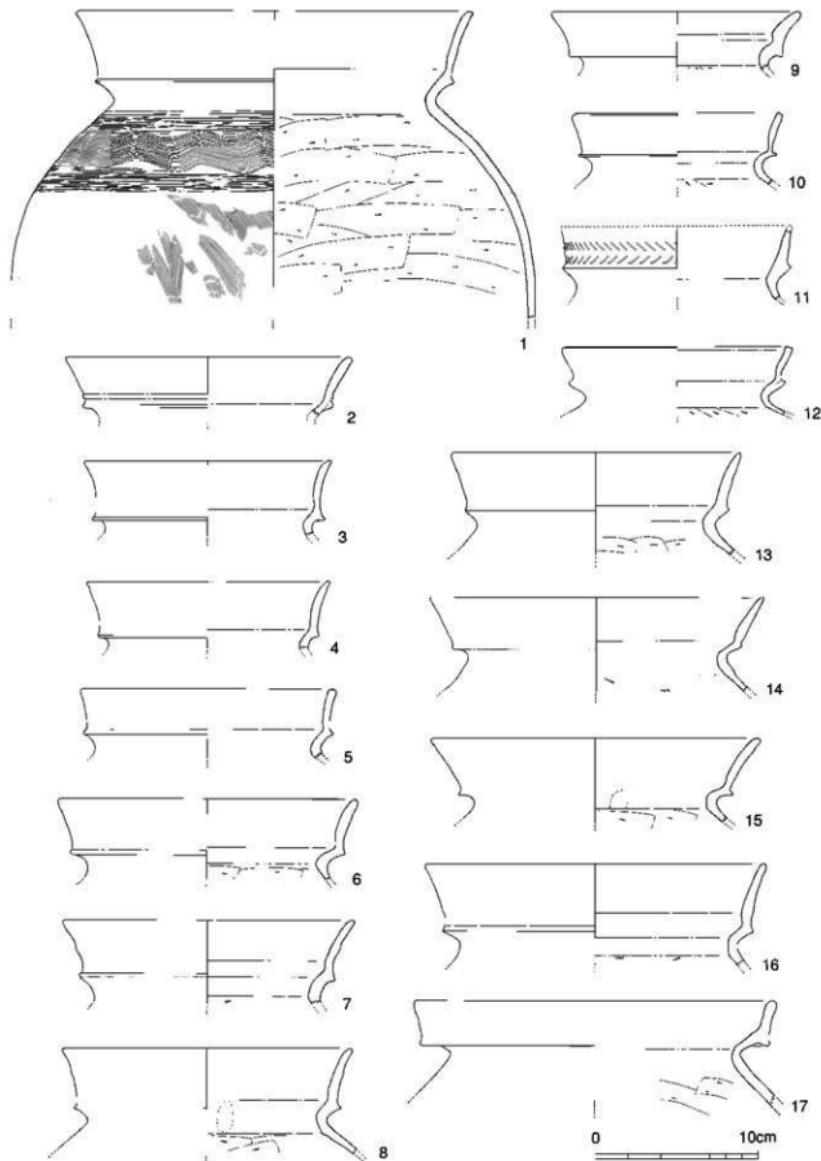
第25図 遺物実測図 (12)



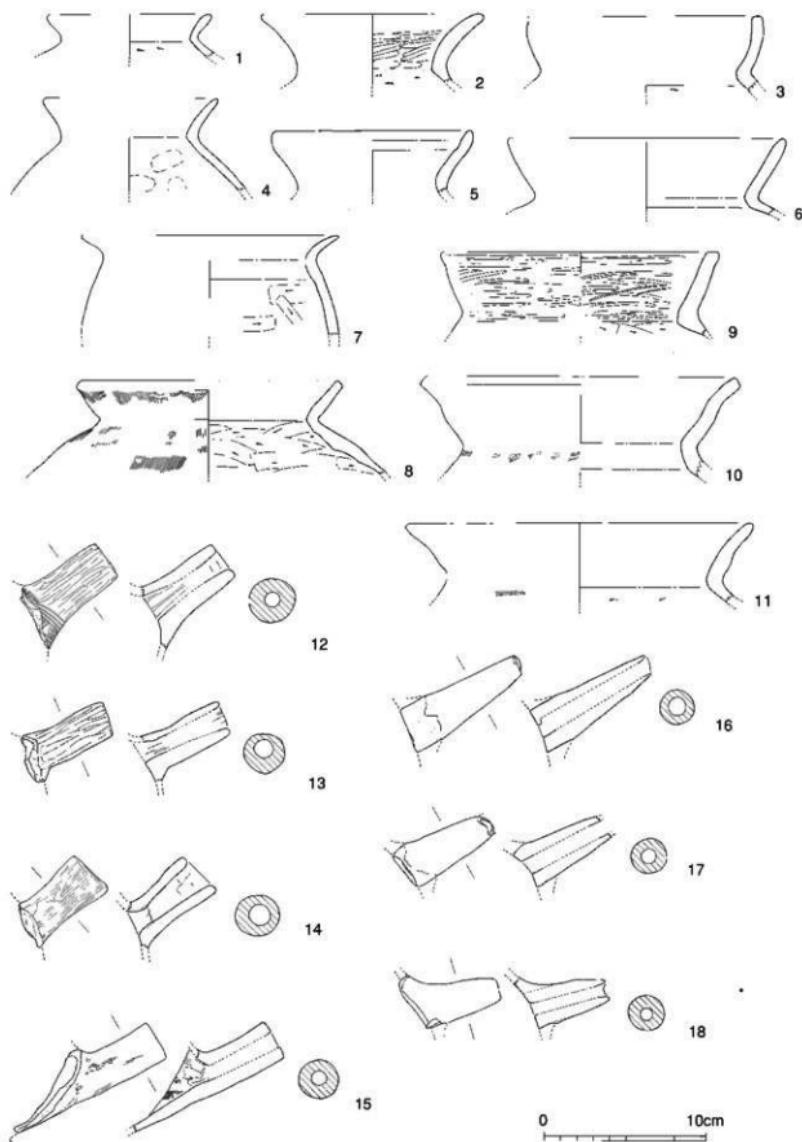
第26図 遺物実測図 (13)



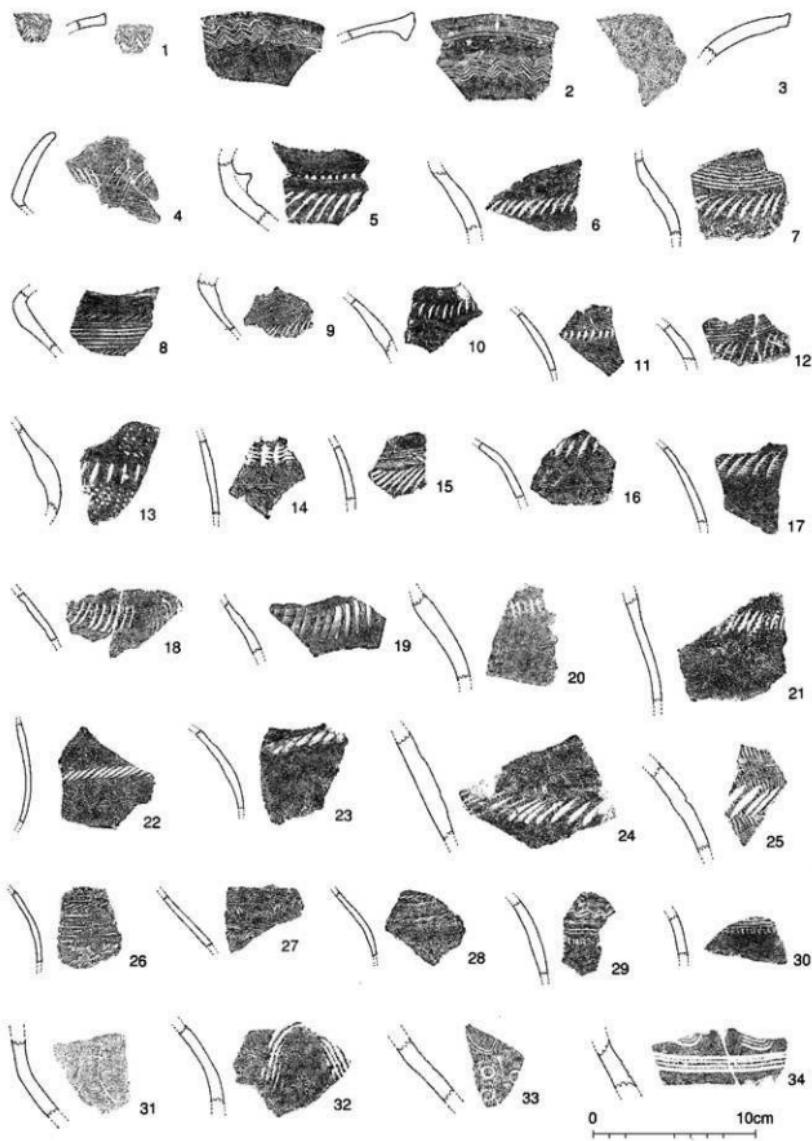
第27図 遺物変測図 (14)



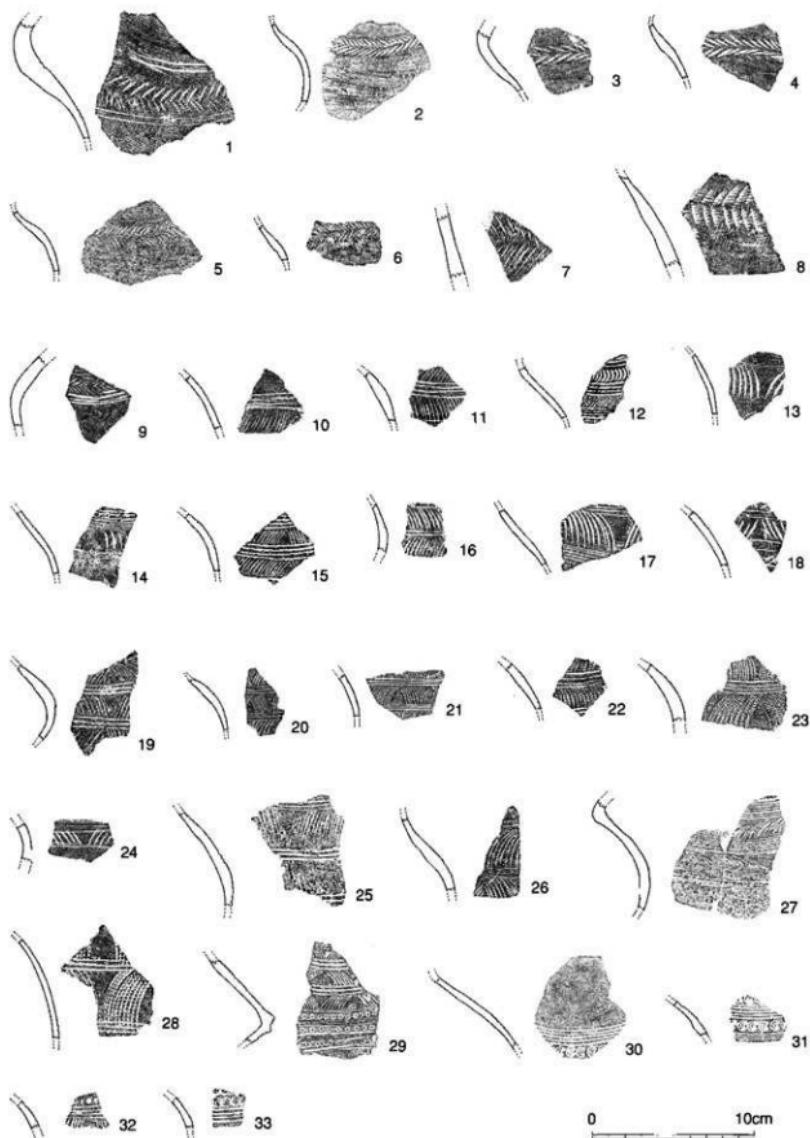
第28図 遺物実測図 (15)



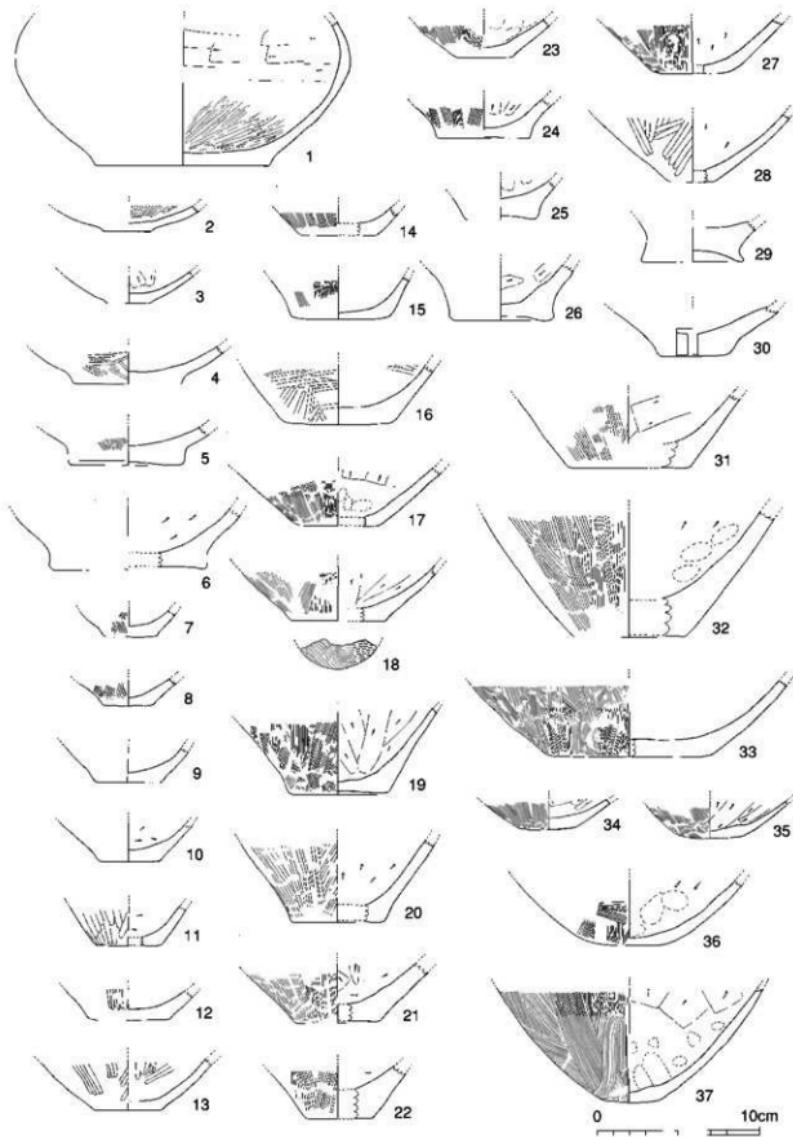
第29図 遺物実測図 (16)



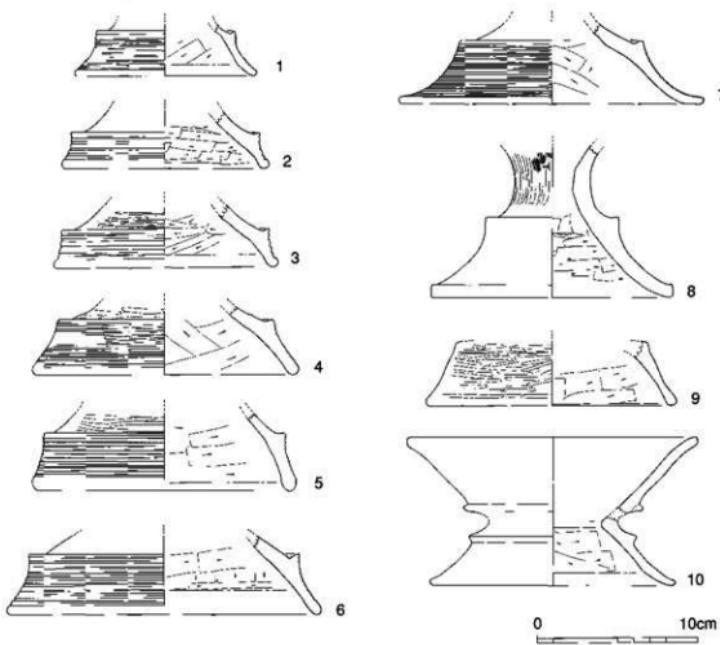
第30図 遺物実測図 (17)



第31図 遺物実測図 (18)



第32図 遺物実測図 (19)

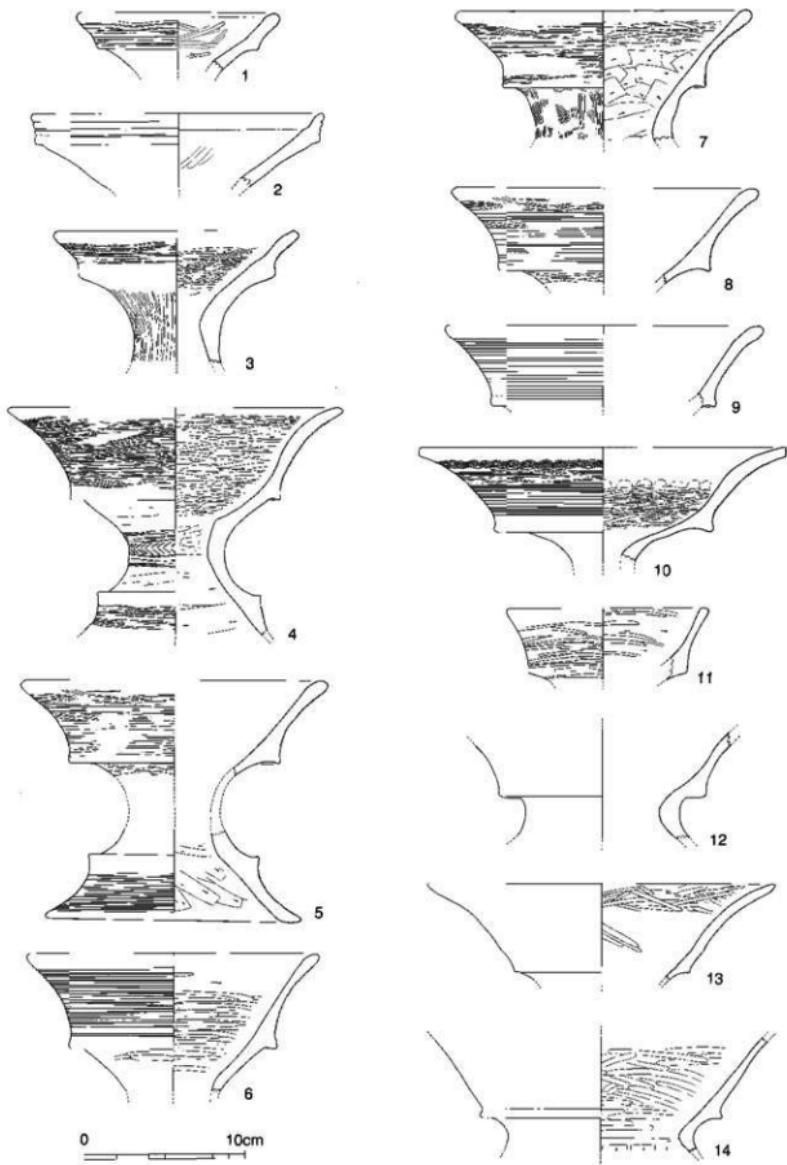


第34図 遺物実測図 (21)

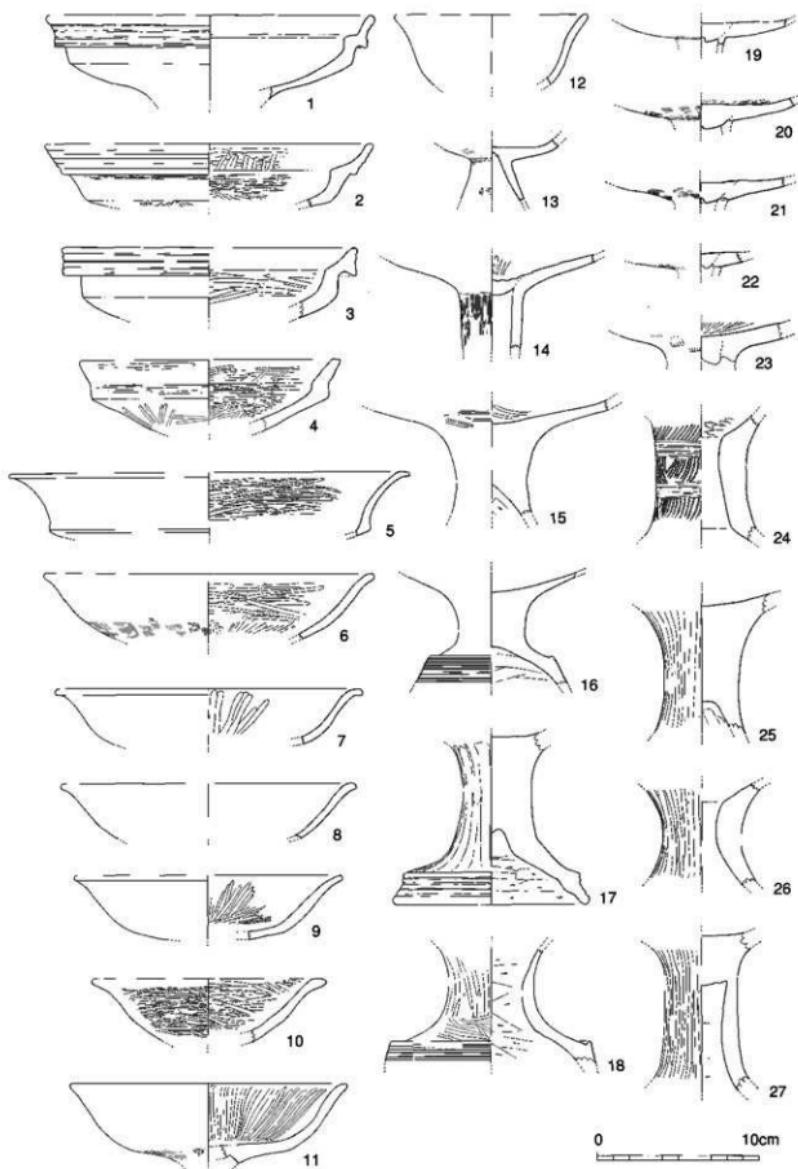
~40図2) が出土した。また、剥片も第40図3~9掲載以外にも多数が出土している。これらの石器群は前記した上器に先行するものと思われるが、正確な時期は不明である。

木製品は、主として旧河道群中のしがらみ状の場所から出土した。

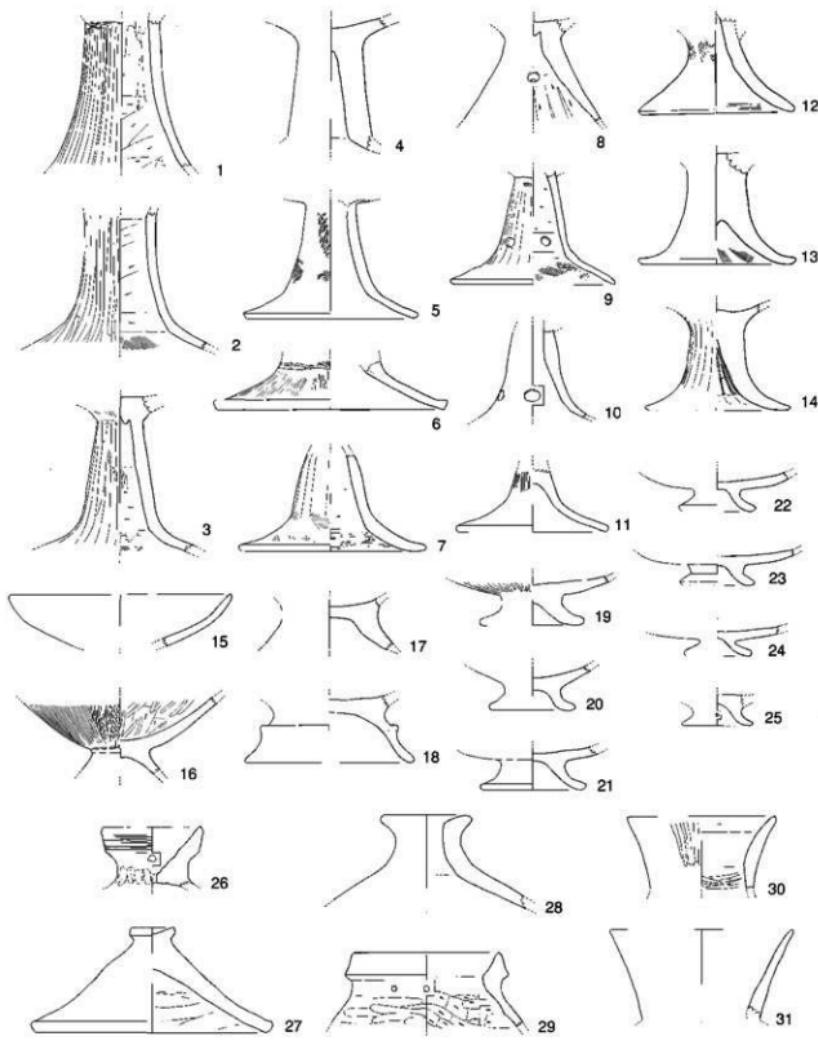
第41図1は楕の一部である。2は三角形の頭部と2本の棒が削り出されたものであるが、用途は不明である。3も用途不明品である。5、6は立ったまま出土した杭である。杭の先端は鉗状の刃物で加工されたと思われる。7は桜の皮を双子状に丸めたもので、桜皮の保管状況がよく分かる。4と第42図1、2は板材である。割り込みや抉りが見られる。第42図3は大小の抉りを持つ材であるが、用途は不明である。杭以外の木製品については、弥生時代後期から古墳時代前期の土器群と共に伴するものと思われる。



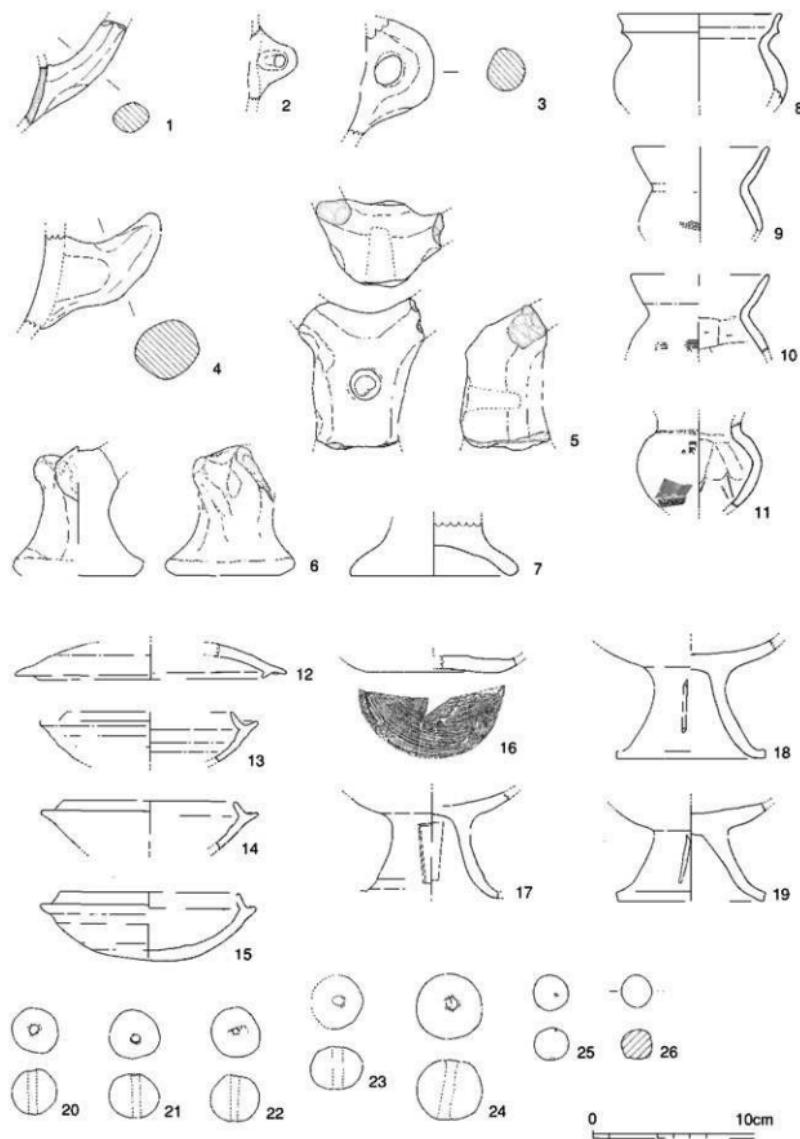
第33図 遺物実測図 (20)



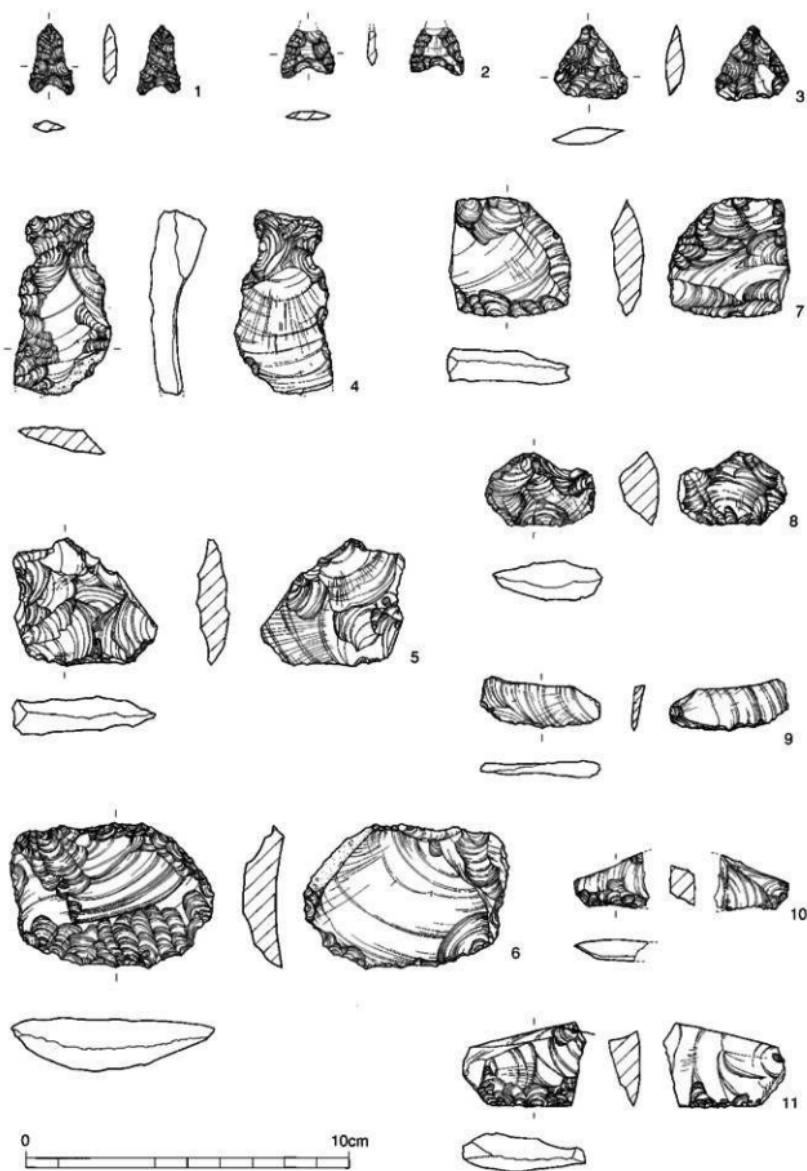
第35図 遺物実測図 (22)



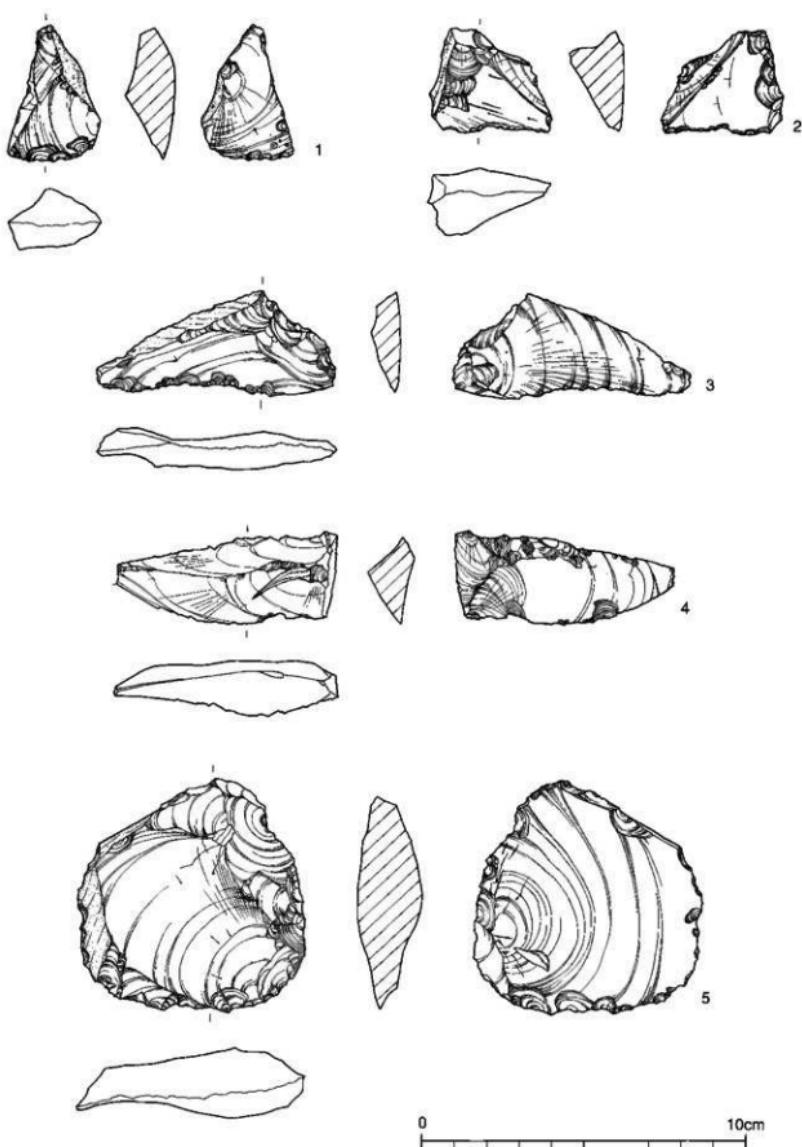
第36図 遺物実測図 (23)



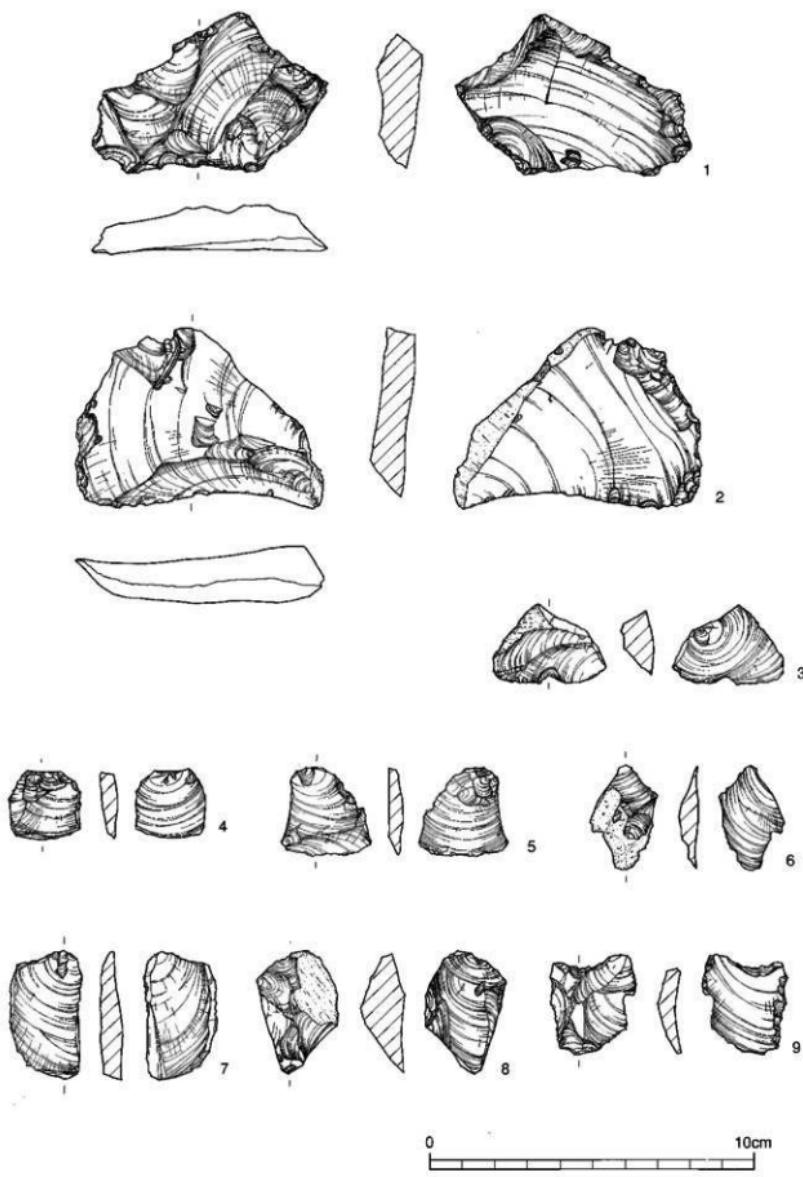
第37図 遺物実測図 (24)



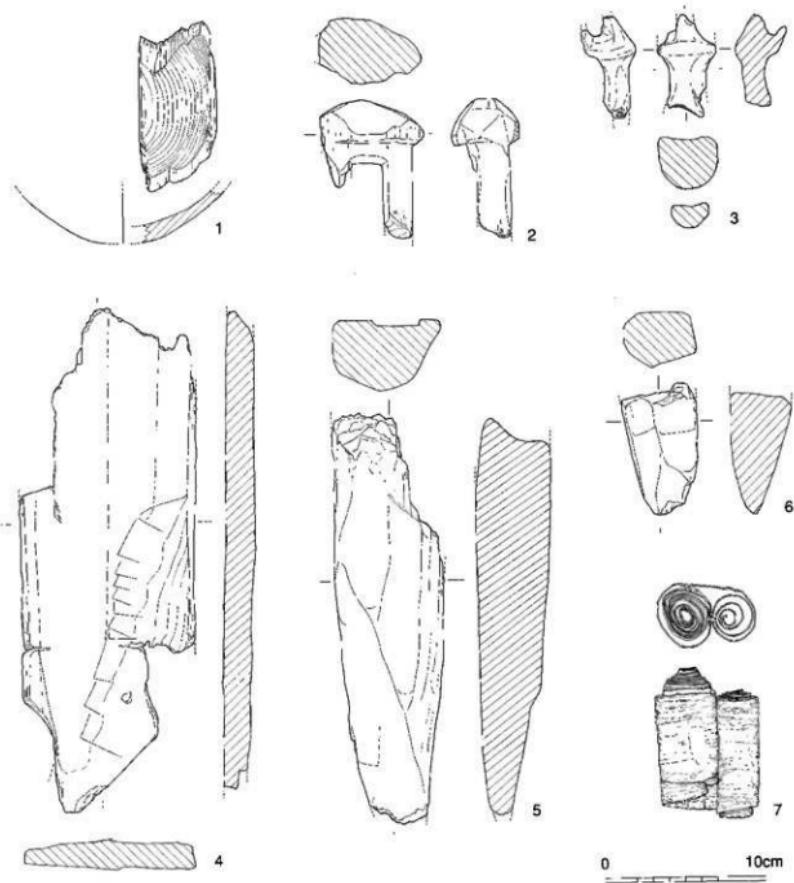
第38図 遺物実測図 (25)



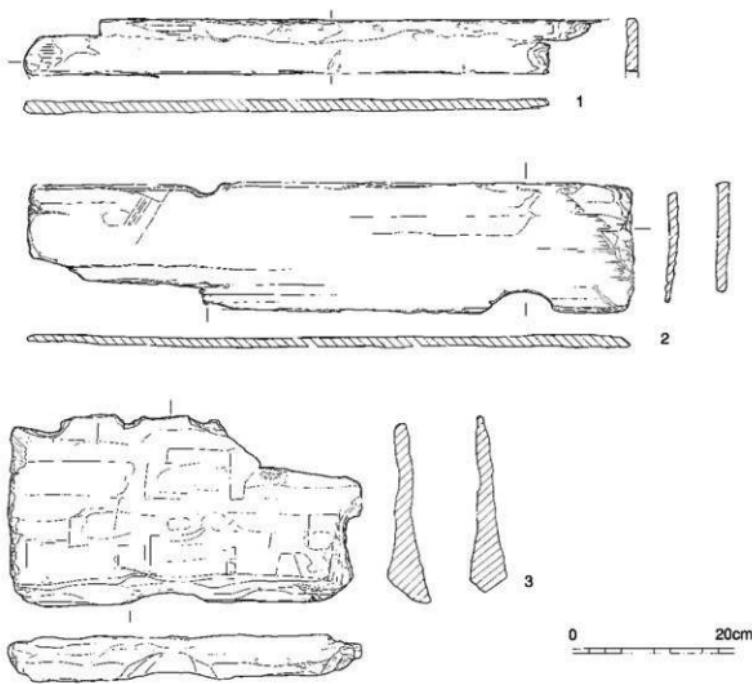
第39図 遺物実測図 (26)



第40図 遺物実測図 (27)



第41図 遺物実測図 (28)



第42図 遺物実測図 (29)

VI. 結語

田中谷遺跡Ⅵ区は、谷の中流に位置する掘立柱建物と大量の遺物を包含する自然河道からなる遺跡であった。

遺構としては掘立柱建物3棟を確認した。時期は弥生時代後期で、周辺に多量の炭や土器片を含む浅い土坑や溝を伴っていたことから、住居であった可能性が高い。遺構は調査区の南西角からも検出されたため、遺跡は周辺のさらに広い範囲に広がっているものと推察される。本調査区のように狭い谷底の中央付近に営まれた集落はめずらしいが、すぐ近くには谷川が流れていて生活の便は良かったと思われる。しかし、遺構面が大小の疊に覆われて土器小片が散乱していた状況から、谷底という立地の悪さゆえ、最終的には谷全面を押し流すような大水にあって短期間で終焉をとげたものと考えられる。

谷の東端の自然河道は、あたかも1本の川のように検出されたが、セクションを詳細に観察すると大小の川の流れが多く切り合っている状況が確認できた。田中谷のような小さな谷を流れる川は、通常では幅狭で水量も少ないものであるが、大量の降雨があった後には一時的に地面がえぐられて幅の広い川となり流路も変化していくことは当然である。このような現象が降雨のたびに繰り返され、その痕跡が旧河道群のセクションとして現在に残っていると解釈してよいだろう。旧河道の堆積土中からは、比較的浅いレベルの層をはじめ深いレベルからも高い密度で土器片が出土した。また、しがらみ状の流木に混じって若干の木製品も出土した。土器の時期は弥生時代後期を中心で、調査区南端付近では古墳時代前期の土器も若干出土した。木製品もこの時期の遺物と判断してよいであろう。旧河道の切り合い関係は非常に複雑で、層序から土器や木製品の新旧を判断することはできなかったが、河道群の東端の浅いレベルに限定して須恵器片がわずかに出土したことから、残存する河道の中で一番新しい流路は調査区東端を流れおり、その時期は古墳時代後期であったことがうかがえる。須恵器の出土場所は自然流路に限定され、谷中央付近からは出土していないことから、その時期の遺構は東側丘陵上にあり、その遺物が転落して河道に埋没したものと推測される。田中谷遺跡の本調査区では、東端を除いては土器の時期幅が限定できることから、ここで出土した土器は弥生後期から古墳時代前期にかけての土器のバリエーションとして良好な資料となり得るであろう。

以上のとおり、田中谷遺跡の本調査区では弥生時代後期から古墳時代前期の遺物と遺構および古墳時代後期の遺物が若干出土したが、その後の遺構、遺物は検出されなかった。遺構面や旧河道群の上には灰色粘質上の厚い堆積層が見られたことから、この地は古墳時代後期を過ぎると、一時人的なため池の時期を経た後、現在のような豊富な谷水を利用した水田として利用されてきたものと推察される。田中谷遺跡は本調査区以外の場所についても、島根県埋蔵文化財調査センターが広く発掘調査を実施しており、現在その成果がまとめられつつある。田中谷という小さな谷の歴史的変遷が明らかにされる日は近いと思われる。

土器観察表

標本番号	種類	器種	法量(cm)	胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土区・層
14回-1 弥生 盆			口径16.1(底 周径12.0)cm	0.5mm以下の石英、其石を含む	良好	(外) 淡灰褐色~淡黃褐色 (内) 黄褐色 (中) 淡灰褐色	(外) 横ナデ、ナデ後多条凹線、ハケ目 (内) 横ナデ後窓いミガキ、ケズリ	E-3区妙律 層
14回-2 弥生 盆			口径15.6(底 周径 9.4)cm	1mm以下の砂粒 を含む	良好	(外) 淡茶褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 橫ナデ、ナデ後多条凹線 (内) 横ナデ、 ヘラケズリ	E-3区妙律 層
14回-3 弥生 罐			口径 (14.8) 周径 (9.9)	0.5mm以下の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡灰褐色~淡黃褐色 (内) 淡灰褐色 (中) 淡灰褐色	(外) ハケ目へラミガキ (内) 橫ナデへラミ ガキ	F-3区妙律 層
14回-4 弥生 罐			口径 (20.5) 周径 (13.2)	2mm前後の石英、 長石を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	D-3区妙律 層
14回-5 弥生 罐			口径 (21.0) 周径 (14.6)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 橫ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	C-3区妙律 層
14回-6 弥生 罐			口径 (19.9) 周径 (13.2)	2mm前後の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ目 (内) ハケ目、ヘラケズリ	E-3区妙律 層
14回-7 弥生 罐			口径 (11.4) 周径 (7.7)	1mm前後の石英、 長石を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ後多条凹線、ナデ、窓ハケ目、ハケ 目 (内) ナデ、ハケ目後くず、ケズリ	E-3区妙律 層
14回-8 弥生 壺			口径 (8.2) 周径 (8.2)	0.5mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 个体的にスズ 付褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 横ナデ (内) ヘラミガキ	B-3区妙律 層
14回-9 弥生 壺			口径 (17.2) 周径 (12.0)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ、ハケ目、 B-3区妙律 層	B-3区妙律 層
14回-10 弥生 壺			口径 (7.2) 周径 (7.2)	2mm前後の砂粒 を含む	良好	(外) 黒色 (内) 暗灰褐色	(外) 回線、ナデ、ミガキ (内) ナデ、ケズリ	D-3区妙律 層
14回-11 弥生 壺			口径 (14.8) 周径 (11.6)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙律 層
14回-12 弥生 壺			口径 (11.0) 周径 (11.0)	1.5mm程度の石英 を多く含む	良好	(外) 前一部分灰褐色~後一部分 淡灰褐色	(外) 横ナデ文その他の風化で不明 (内) 風化 出面	E-2区邊縁 層
14回-13 弥生 壺			口径 (16.5) 周径 (11.9)	1mm前後の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 横ナデ後ハケ (内) 横ナデ後ハケ目	E-3区妙律 層
14回-14 弥生 罐			口径 (22.2) 周径 (16.5)	1~2mm前後の砂 粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ヘラミガキ、ナデ	B-3区妙律 層
14回-15 弥生 罐			口径 (21.0) 周径 (16.0)	1mm程度の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 白灰褐色 (内) 白灰褐色	(外) ナデ後多条凹線、ナデ (内) ナデ (風 化が著しい)	E-2区邊縁 層
14回-16 弥生 罐			口径 (17.3) 周径 (10.5)	1mm以下の石英、 石英を若干含む	良好	(外) 黑褐色~深灰色 (内) 黑褐色	(外) 横ナデ後多条凹線、ハケ後横ナデ、ハケ 目 (内) 横ナデ、從方向の横ナデ痕	C-3区妙律 層
15回-1 弥生 罐			口径 (9.0) 周径 (9.0)	1mm強の石英、 長石を多く含む	良好	(外) 内赤褐色 (内) 黑褐色	(外) 横ナデ後振刷線文、横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ 痕ナデ部ミニガキ、タテナデ、ケズリ後横ナデ	C-3区妙律 層
15回-2 弥生 壺			口径 9.7	1mm以下の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡黄白色 (内) 淡灰褐色	(外) 断耗が激しい振刷線文 (内) 横ナデ	C-3区妙律 層
15回-3 弥生 罐			口径 8.1	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 振刷線、ナデ後ハケ目 (内) 横ナデ、E-4区妙律 層小方向ナデ	E-4区妙律 層
15回-4 弥生 壺			口径 16.4	0.5~2mmの砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色一部 スズ付褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 横ナデ (内) ヘラミガキ、ケズリ、横 C-3区妙律 層ナデ	C-3区妙律 層
15回-5 土師壺			口径 (13.5)	1~2mm程の長 石、石英を含む	良好	(外) 内) 淡灰褐色 (中) 淡灰褐色	(外) E-1号部と頭部に連続して実施風化により E-2区結合 層上面	E-2区結合 層
15回-6 土師壺			口径 16.4 周径 12.1	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ヘラケズリ	G-4区妙律 層
15回-7 弥生 罐			口径 34.3	2mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 内) 淡茶褐色	(外) 内) 風化により調整不規則	E-3区妙律 層
15回-8 弥生 罐				1mm前後の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 内) 断) 淡 白色	(外) ハケ目、多条凹線 (内) ハケ目、指ナ デ、ケズリ	F-4区妙律 層
15回-9 弥生 罐				1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 黒素色付岩 (内) 淡灰褐色	(外) ミガキ、ハケ後ミガキ、ミガキ (内) ミ ガキ、ハケ目	D-3区妙律 層
15回-10 弥生 壺				2~3mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 黒素色 (内) 淡灰褐色	(外) ミガキ、ハケ目 (内) ヘラケズリ	E柱ライン 層
15回-11 弥生 罐				1~3mm前後の砂 粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ 付褐色~淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ目 (内) ヘラケズリ	E-3区妙律 層
16回-1 弥生 壺			口径 (11.5) 周径 (9.4)	0.5mm以下の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 内) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ後振刷線文、ナデ (内) 横ナデ、 ヘラケズリと思われるが風化により不明	E柱壁
16回-2 弥生 壺			口径 (12.4) 周径 (9.7)	砂2~3mmの白石 を含む	良好	(外) 黑 (内) 淡灰褐色	(外) 口縁部振刷線文、頭部ナデ (内) 口縁部 ナデ、頭部ケズリ	G-3区妙律 層
16回-3 弥生 壺			口径 (10.2) 周径 (9.4)	1mm前後の砂 粒を含む	良好	暗茶褐色	(外) 口縁部振刷線文 (風化により不明)、頭部 ナデ (内) 頭部ナデ、頭部ケズリ	E-2区邊縁 層

(法量欄の () は復原値を表す)

標識番号	種類	法量(m)	鑑定	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土区・層
16回-4	弥生 貝	口径(11.4) 頭径(9.5)	右壳、長石微粒 を密に含む	良	(外) 内、断 淡灰褐色	(外) 氷化により調整不順	B坑跡
16回-5	弥生 貝	口径 12.7 頭径 10.0	1~2mmの砂粒を わずかに含む	良好 (外) 全体的にヌス 付有、黒色	(外) 摺回線文、横ナデ (内) 横ナデ、ハケ目	C-3区妙理層	
16回-6	弥生 貝	口径 (13.2) 頭径 (11.1)	1mmの右壳、長 石粒を多く含む	良好 (外) 内、断 淡 褐色~黑色	(外) ナデ後擬回線文、横ナデ (内) 横ナデ、横ナデ後ミガキ、ナデ 混ミガキ、ケズリ	B-3区妙理層	
16回-7	弥生 貝	I型 (12.1)	1mmの右壳の 砂粒を含む	良好 暗灰褐色	(外) I型部擬回線文 (氷化のため一部不順) (内) 線部ナデ	G-2区遺構面	
16回-8	弥生 貝	口径 (15.3) 頭径 (11.4)	長右、右壳微粒 を少々含む	良好 (外) 晴褐色 (内) 黑褐色	(外) ナデ後擬回線文、ナデ、ハケ後ナデ (内) 横ナデ、横ナデ後ミガキ、工具痕留着、横ナデ、ケズリ	D-3区妙理層	
16回-9	弥生 貝	口径 15.2 頭径 12.1	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好 (外) 淡褐色、ヌス 付有、黒褐色	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙理層	
16回-10	弥生 貝	I型 (15.6) 頭径 (15.0)	長右、右壳微粒 を多く含む	良好 (外) 淡褐色、ヌス 付有、黒褐色	(外) ナデ後ヘラカツ回線文、ナデ (内) 横ナデ、横ナデ、ミガキ、ケズリ後ナデ	G-3区妙理層	
16回-11	弥生 貝	I型 (16.8) 頭径 (13.8)	右壳、右壳微粒 をわずかに含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ後多条回線、横ナデ (内) 横ナデ、ハケ目、ケズリ	G-3区妙理層	
16回-12	弥生 貝	口径 (17.8) 頭径 (12.8)	1~2mm右壳、右壳 をやや多く含む	良好 (外) 淡褐色、ヌス 付有、黒褐色	(外) ナデ後擬回線文、ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	E-3区妙理層	
16回-13	弥生 貝	口径 (18.2) 頭径 (14.6)	1mm前後の右壳、 長右壳を多く含む	良好 (外) 淡褐色、ヌス 付有、黒褐色	(外) 横ナデ後擬回線文、横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	E-3区妙理層	
16回-14	弥生 貝	I型 (17.6) 頭径 (14.2)	1~1.5mm程度の左 右壳、右壳を含む	良好 (外) 淡褐色、ヌス 付有、黒褐色	(外) 横ナデ後多条回線、横ナデ (内) 横ナデ、ミガキ、ヘラケズリ	E-3区妙理層	
16回-15	弥生 貝	口径 (17.0) 頭径 (12.0)	1mm程度の右壳、 右壳を少々含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後多条回線、横ナデ (内) 横ナデ、一部ナデ後ミガキ、ケズリ	C-3区妙理層	
16回-16	弥生 貝	口径 (18.1) 頭径 (12.8)	1~1.5mmの右壳、 右壳を含む	良好 (外) 一部ヌス 付有、淡灰褐色	(外) ナデ後多条回線、横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ、ナデ後ミガキ、ヘラケズリ	D-3区妙理層	
16回-17	弥生 貝	I型 (15.2) 頭径 (10.5)	1mm前後の右壳、 右壳を少々含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後多条回線、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	包含層	
16回-18	弥生 貝	口径 (18.8) 頭径 (16.0)	右壳、長右壳 を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後多条回線、横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	G-3区妙理層	
16回-19	弥生 貝	口径 (19.8) 頭径 (15.1)	1mm前後の右壳、 右壳を含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、ナデ後多条回線 (内) ナデ後 ミガキ、ヘラケズリ	B-3区妙理層	
16回-20	弥生 貝	口径 (20.4) 頭径 (16.8)	0.5mm前後の右壳、 右壳を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後多条回線、横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-2区妙理層	
16回-21	弥生 貝	口径 (22.6) 頭径 (20.2)	1mm~2mm前後の 右壳を含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 口縁部擬回線文、頭部ナデ (内) 口縫 部ナデ、脚部ケズリ	E-3区妙理層	
16回-22	弥生 貝	I型 (24.5) 頭径 (21.4)	1~2mmの右壳、 右壳を少々に含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後ヘラカツ回線、ナデ (内) 横ナデ、 ヘラミガキ、ケズリ	E-3区妙理層	
16回-23	弥生 貝	I型 (26.8) 頭径 (24.0)	1~2mmの右壳を やや多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬回線文、ナデ (内) 横ナデ、 ケズリ	B-3区妙理層	
16回-24	弥生 貝	口径 (37.4)	1mm前後の右壳、 右壳を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後多条回線、横ナデ (内) 横ナデ	E-2区遺構 検出面	
17回-1	弥生 貝	口径 (13.2) 頭径 (11.1)	砂粒を含む 右壳	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 口縫部擬回線文、頭部ナデ (内) 口縫 部ナデ、脚部ミガキ	包含層	
17回-2	弥生 貝	口径 (13.9) 頭径 (10.7)	0.5mm前後の右壳、 右壳を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬回線文 (氷化が著しい)、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-2区遺構 面	
17回-3	弥生 貝	口径 (13.4) 頭径 (9.4)	1mm以下の右壳、 右壳を含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、ケズリ (内) ナデ後多条回線、 ナデ後ナデ	E-3区妙理層	
17回-4	弥生 貝	口径 (14.2) 頭径 (10.7)	右壳、長石粒を 少々含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ後擬回線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ケズリ後ナデ	E-3区妙理層	
17回-5	弥生 貝	I型 (14.7) 頭径 (11.5)	1mm前後の右壳、 右壳を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 横ナデ後擬回線文、ナデ (内) 横ナデ、 ヘラケズリと思われるが氷化の為不明	E-2区遺構 検出面	
17回-6	弥生 貝	I型 (15.4) 頭径 (11.6)	0.5mm以下の右壳、 右壳を少々含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ後擬回線文、ナデ、ヘラケズリ	G-3区妙理層	
17回-7	弥生 貝	口径 (16.4) 頭径 (11.5)	1~2mmの右壳、長 石粒をやや多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬回線文 (氷化が著しい)、ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	包含層	
17回-8	弥生 貝	口径 (15.2) 頭径 (13.0)	1~2mmの砂粒を 多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) I型部擬回線文、頭部ナデ、脚部浪状文 (内) 口縫部ナデ、脚部ケズリ	B-3区妙理層	
17回-9	弥生 貝	口径 (17.0) 頭径 (13.8)	密~2mm前後の 右壳を含む	良好 淡褐色	(外) I型部擬回線文、頭部ナデ、脚部浪状文 (内) 口縫部ナデ、脚部ケズリ	F-4区妙理層	
17回-10	弥生 貝	I型 (17.8) 頭径 (14.7)	右壳、右壳微粒 を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬回線文 2段階 (内) 横ナデ、ヘ ラ先の押当、ナデ後ミガキ、ナデ	E-3区妙理層	
17回-11	弥生 貝	I型 (38.0) 頭径 (26.3)	1mm以下の砂粒 を多く含む	良好 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区妙理層	

押出番号	種類	品種	法量(g)	脂	土	焼成	色	調査・手法の特徴・他	出土区・層
17回-12	弥生	斐	口径(26.3) 頭径(22.1)	2~3mmの石英、長 石をやや多く含む	良好	(外) 青白魚 (内) 淡茶褐色 (内) 淡白色	(外) ナデ後縦四線文、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-3IK砂礫層	
17回-13	弥生	斐	口径(26.4) 頭径(22.7)	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 淡灰色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ後縦ナデ (内) ナデ	F-3IK砂礫層	
17回-14	弥生	斐	口径(26.1) 頭径(21.5)	1mm前後の長石、 石英を含む	良好	(外) 淡灰色 (内) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 橫ナデ、ナデ後縦四線文 (内) 横ナデ、 ヘラケズリ (ヘラ幅の雄あり)	D-3IK砂礫層	
17回-15	弥生	斐	口径(25.0) 頭径(20.6)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡白褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	D-3IK砂礫層	
17回-16	弥生	斐	口径(23.8) 頭径(18.4)	石英、長石微粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後へきさき凹線、横ナデ、ナデ-ミガキ あり (内) 橫ナデ (横ナデ部分にミガキ)、ケズリ 部分にミガキあり	C-3IK砂礫層	
17回-17	弥生	斐	口径(25.3) 頭径(21.1)	2mm前後の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ が多く付着、淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) 口絵部縦四線文、ナデ (内) ナデ、ヘ- C-3IK砂礫層		
17回-18	弥生	斐	口径(21.7) 頭径(17.6)	2mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ が多く付着、淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ (内) ナデ、風化により不明	F-4IK砂礫層	
17回-19	弥生	斐	口径(22.4) 頭径(18.0)	1~2mmの砂粒を むずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 多く付着、淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ (内) 不明	G-3IK砂礫層	
18回-1	弥生	斐	口径(15.0) 頭径(11.8)	1mm前後の長石、 石英を含む	良好	(外) 全体的にスズ 多く付着、淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後縦四線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ヘラケズリ	B-3IK砂礫層	
18回-2	弥生	斐	口径(15.8) 頭径(11.8)	1mm程度の長石、 石英を少しあむ	良好	(外) 全体的に細粒、混 合した状態 (内) 淡茶褐色	(外) 橫ナデ、ナデ後縦四線文、横ナデ (内) 横 ナデ、ミガキ、ハケ日、ミガキ	E-3IK砂礫層	
18回-3	弥生	斐	口径(15.8) 頭径(13.2)	0.5mm以下の砂粒 を少し含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡白褐色	(外) ナデ後縦四線文、ナデ (内) 横ナデ、 ヘラケズリと想われるが不明	E-2区透構 焼面	
18回-4	弥生	斐	口径(16.4) 頭径(13.2)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 口絵部スズ付 着、淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) 橫四線文、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラ ケズリ	F-3IK砂礫層	
18回-5	弥生	斐	口径(17.2) 頭径(13.7)	1mm前後の長石、 石英を少々含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後2段の握印文 (内) 横ナデ、ケ ズリ	D-3IK砂礫層	
18回-6	弥生	斐	口径(16.5) 頭径(13.4)	1mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 多く付着、淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3IK砂礫層	
18回-7	弥生	斐	口径(16.9) 頭径(13.8)	1mm前後の長石、 石英を含む	良好	(外) 全体的に細粒、混 合した状態 (内) 淡茶褐色	(外) 橫ナデ、ナデ後多条凹線、横ナデ (内) 横 ナデ、ケズリ	C-3IK砂礫層	
18回-8	弥生	斐	口径(18.4) 頭径(15.2)	1mm前後の石英 を少々含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 黒褐色	(外) 握印文後横ナデ、横ナデ (内) ミガキ、 ケズリ	B-3IK砂礫層	
18回-9	弥生	斐	口径(18.3)	1mm以下の長石、 石英を含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後多条凹線、横ナデ (内) LII 部風化、ケズリ	Bライン吐	
18回-10	弥生	斐	口径(19.6) 頭径(16.0)	1~2mmの長石、 石英をやや多く含む	良好	(外) 黑褐色 (内) 淡茶褐色 (内) 黑褐色	(外) ナデ後縦四線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ケズリ (風化が著しい)	E-3IK砂礫層	
18回-11	弥生	斐	口径(19.8) 頭径(16.2)	1mm以下の長石、 石英を含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡茶褐色 (内) 黑褐色	(外) ナデ後多条凹線、横ナデ (内) 横ナデ、 ケズリ	E-2区透構 焼面	
18回-12	弥生	斐	口径(17.4) 頭径(12.8)	0.5mm前後の長石、 石英を少々含む	良好	(外) スズ付着、淡 茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後縦四線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ミガキ後横ナデ、ヘラケズリ	E-3IK砂礫層	
18回-13	弥生	斐	口径(17.5) 頭径(14.7)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 スズ付着 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂礫 層	
18回-14	弥生	斐	口径(19.4) 頭径(15.0)	1mm程度の長石、 石英を含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) 橫ナデ、ナデ後2段の握印文、横ナデ 横ナデ	E-3IK砂礫層	
18回-15	弥生	斐	口径(19.8) 頭径(16.4)	0.5mm前後の長石 を多く含む	良好	(外) 淡褐色、スズ が多く付着 (黒色) (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後多条凹線、横ナデ (内) 横ナデ、 ヘラケズリ	G-3IK砂礫層	
18回-16	弥生	斐	口径(20.0) 頭径(16.2)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡茶褐色一部 頭部前面 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3IK砂礫層	
18回-17	弥生	斐	口径(21.0) 頭径(18.0)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 口絵部分一部 頭部前面 (内) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) 四線、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-3IK砂礫層	
18回-18	弥生	斐	口径(21.1) 頭径(17.1)	1mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 多く付着 (内) 淡茶褐色	(外) 橫ナデ	不明	
18回-19	弥生	斐	口径(20.4) 頭径(17.0)	2~3mmの砂粒を むずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 多く付着 (内) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ハケ日 (内) 横ナデ、ヘラケズリ	F-3区砂礫 層	
18回-20	弥生	斐	頭径(18.8)	1mm前後の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 黄白色一部 頭部前面 (内) 黄白色 (内) 黄白色	(外) 多条凹線、横ナデ (内) 風化	F-2区包含 層上面	
19回-1	弥生	斐	口径(13.8) 頭径(10.8)	1mm以下の砂粒 を含む	—	(外) 淡茶褐色スズ (内) 淡茶褐色	(外) 握印文 (浅い)、三条の沈線、貝蓋に上 る施紋	D-3IK砂礫層	
19回-2	弥生	斐	口径(13.6) 頭径(10.1)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ 多く付着 (内) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ハケ日 (内) 横ナデ、ヘラケズリ	G-2IK SK-01 No.6	
19回-3	弥生	斐	口径(14.6) 頭径(12.1)	1mm前後の砂粒 をむずかに含む	良好	(外) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ナデ後縦四線文、横ナデ (内) ミガキ、ヘラ ケズリ	D-3IK砂礫層	
19回-4	弥生	斐	口径(14.2) 頭径(11.6)	1mm以下の砂粒 をむずかに含む	良好	(外) 淡茶褐色 スズ付着 (内) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) 縱四線文、横ナデ貝殻剝離突文 (内) ヘ ラケズリ	D-3IK砂礫層	

標本番号	種類	品種	法量(cm)	駆土	焼成	色調	測定・手法の特徴・他	出土区・層
19回- 5 弼生	甕	一	L口径 13.7 頭径 10.2	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 一層3mm程、黒茶、薄赤色 (内) 淡青色	(外) 多条凹縫(窯軸が著しい)、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	D-3区砂埋層
19回- 6 弼生	甕	一	口径 (16.0) 頭径 (12.7)	0.5~1mm程度の石英、長石粒を多く含む	良好	(外) 黒茶偏青、淡茶青色 (内) 淡茶青色	(外) ナデ後多条凹縫、ナデ後点款 (内) 横ナデ	B-3区砂埋層
19回- 7 弼生	甕	一	L口径 (12.1)	1mm程度の良石、石英を含む	良好	(外) 黑茶偏青、淡茶青色 (内) 淡茶青色	(外) ナデ後多条凹縫、横ナデ、貝殻刺穴紋 (内) ミガキ、横ナデ、ケズリ	G-3区砂埋層
19回- 8 弼生	甕	一	L口径 (14.4)	1mm程度の良石、長石粒を含む	良	(外) 内、断面 淡褐色	(外) ナデ後横縫 (一矢すつ引く)、ナデ、ヘラ (内) 横ナデ	G-4区砂埋層
19回- 9 弼生	甕	一	L口径 16.8 頭径 13.0	1~2mmの砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ付 着有、黒茶 (内) 调整焼成	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区砂埋層
19回-10 弼生	甕	一	L口径 18.0 頭径 15.0	1mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) 横開文、横ナデ (内) 横ナデ、横ナデ	B-3区砂埋層
19回-11 弼生	甕	一	口径 22.2 頭径 17.3	0.5mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) 捜掘線文 (内) 横ナデ、ヘラケズリ	C-3区砂埋層
19回-12 弼生	甕	一	L口径 (19.6) 頭径 (19.0)	1mm程の石英、長石をわずかに含む	良好	(外) 黑茶偏青、淡茶偏青 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ後横縫文、横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	E-3区砂埋層
19回-13 弼生	甕	一	L口径 (19.5) 頭径 (15.9)	1~2mmの砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ付 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂埋層
19回-14 弼生	甕	一	L口径 17.0 頭径 13.3	1mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 黑茶偏青一部 スズ付有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) 多条凹縫、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラ ケズリ	E-3区砂埋層
19回-15 弼生	甕	一	頭径 (16.2)	1mm程度の良石、石英を多く含む	良好	(外) 淡茶偏青 (内) 黄褐色	(外) ナデ後多条凹縫、横ナデ、ハケ状に具にする連続斜文 (内) 横ナデ、ミガキ、ケズリ	B-3区砂埋層
19回-16 弼生	甕	一	L口径 16.2 頭径 13.0	1~4mmまでの砂粒をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ付 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) 捜掘線文、横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ、ヘラケズリ	C-3区砂埋層
20回- 1 弼生	甕	一	L口径 13.3 頭径 11.2	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) ハケ目 (内) ケズリ、横ナデ	C-3区砂埋層
20回- 2 弼生	甕	一	口径 (13.6) 頭径 (10.1)	街2~3mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) 口縁部凹線文	F-2区包含層
20回- 3 弼生	甕	一	口径 14.5 頭径 10.2	0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ (内) ナデ、調整不明	E-3区砂埋層
20回- 4 弼生	甕	一	口径 (13.8) 頭径 (10.5)	1mm程度の良石、石英をわずかに含む	良好	(外) 人部有スズ付 着有、淡茶偏青色 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ後2段の擬回線、横ナデ (内) 横ナ デ、ミガキ、ケズリ	C-3区砂埋層
20回- 5 弼生	甕	一	口径 (14.4) 頭径 (9.6)	1mm以下の良石を若干含む	良好	(外) 淡茶偏青、スズ付 着有、一部スズ付 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ後擬回線文、横ナデ (内) 横ナデ ケズリ	G-3区砂埋層
20回- 6 弼生	甕	一	L口径 (16.1) 頭径 (12.8)	0.5~2mmまでの砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ付 着有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区砂埋層
20回- 7 弼生	甕	一	口径 15.1 頭径 11.5	1~2mmの石英、長石を多く含む	良好	(外) 黑茶偏青一部 スズ付有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂埋層
20回- 8 弼生	甕	一	口径 (15.4) 頭径 (12.8)	1mm前後の良石、石英を含む	良好	(外) 淡茶偏青 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ後擬回線文、横ナデ (内) ミガキ、 ケズリ	C-3区砂埋層
20回- 9 弼生	甕	一	口径 (16.6) 頭径 (11.7)	石英、長石 (1mm 前後) を少々含む	良好	(外) 淡茶偏青一部 スズ付有、黒茶 (内) 淡茶偏青	(外) 横ナデ後擬回線文、横ナデ (内) 横ナ デ、ケズリ後ナデ、ケズリ	E-3区砂埋層
20回-10 弼生	甕	一	口径 (17.6) 頭径 (13.3)	石英、長石粒を少々含む	良好	(外) 淡茶偏青スズ付 (内) 淡茶偏青	(外) 横ナデ後擬回線文、横ナデ	E-3区砂埋層
20回-11 弼生	甕	一	L口径 (17.5) 頭径 (14.3)	密2~3mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 黒茶 (内) チャバ御色	(外) 口縁部擬回線文 (内) 口縁部ナデ、削 部ミガキ	Eライン柱
20回-12 弼生	甕	一	口径 19.5 頭径 15.3	1mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡茶偏青		E-3区砂埋層
20回-13 弼生	甕	一	口径 (19.2) 頭径 (15.0)	1mm程の石英と長石を含む	良好	(外) 内、淡茶偏青	(外) ナデ後2段の擬回線、ナデ (内) 横ナデ、 ナデ後、ミガキ、ヘラケズリ	B-3区砂埋層
20回-14 弼生	甕	一	口径 18.7 頭径 14.3	2~3mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 内、淡茶偏青	(外) 横開文、ハケ目 (内) 横ナデ、貝殻刺 穴、ヘラミガキ、ハケ目、ヘラケズリ	F-2区砂埋層
20回-15 弼生	甕	一	口径 (24.0) 頭径 (18.4)	1mm前後の良石、石英を含む	良好	(外) 僧帽状一部灰茶 着有、淡茶偏青 (内) 淡茶偏青	(外) 横ナデ、ナデ後擬回線文、横ナデ (内) 横ナデ、ナデ後、横ナデ、ヘラケズリ	G-3区砂埋層
20回-16 弼生	甕	一	口径 (24.0) 頭径 19.5	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ 着有、淡茶偏青 (内) 淡茶偏青		C-3区砂埋層
20回-17 弼生	甕	一	口径 (22.6) 頭径 (19.2)	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ 着有、淡茶偏青 (内) 淡茶偏青	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂埋層
21回- 1 弼生	甕	一	口径 (12.6) 頭径 (9.5)	0.1~0.5mm程度の石英、長石を含む	良好	(外) 全体にスズ付 着有、淡茶偏青 (内) 淡茶偏青	(外) 横ナデ、擬回線文、横ナデ (内) 横ナ デ、ヘラミガキ、ヘラケズリ	C-3区砂埋層
21回- 2 弼生	甕	一	口径 (13.7) 頭径 (10.2)	石英、長石粒を少々含む	良好	(外) 淡茶偏青	(外) 横ナデ後、擬回線 (上2段)、横ナデ (内) ナデ、ミガキ、ケズリ	Bライン柱
21回- 3 弼生	甕	一	口径 (15.6) 頭径 (11.4)	石英、長石粒を多く含む	良好	(外) 横ナデ後凹縫 着有、淡茶偏青 (内) 淡茶偏青	(外) 横ナデ後凹縫文、横ナデ、肩層に多条 凹縫 (内) ミガキ、ケズリ	E-3区砂埋層

鉢図番号	種類	品種	法寸(㎝)	點	上	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土区・層
21図-4	弥生	甕	口径(16.5) 頭径(12.7)	1~1.5cm程度の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 上部付着物、一部 の内側に断続的、薄色 (内) 黒、褐色	(外) 横ナデ、ナデ後擬凹線文、横ナデ、ナデ 後多条回線 (内) 風化のため不明、ケズリ	B-3区砂礫層	
21図-5	弥生	甕	口径 16.7 頭径 12.5	0.5cm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 上部付着物、薄色 (内) 断続的、薄色	(外) ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	D-3区砂礫層	
21図-6	弥生	甕	口径 16.7 頭径 12.8	2mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全表面にスス付 物、薄灰褐色 (内) 褐色	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂礫層	
21図-7	弥生	甕	口径(17.1) 頭径(13.6)	1~2cmの砂粒 多く含む	良好	(外) 部にスス付 物、薄灰褐色 (内) 薄灰褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	D-3区砂礫層	
21図-8	弥生	甕	口径 18.0 頭径 14.6	1mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全表面にスス付 物、薄灰褐色 (内) 褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂礫層	
21図-9	弥生	甕	口径(18.4) 頭径(14.5)	1mmの小片、長 石を少々含む	良好	(外) 内、断続、淡 褐色~淡褐色	(外) 横ナデ後擬凹線文 (貝殻か?) 横ナデ、 (内) 横ナデ、ミガキ、ケズリ	F-3区砂礫層	
21図-10	弥生	甕	口径(20.0) 頭径(16.3)	0.1~0.5mmの石 英、長石を含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 褐色~黑色	(外) 横ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) ハラミガキ、ケズリ後ミガキ	F-3区砂礫層	
21図-11	弥生	甕	口径(20.4) 頭径(16.9)	1~2mmの白色 砂粒を含む	良好	(外) 部に断続的、 白い褐色 (内) 带褐色	(外) 口部擬凹線文、頸部ナデ 部ナデ、頸部ケズリ後ミガキ	E-3区砂礫層	
21図-12	弥生	甕	口径(19.4) 頭径(13.8)	1mm以下の長石、 石英を含む	良好	(外) 斯ス付青の濃色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文 (内) 横ナデ、粗くミ ガキ、ケズリ	D-3区砂礫層	
21図-13	弥生	甕	口径 15.2 頭径 11.9	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスス付 物、薄褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区砂礫層	
21図-14	弥生	甕	口径(18.0) 頭径(14.1)	右英、長石微粒 を少々含む	良好	(外) 淡褐色一部 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ヘラミガキ、ケズリ	C-3区砂礫層	
21図-15	弥生	甕	口径 18.4 頭径 13.4	0.5mm前後の砂粒 多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ヘラケズリ、ナデ	C-3区砂礫層	
21図-16	弥生	甕	口径(18.7) 頭径(15.6)	2~3mm前後の 白色砂粒を含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 淡褐色	(外) 1縦擬凹線文、頸部ナデ (内) 1縦 部ナデ、軽くケズリ	D-3区砂礫層 Bライン堆	
21図-17	弥生	甕	口径(19.7) 頭径(16.2)	2mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 斯ス付青の濃色 (内) 淡褐色	(外) 拡線四文ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	B-3区砂礫層	
21図-18	弥生	甕	口径(25.3) 頭径(19.7)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体的にスス付 物、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	D-3区砂礫層	
22図-1	弥生	甕	口径 11.2 頭径 8.7 高さ 10.8	2mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 斯ス付青の濃色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区砂礫層	
22図-2	弥生	甕	口径(12.1) 頭径(8.6)	1.5mm程度の黄英、 石英を少々含む	良好	(外) 地面に川筋、断続的 の褐色 (内) 断続的、薄褐色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ、淡褐色 スヌードル付で不明 (内) 横ナデ、ヘラ ミガキ、ケズリ	C-3区砂礫層 K7	
22図-3	弥生	甕	口径 12.9 頭径 8.2	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 斯ス付青の濃色 (内) 淡褐色	(外) 擬凹線文、ミガキ (内) 横ナデ、ヘラ ミガキ、ケズリ	E-3区砂礫層	
22図-4	弥生	甕	口径(12.4) 頭径(9.2)	0.5mm以下の長石、 石英をわずかに含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、ナデ、刺穴 (内) 横 部ナデ、ナデ後ミガキ、ヘラケズリ	D-3区砂礫層	
22図-5	弥生	甕	口径(15.7) 頭径(10.1)	1mm前後の長石、 石英を含む	良好	(外) 斜り井手の跡、底部 に断続的、薄褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) 横ナデ (横押えか?) ケズリ	D-3区砂礫層	
22図-6	弥生	甕	口径(17.0) 頭径(12.5)	1~2mmの右英、 長石を含む	良好	(外) 斜り井手の跡、薄褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ヘラミガキ、はり付け粘土、ケズリ	C-3区砂礫層	
22図-7	弥生	甕	口径 17.2 頭径 12.3	1mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体に斯ス付 物、黑色、暗褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ケズリ、横ナデ	C-3区砂礫層	
22図-8	弥生	甕	口径(19.0) 頭径(14.3)	1mm前後の長石、 石英を含む	良好	(外) 全体にスス付 物、黑色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ミガキ、ケズリ	B-3区砂礫層	
22図-9	弥生	甕	口径(19.8) 頭径(14.5)	1mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 斯ス付青の為不明 (内) 斜り井手の跡、薄褐色	(外) 斯ス付青の為不明 (内) 横ナデ、ケズリ	B-3区砂礫層	
22図-10	弥生	甕	口径 21.6 頭径 15.7	0.5mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 斜り井手の跡 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区砂礫層	
22図-11	弥生	甕	口径 18.2 頭径 13.7	2mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 斜り井手の跡、底部 に断続的、黑色 (内) 淡褐色	(外) ナデ、ハケ目 (内) ヘラケズリ、ナデ	C-3区砂礫層	
22図-12	弥生	甕	口径(16.7) 頭径(13.6)	1mm以下の長石、 石英を含む	良好	(外) 内、断続、淡 茶褐色	(外) 横ナデ、ナデ後擬凹線文 (内) 横ナデ、 ケズリ	C-3区砂礫層	
22図-13	弥生	甕	口径(18.0) 頭径(13.5)	1~2mm前後の白 色砂粒を含む (底 部もあつ)	良好	(外) 黒 (スス付青) (内) 剥離	(外) 口部擬凹線文、頸部ナデ、剥離 部ナデ (内) L部擬凹線文、頸部ナデ、 肩部ケズリ	R-3区砂礫層	
22図-14	弥生	甕	口径(19.4) 頭径(14.2)	1mmの砂粒を 含む	良好	(外) 黑 (内) 带褐色	(外) L部擬凹線文 (内) 口部ナデ、頸 部ケズリ	B-3区砂礫層	
22図-15	弥生	甕	口径(23.5) 頭径(17.2)	1mm前後の長石、 石英を含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、肩部はナデ後三段の回線、横 ナデ、ナデ後多条回線 (内) 横ナデ、ケズリ	C-3区砂礫層	
23図-1	弥生	甕	口径(14.0) 頭径(10.6)	1mm以下の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) 横ナデ、 ヘラケズリ	E-3区砂礫層	
23図-2	弥生	甕	口径(14.4) 頭径(11.0)	0.1~1mmの長石、 石英を含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ後二段の擬凹線、横ナデ (内) 横 ナデ、ナデ後ミガキ、ケズリ	Bライン堆	

種群番号	種類	器種	法量(cm)	胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土地・層
23回-3	弥生	甕	口径(11.8) 密径(9.1)	1mm以下の砂粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 明褐色	(外) I部部側面縫文、頭部ナデ (内) I部部ナデ (下部)ミガキ、胸部ケズリ後ミガキ	E-3区妙理層
23回-4	弥生	甕	口径(15.0) 密径(11.3)	0.5~1mmの長石、石英を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る (内) 淡茶色	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ (内) 橫ナデ、U-3区妙理層	
23回-5	弥生	甕	口径(16.6) 密径(11.1)	0.5mm以下の長石、石英を含む	良好	系状はね状の縫文、底部 頭部に砂粒を含む	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ、肩部多条凹線文 (内) 橫ナデ、ナデ後ミガキ、ケズリ、底部ミガキ	C-3区妙理層
23回-6	弥生	甕	口径(16.8) 密径(13.6)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 淡褐色 - 部 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙理層
23回-7	弥生	甕	口径(17.7) 密径(12.0)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る (内) 黑色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙理層
23回-8	弥生	甕	口径(18.0) 密径(13.9)	1~2mmの長石、石英を含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色、頭部 部分の方にはスズ付有る	(外) ナデ後擬凹線文、ナデ (内) ナデ、ミガキ、ケズリ	E-4区妙理層
23回-9	弥生	甕	口径(17.8) 密径(13.4)	0.5~2mmの砂粒を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、頭部 部分は淡褐色 - 淡茶色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラミガキ	E-3区妙理層
23回-10	弥生	甕	口径(16.0) 密径(11.0)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 部スズ付有る、 黑色、底部褐色	(外) 極ナデ、擬凹線文、横ナデ (内) 極ナデ、ヘラミガキ、ヘラケズリ	E-3区妙理層
23回-11	弥生	甕	口径(16.2) 密径(11.7)	0.5mm以下の長石、石英を含む	良好	(外) スズ付有るの無 頭部に砂粒を含む	(外) ナデ後擬凹線文、横ナデ、肩部多条凹線文 (内) ナデミガキ、ケズリ	E-3区妙理層
23回-12	弥生	甕	口径(18.2) 密径(13.7)	1~2mmの長石、石英を含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(外) ナデ後擬凹線文 (内) 橫ナデ、ヘラミガキ	E-3区妙理層
23回-13	弥生	甕	口径(16.7) 密径(12.0)	1mm以下の砂粒を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) 擬凹線文、ナデ (内) ヘラミガキ、ヘラケズリ	C-3区妙理層
23回-14	弥生	甕	口径(16.8) 密径(12.4)	1mm前後の長石、石英を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、黑色、底部褐色	(外) ナデ後凹線文、横ナデ (内) 極ナデ、ミガキ、ケズリ	C-3区妙理層
23回-15	弥生	甕	口径(17.5) 密径(12.9)	0.5mm以下の砂粒を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	Eライン畦中
23回-16	弥生	甕	口径(18.3) 密径(12.9)	0.5mm以下の長石、石英を含む	良好	(外) 内、淡	(外) ナデ後二段の擬凹線文、肩部具刺突文 (内) 極ナデ後ミガキ、ケズリ	E-3区妙理層
23回-17	弥生	甕	口径(19.6) 密径(14.4)	1~2mmの長石を多く含む	良好	(外) 淡褐色、スズ が多く付有る (内) 淡褐色	(外) ナデ後擬凹線文、工具で波状文 (内) ナデ、ケズリ	C-3区妙理層
24回-1	弥生	甕	口径(16.8) 密径(13.4)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 淡褐色	(外) 口縁部擬凹線文、頭部ナデ、胸部低形刺突文 (内) 口縁部ナデ、頭部不明	Bライン畦
24回-2	弥生	甕	口径(17.2) 密径(12.6)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ハケ日、ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙理層
24回-3	弥生	甕	口径(18.3) 密径(14.5)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) 擬凹線文、横ナデ (内) 橫ナデ、ヘラミガキ	D-3区妙理層
24回-4	弥生	甕	口径(18.6) 密径(15.4)	石英、長石微細 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 極ナデ後擬凹線文 (内) 極ナデ、ヘラケズリ	F-3区妙理層
24回-5	弥生	甕	口径(18.9) 密径(14.4)	1~2mmの長石、長石を含む	良好	(外) 全体的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) 極ナデ後擬凹線文 (内) 極ナデ、ヘラミガキ	B-3区妙理層
24回-6	弥生	甕	口径(19.1) 密径(14.8)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 黑色 (内) 淡褐色	(外) 極ナデ後擬凹線文 (内) 極ナデ、ヘラケズリ	F-3区妙理層
24回-7	弥生	甕	口径(19.3) 密径(15.4)	0.5~2mmまでの砂粒を含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡茶色	(外) ハケ日 (内) ナデ、ヘラケズリ	Aライン畦
24回-8	弥生	甕	口径(16.7) 密径(14.2)	1mm程度の長石、石英を含む	良好	(外) 拟凹線文の無 状、底部褐色 - 淡褐色 (内) 淡褐色 - 淡褐色	(外) 極ナデ後擬凹線文、頭部ナデ (内) ハケ日 (内) ナデ、ケズリ	C-3区妙理層
24回-9	弥生	甕	口径(17.5) 密径(13.1)	1mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 淡褐色	(外) 口縁部擬凹線文、頭部ナデ (内) 口縁部ナデ、頭部ケズリ	F-3区妙理層
24回-10	弥生	甕	口径(19.7) 密径(14.9)	1~3mm程度の砂粒を含む	良好	(外) 黑 (内) 淡褐色	(外) 口縁部擬凹線文、頭部ナデ (内) ナデ	C-3区妙理層
24回-11	弥生	甕	口径(20.5) 密径(14.5)	1mm以下の長石、長石を含む	良好	(外) 口縁部擬凹線文、頭部ナデ (内) 淡褐色	(外) 極ナデ後擬凹線文、ナデ (内) ヘラミガキ、ヘラケズリ	D-3区妙理層
24回-12	弥生	甕	口径(20.8) 密径(16.8)	0.5mm前後の白 色砂粒を含む	良好	(外) 淡褐色、全体 的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) 口縁部擬凹線文、頭部ナデ (内) 淡褐色	E-3区妙理層
24回-13	弥生	甕	口径(21.6) 密径(17.4)	0.5mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 淡褐色、全体 的にスズ付有る、黑色 (内) 淡褐色	(外) ハラケズリ、横ナデ (内) 淡褐色	E-3区妙理層
24回-14	弥生	甕	口径(25.2) 密径(21.2)	0.5mm以下の砂粒 を含む	良好	(外) 内、淡褐色	(外) ナデ (内) 横ナデ	E-4区妙理層
25回-1	弥生	甕	口径(22.5) 密径(18.7)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 - 部 (内) 淡茶色	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙理層
25回-2	弥生	甕	口径(22.5) 密径(18.7)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 亂 (スズ付有) (内) 淡褐色	(外) 口縁部擬凹線文、頭部ナデ (内) 口縁部ナデ、頭部ケズリ	B-3区妙理層
25回-3	弥生	甕	口径(26.8) 密径(21.7)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 喷灰色	(外) ハケ日 (内) ヘラケズリ	E-3区妙理層

鉢区番号	種類	器種	法算(cm)	胎 土	焼成	色 調	調整・手法の特徴・他	出上X:層
25回-4	弥生	甕	口径 29.1 頭径 22.3	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡褐色	(内) 横ナデ	C-3区妙麗層
25回-5	弥生	甕	口径 31.6 頭径 26.5	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色一部 スズ村青 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ヘラケズリ、ナデ	C-3区妙麗層
26回-1	弥生	甕	口径 (13.5) 頭径 (9.3)	1mm前後の砂 粒を含む	良好	褐色	(内) 口縁部ナデ、胴部ケズリ	Bライン味
26回-2	弥生	甕	口径 (15.0) 頭径 (12.2)	1mm程度の石英 等石粒を多く含む	良好	(外) 淡褐色スズ付 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、スズ付番着しく調整不明 (内) 橫ナデ、ミガキ、ケズリ	D-3区妙麗層
26回-3	弥生	甕	口径 14.5 頭径 11.4	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区妙麗層
26回-4	弥生	甕	口径 (13.6) 頭径 (11.1)	0.5mm以下の石英 等石粒を含む	良好	(外) 淡褐色一部スズ付 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、從方向のハケ日 (内) 横ナデ、 ヘラケズリ	F-4区妙麗層
26回-5	弥生	甕	口径 20.0 頭径 11.8	甕	良好	(外) 全体的にスズ付 黑、黑色一部淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙麗層
26回-6	弥生	甕	口径 (18.3) 頭径 (12.0)	1mm程の石英、長 石をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色一部淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	A-3区妙麗層
26回-7	弥生	甕	口径 (20.6) 頭径 (17.0)	1mm-2mmの砂粒 を含む	良好	淡褐色	(外) I輪部風化のため不明、痕部ナデ、胴部ハ ケ目 (内) 口縁部風化のため不明、痕部ケズリ	C-3区妙麗層
26回-8	弥生	甕	口径 13.3 頭径 10.0	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	淡褐色	(外) 横ナデ、横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケ ズリ	E-3区妙麗層
26回-9	弥生	甕	口径 (14.3) 頭径 (12.1)	0.5mm以下の石 英、長石を含む	良好	淡褐色	(外) 横ナデ、肩部に多条凹線 (摩耗) (内) 横ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙麗層
26回-10	弥生	甕	口径 (17.2) 頭径 (14.4)	0.5mm以下の長 石、石英を含む	良好	淡褐色	(外) 横ナデ、肩部に多条凹線 (摩耗) (内) 横ナデ、ヘラケズリ、指紋状模様あり	F-4区妙麗層
26回-11	弥生	甕	口径 (17.5) 頭径 (13.7)	1mm以上の長石、 石英を含む	良好	淡褐色	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	F-3区妙麗層
26回-12	弥生	甕	口径 19.8 頭径 16.2	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	淡灰褐色-深 褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	F-3区妙麗層
26回-13	弥生	甕	口径 21.3 頭径 17.5	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ 付、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	E-3区妙麗層
27回-1	弥生	甕	口径 14.9 頭径 11.2	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 全体的にスズ付 黑、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ、ヘラケ ズリ	C-3区妙麗層
27回-2	弥生	甕	口径 16.5 頭径 12.4	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ付 黑、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、肩部に多条凹線、波状文 (内) 横ナデ、ヘラケズリ	B-3区妙麗層
27回-3	弥生	甕	口径 15.9 頭径 12.5	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色、全 体的にスズ付青 色、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区妙麗層
27回-4	弥生	甕	口径 15.4 頭径 10.9	0.5mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体的にスズ付 黑、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 横ナデ、ハケ目 (内) 横ナデ、ヘラケ ズリ	E-3区妙麗層
27回-5	弥生	甕	口径 16.7 頭径 12.0	1-2mmの砂粒を 多く含む	良好	淡褐色	(外) ナデ、ハケ後ナデ (内) ヘラケズリ、 ナデ	B-3区妙麗層
27回-6	弥生	甕	口径 15.3 頭径 11.8	0.5mm程度の長石、 石英、他の砂粒を 含む	良好	淡褐色	(外) 横ナデ、肩部に多条凹線、波状文、ハケ 目 (内) ケズリ	F-3区妙麗層
27回-7	弥生	甕	口径 15.3 頭径 11.8	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	淡褐色	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区妙麗層
27回-8	弥生	甕	口径 (20.4) 頭径 (16.7)	1mm程度の長石、 石英を含む	良好	(外) 淡褐色	(外) 横ナデ後部に推進波状紋 (内) 横ナ デ、ヘラケズリ	D-3区妙麗層
27回-9	弥生	甕	口径 19.9 頭径 15.6	0.5mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色	(外) 横ナデ、肩部に多条凹線、ハケ目 (内) 横ナデ	F-3区妙麗層
27回-10	弥生	甕	口径 21.3 頭径 17.9	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	淡褐色	(外) 横ナデ、ハケ目、肩部に多条凹線、波状 文、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	C-3区妙麗層
27回-11	弥生	甕	口径 (26.2) 頭径 (22.3)	1mm程の石英が やや含まれる	良好	(外) 淡褐色一部 スズ付青 (内) 淡褐色	(外) 肩部に横ナデ多条凹線 (内) 横ナデ、 ケズリ	R-3区妙麗層
28回-1	弥生	甕	口径 24.3 頭径 19.7	1-2mmの砂粒を 多く含む	良好	(外) 淡褐青色一部 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ	Bライン味
28回-2	弥生	甕	口径 (17.5)	1mm前後の砂 粒を含む	良好	黑、褐色	(外) ナデ (内) ナデ	C-3区妙麗層 E-3区妙麗層
28回-3	弥生	甕	口径 (15.0) 頭径 (12.7)	1mm前後の砂 粒を含む	良好	赤茶褐色	ナデ	D-3区妙麗層
28回-4	弥生	甕	口径 (15.0)	1mm前後の砂 粒を含む	良好	赤茶褐色	ナデ	D-3区妙麗層
28回-5	弥生	甕	口径 (15.7) 頭径 (13.9)	0.5mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色-深 褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区妙麗層
28回-6	弥生	甕	口径 (16.4) 頭径 (14.2)	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	淡褐色	(外) ナデ、ヘラケズリ	F-3区妙麗層

押送番号	種類	品種	法量(cm)	胎士	焼成	色調	調整・手法の特徴・他			出土区・層
							蓋・甕	1mm以下の白色 砂粒を含む	良好 (外) 黒 (内) 褐色	
28回-7	弥生	甕	口径(17.8)							E-3区砂礫層
28回-8	弥生	甕	口径(17.9)	0.5mm以下の長石、 頭怪(14.7)	0.5mm以下の長石、 頭怪(11.5)	良好 (外) 黒 (内) 褐色	ナデ			A-3区砂礫層
28回-9	弥生	甕	口径(15.4)	1mm程の白英がや 頭怪(11.5)	1mm程の白英がや 頭怪(11.5)	良好 (外) 黒 (内) 褐色	ナデ			E-3区砂礫層
28回-10	上部器	甕	口径(13.0)	石英、長石、微 頭怪(10.6)	石英、長石、微 頭怪(10.6)	良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	11唇に凹窓あり	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	E-3区砂礫層
28回-11	上部器	甕	頭怪(12.4)	1mm以下の長石、 石英を含む		良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ		E-2区包含層上
28回-12	土師器	甕	口径(14.2)	石英、長石、微 頭怪(11.2)	石英、長石、微 頭怪(10.6)	良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	11唇に凹窓あり	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ケズリ	E-3区砂礫層
28回-13	弥生	甕	口径(17.8)	0.5mm以下の長石、 頭怪(14.8)	0.5mm以下の長石、 頭怪(13.8)	良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 横ナデ (内) 横ナデ、ヘラケズリ		E-3区砂礫層
28回-14	弥生	甕	口径(20.6)	1~2mm前後の砂 頭怪(13.9)	1~2mm前後の砂 頭怪(13.9)	良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 回転ナデ (内) ヘラケズリ		F-3区砂礫層
28回-15	弥生	甕	口径(20.3)	0.5mm以下の長石、 頭怪(14.9)	0.5mm以下の長石、 頭怪(13.9)	良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 横ナデ (内) 横ナデ(指捺あり)、ケ ズリ		E-3区砂礫層
28回-16	弥生	甕	口径(21.0)	0.5mm以下の長石、 頭怪(17.1)	0.5mm以下の長石、 頭怪(16.0)	良好 (外) 黒 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 横ナデ (内) 横ナデ		包含層
28回-17	弥生	甕	口径(23.0)	2mm前後の砂 頭怪(17.8)	2mm前後の砂 頭怪(17.8)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 横ナデ (内) ナデ		E-3区砂礫層
29回-1	弥生	甕	口径(16.2)	1回2~3mm前後の 頭怪(8.4)	1回2~3mm前後の 頭怪(8.4)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ (内) 口縁部ナデ、底部ケズリ		C-3区砂礫層
29回-2	弥生	甕	口径(13.7)	1回1~2mm前後の 頭怪(9.2)	1回1~2mm前後の 頭怪(9.2)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ (内) ナデ、ミガキ、ケズリ		B-3区砂礫層
29回-3	弥生	甕	口径(14.6)	1回1~2mm前後の 頭怪(13.1)	1回1~2mm前後の 頭怪(13.1)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ (内) ナデ、ケズリ		D-2区砂礫層
29回-4	弥生	甕	口径(10.7)	密2~3mm前後の 頭怪(8.5)	密2~3mm前後の 頭怪(8.5)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ (内) ナデ、指捺压痕		E-3区砂礫層
29回-5	弥生	甕	口径(12.4)	密2~3mm前後の 頭怪(9.2)	密2~3mm前後の 頭怪(9.2)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ		D-3区砂礫層
29回-6	弥生	甕	口径(17.2)	密1~2mm前後の 頭怪(13.8)	密1~2mm前後の 頭怪(13.8)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ、風化のため調整不明		E-4区砂礫層
29回-7	弥生	甕	口径(15.7)	密1~2mm前後の 頭怪(13.0)	密1~2mm前後の 頭怪(13.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ (内) ケズリ		F-4区砂礫層
29回-8	弥生	甕	口径(16.3)	0.5~2mmの砂 頭怪(13.3)	0.5~2mmの砂 頭怪(13.3)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ハケ後摺ナデ、ナデ (内) 横ナデ、ケ ズリ		Aライン畦
29回-9	弥生	甕	口径(17.2)	0.5mm以下の長石、 頭怪(14.5)	0.5mm以下の長石、 頭怪(13.8)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ後ミガキ (内) ナデ後ミガキ、ヘ ラケズリ		E-3区砂礫層
29回-10	弥生	甕	口径(19.7)	1mm前後の砂 頭怪(14.4)	1mm前後の砂 頭怪(14.4)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ヘラケズリ		G-4区砂礫層
29回-11	弥生	甕	口径(21.4)	1回1~2mm前後の 頭怪(17.0)	1回1~2mm前後の 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ナデ、ハケ目 (内) ナデ、ケズリ		C-3区砂礫層
29回-12	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ハケ後摺ナデ、ナデ (内) ハラケズリ、 刷毛 (内) ハラケズリ		C-3区砂礫層
29回-13	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ハラミガキ (内) ハラケズリ、工具に よるダテ方向のスジ日あり		F-3区砂礫層
29回-14	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 粗いハケ目 (内) ハラケズリ、 刷毛 (内) ハラケズリ		G-3区砂礫層
29回-15	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) スコッシュの黒 (内) 淡褐色		Eライン畦
29回-16	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ハケ目 (内) ハラケズリ		G-4区砂礫層
29回-17	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ハラケズリ		包含層
29回-18	弥生	注口上器		1mm前後の砂 頭怪(17.0)	1mm前後の砂 頭怪(17.0)	良好 (外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) ハラケズリ		F-4区砂礫層
30回-1	弥生	甕		1mm以下の砂 頭怪(17.0)	1mm以下の砂 頭怪(17.0)	(外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	波状文		B-3区砂礫層
30回-2	弥生	甕		1mm以下の砂 頭怪(17.0)	1mm以下の砂 頭怪(17.0)	(外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	波状文、クシ状に具による凹線		B-3区砂礫層
30回-3	弥生	甕		1mm以下の砂 頭怪(17.0)	1mm以下の砂 頭怪(17.0)	(外) 黑 (内) 淡褐色	ナデ	(外) 波状文 (内) ナデ、風化により調整不規 則性		F-4区砂礫層

辨認番号	種類	器種	法量(cm)	胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土区・層
30[4]-4	弥生	甕		1mm前後の白陶 赤色の砂粒を含む	(外) 黒褐色 (内) 淡茶	(外) 貝殻による文様あり (内) ナデ		E-3区砂礫層
30[4]-5	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 黄白茶色 (内) 墨灰色	(外) きざみ丹、ヘラによる斜線文 (内) ナデ		C-3区砂礫層
30[4]-6	弥生	甕		1mm程度の長石、 石英を含む	(外) 一重輪状文、墨色 (内) 黑褐色	(外) ナデ後貝殻による連續刻文 (内) ケズリ		D-3区砂礫層
30[4]-7	弥生	甕		1mm以下の長石、 石英を多く含む	(外) 二重輪状文、墨色 (内) 黑褐色	(外) 多条凹線、貝殻による連續刻文 (内) ケズリ		D-4区砂礫層
30[4]-8	弥生	甕	1mm以下 の砂粒 を含む	1mm以下の砂粒 を含む	(外) 黑褐色 (スズ付 名) 墨色	(外) クシ状工具による凹線、貝殻による斜線文 (内) ナデ、ケズリ		C-3区砂礫層
30[4]-9	弥生	甕		1mm程度の長石、 石英を含む	(外) 金属性にスズ付 名の墨色、灰褐色 (内) 黑褐色	(外) ナデ後貝殻による連續刻文 (内) ケズリ		E-4区砂礫層
30[4]-10	弥生	甕		1~2mmの砂粒 を多く含む	(外) 金属性にスズ付 名の墨色 (内) 淡茶色			D-3区砂礫層
30[4]-11	弥生	甕		0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	(外) 淡茶色、一 筋の黒付帯、墨色 (内) 淡茶色			F-3区砂礫層
30[4]-12	弥生	甕		2mm前後の砂粒 を多く含む	(外) 金属性にスズ 付名の墨色 (内) 灰褐色			F-4区砂礫層
30[4]-13	弥生	甕		1~2mmの砂粒を 多く含む	(外) 内) 白茶色 (外) 断) 灰色	(外) 列点款、斜線文 (貝殻か?) 列点文 (内) ケズリ		D-4区砂礫層
30[4]-14	弥生	甕		1mm程度の長石、 石英を含む	(外) 淡灰褐色 (内) 墨色 (内) 墨黄褐色	(外) ヘラ状工具による斜文ミガキ? (内) ケズリ		Bライン堆
30[4]-15	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 墨褐色 (内) 黄灰褐色			C-3区砂礫層
30[4]-16	弥生	甕		1~2mmの砂粒を 多く含む	(外) 淡灰褐色、ス ズ付帯墨色 (内) 淡茶色			D-3区砂礫層
30[4]-17	弥生	甕		1~2mmの砂粒を 多く含む	(外) 淡褐色 (内) 淡茶色			C-3区砂礫層
30[4]-18	弥生	甕		1~2mmの砂粒を 含む	(外) スズ付名 (内) 淡茶色	(外) クシ目による縦線、貝殻による爪形文、 ト部スズ付名により小明 (内) ケズリ		C-3区砂礫層
30[4]-19	弥生	甕		1mm程度の長石、 石英を少し含む	(外) 黑褐色 灰褐色 灰褐色 (内) 墨色	(外) ハケ状工具による連續刻文、ハケ目 (内) ケズリ		G-3区砂礫層
30[4]-20	弥生	甕		1mm前後の白色 砂粒を含む	(外) 内) 黑褐色 (外) 灰色	(外) クシ状工具による連續刻文、ナデ後墨 いミガキ (内) ケズリ		E-3区砂礫層
30[4]-21	弥生	甕		1mm位の長石、 石英を多く含む	(外) 黑褐色 灰褐色 灰褐色 (内) 墨色	(外) ナデ後貝殻による連續刻文 (内) ケ ズリ		F-3区砂礫層
30[4]-22	弥生	甕		1~1.5mm位の長 石、石英を多く含 む	(外) 部分的にスズ 付名の墨色 (内) 墨色 淡茶色	(外) ハケ目、ヘラ状工具による連續刻文 (内) ケズリ		E-3区砂礫層
30[4]-23	弥生	甕		1~2mmの砂粒を 多く含む	(外) 淡褐色、ス ズ付名、墨色 (内) 淡茶色			D-3区砂礫層
30[4]-24	弥生	甕		1~1.5mm程度の長 石、石英をまばら に含む	(外) 内) 淡灰褐色 (外) 墨色	(外) ハケ目、貝殻による連續刻文 (内) ハケ 目		F-4区砂礫層
30[4]-25	弥生	甕		2mm前後の砂粒 を多く含む	(外) 内) 墨白茶 色	(外) 程いいハケ目、斜線文 (クシか?) 程いい ハケ目後ミガキか? (内) ケズリ		E-3区砂礫層
30[4]-26	弥生	甕		1~2mm程の砂粒 を含む	(外) 墨スズ付名 の墨色 (内) 墨色	(外) 貝殻による連續刻文、多条凹線 (内) ケズリ		E-3区砂礫層
30[4]-27	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を多く含む	(外) 墓 (多量のス ズ付名) 墓灰褐色 (内) 白色	(外) 深い凹線文、貝殻文ツメ型 (内) ケズ リ後ナデ		D-3区砂礫層
30[4]-28	弥生	甕			(外) 部分的にスズ 付名の墨色、灰褐色 (内) 墨色	(外) 貝殻による連續刻文、ハケ目 (内) ケズ リ		C-3区砂礫層
30[4]-29	弥生	甕		1mm以下の砂粒 を含む	(外) 内) 白茶色	(外) 波状紋、凹線 (風化) 前じし具使用か? 3本 のクシによる連續刻文 (内) 風化により不明		E-3区砂礫層
30[4]-30	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 内) 白茶色	(外) 凹線、3本のクシによる連續刻文、ミガ キか? (内) 風化により不明		C-3区砂礫層
30[4]-31	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 内) 墨白茶 色	(外) タテ方向のハケ目後波状文 (大きな山形) (内) ケズリ		E-3区砂礫層
30[4]-32	弥生	甕		1~2mmの山形砂 粒 (山尖) を多く含 む	(外) 黄白茶色 (内) 黑褐色	(外) 表面風化ハケ目か? 波状文と思われるが 述説するかは不明 (内) ケズリ		B-3区砂礫層
30[4]-33	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 内) 墨白茶 色	(外) 程いいハケ目の上に凹線刻文、下部に波 状紋 (内) ハケ目		E-3区砂礫層
30[4]-34	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 黄白茶色 (内) 墨茶	(外) 波状紋の下部が残る、4条の凹線 ケズリ		B-3区砂礫層
31[4]-1	弥生	甕		1mm前後の砂粒 を含む	(外) 内) 墨白茶 色 (下部は灰茶)	(外) ナデ、貝殻による羽状文、2条の凹線 ケズリ		G-4区砂礫層

拂因番号	種類	器種	法量(cm)	胎土	焼成	色剂	測定・手法の特徴・仙		出土区・層
							(外) 黒褐色 (無化物付着) (内) 黑褐色	(外) 具袋による羽状文、下部は横方向のミガキ (内) ケズリ	
31図-2	弥生	甕		1mm以下の砂粒を含む					E-3区砂埋層
31図-3	弥生	甕					(外) 黒褐色 (内) 黑茶	(外) 具袋による羽状文 (内) ナデ、ケズリ	F-3区砂埋層
31図-4	弥生	甕		1mm以下の砂粒を含む			(外、内) 黑茶色 (外々ス付着)	(外) 具袋による羽状文 (内) ナデ、ケズリ	C-3区砂埋層
31図-5	弥生	甕		1mm前後の砂粒を含む			(外) 黒(多量のス ズ、炭化物付着) (内) 黑褐色	(外) 具袋による羽状文、ミガキ (内) ケズリ	E-3区砂埋層
31図-6	弥生	甕		1mm前後の砂粒を含む			(外) 黒褐色 (内) 濃褐色	(外) ナデ、具袋による羽状文 (内) ケズリ	C-3区砂埋層
31図-7	弥生	甕		1mm以下の長石、 石英を含む	良好		(外) 黑褐色 (内) 濃褐色 (外) 底部白色	(外) ヘラ状工具による斜線文 (内) ケズリ	F-2区包含層
31図-8	弥生	甕		1.5mm程度の長 石、石英を含む	良好		(外) 黑褐色 (内) 黑褐色と褐色の 混合色	(外) ナデ具袋による連続側突文、ハケ目 (内) ケズリ	F-4区砂埋層
31図-9	弥生	鬱台		細砂を含む			(外、内) 濃茶～ 黑褐色	(外) 4条の回線、具袋による羽状文、2条の回 線(黒化で浅い) (内) 黑化により不明	C-3区砂埋層
31図-10	弥生	甕		1mm以下の砂粒を含む	良好		(外) 黑褐色、ス ト付着 (内) 黑褐色	(外) 具袋文、4条のヘラ様沈痕、ミガキ (内) ケズリ	D-3区砂埋層
31図-11	弥生	甕		1mm前後の砂粒を多く含む			(外) 底部茶色 (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	D-3区砂埋層
31図-12	弥生	甕		1mm以下の細砂を含む			(外、内) 黑茶色 赤茶色顔料付着	(外) 具袋文、沈痕 (内) ケズリ	D-3区砂埋層
31図-13	弥生	甕		1mm前後の砂粒を含む			(外) 黄褐色、ス ト付着 (内) 黑褐色	(外) 只鉛文、下部にも文様あるが不明 (内) ケズリ	C-3区砂埋層
31図-14	弥生	甕		1~2mmの砂粒を多く含む			(外、内) 黑褐色 (内) ケズリ	(外) 具袋文、黒化により同様の数不明	D-3区砂埋層
31図-15	弥生	甕		1mm前後の砂粒を含む			(外) 黑褐色(ス ズ、炭化物付着) (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	F-4区砂埋層
31図-16	弥生	甕		1mm以下の砂粒をわずかに含む			(外) 黒(スズ、炭 化物付着) (内) 黑褐色	(外) 回線、具袋文 (内) ナデ、ケズリ	D-3区砂埋層
31図-17	弥生	甕		1mm前後の砂粒を多く含む			(外、内) 黑茶色	(外) 具袋文、クシ状工具による回線 (内) ケズリ	E-3区砂埋層
31図-18	弥生	甕		2mm前後の白色砂 粒(石英)を含む			(外) 灰白茶色(ス ズ、炭化物付着) (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	B-3区砂埋層
31図-19	弥生	甕		1mm前後の砂粒を含む			(外) 黑(スズ付着) (内) 黑褐色～黒褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	E-3区砂埋層
31図-20	弥生	甕		1mm以下の砂粒を少し含む			(外) 濃茶 (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	B-3区砂埋層
31図-21	弥生	甕					(外) 濃茶(一部ス ト付着) (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ナデ	C-3区砂埋層
31図-22	弥生	甕		細砂を含む			(外、内) 濃褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	C-3区砂埋層
31図-23	弥生	甕		1mm前後の砂粒を含む			(外) 黑白茶色(一 部黒褐色あり) (内) 黑茶色	(外) 具袋文、4条の回線 (内) ケズリ	D-3区砂埋層
31図-24	弥生	甕		2mm前後の白色 砂粒を含む			(外) 黑褐色(ス ズ付着) (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	B-3区砂埋層
31図-25	骨生	甕		1~2mmの砂粒を含む			(外) 黑褐色(一 部黒褐色) (内) 黑褐色	(外) 具袋文 (内) ケズリ	B-3区砂埋層
31図-26	骨生	甕		1~2mmの砂粒を含む			(外、内) 黑茶 (一部黒褐色おける)	(外) ヘラ縞による沈痕、具袋文 (内) ケズリ	C-3区砂埋層
31図-27	弥生	甕		1~2mmの砂粒を多く含む			(外) 黑褐色～黒色 (炭化物付着) (内) 黑褐色～黑色	(外) 具袋文(炭化物の付着により不明瞭) (内) ナデ、ケズリ	E-3区砂埋層
31図-28	弥生	甕		1mm前後の砂粒を少し含む			(外) 黑褐色 (内) 濃茶	(外) 具袋文 (内) ケズリ	B-3区砂埋層
31図-29	弥生	注口上器		1mm前後の白色 砂粒を含む			(外、内) 底部茶色	(外) 只鉛文、回線の上に円形連續刻突文 (内) ケズリ	C-3区砂埋層
31図-30	弥生	甕		1mm前後の砂粒をわずかに含む			(外、内) 黑白茶 色	(外) ミガキ、5条の回線、連續した勾玉状の文 様(内) ミガキ、ケズリ	E-3区砂埋層
31図-31	弥生	甕		1mm以下の砂粒をわずかに含む			(外、内) 黑白茶 色	(外) 連續鉛文、回線 (内) ケズリ	C-3区砂埋層
31図-32	弥生	甕		1mm以下の細砂を含む			(外) 黑褐色 (内) 黑茶	(外) 円形刻突文、只鉛文 (内) ケズリか不明	D-3区砂埋層
31図-33	弥生	甕		1mm以下の砂粒を含む			(外、内) 黑褐色	(外) 二重の円形文が丸状に連続、同様 (内) ケズリ	C-3区砂埋層

掲図番号	種類	香 種	法量 (cm)	胎 士	焼成	色 調	調査・手法の特徴・他	出土区・層
32図-1	弥生	麦	底径 (10.8) 残存高 9.0	1~3mmの砂粒を 多く含む	良好	(外) 淡灰褐色、 品ス付着、黒色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ヘラケズリ、ヘラミガキ	E-3区砂礫層
32図-2	弥生	麦	底径 (2.8) 残存高 1.6	1mm以下の 砂粒を含む	良好	(外) 褐 (内) 茶褐色	(内) ミガキ	F-3区砂礫層
32図-3	弥生	麦	底径 (2.6) 残存高 2.0	0.5mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全体的にス付 着、黒色 (内) ス付着、黒色	(外) ス付着調整不明 (内) ヘラケズリ	D-3区砂礫層
32図-4	弥生	麦	底径 (5.6) 残存高 2.4	1mm以下の 砂粒を含む	良好	黒	(外) ミガキ	C-3区砂礫層 Bライン壁
32図-5	弥生	麦	底径 (7.0) 残存高 2.3	1~3mmの砂粒 を含む	良好	(外) 黒~暗茶褐色 (内) 茶褐色	(外) 頸部ハケ目	G-4区砂礫層
32図-6	弥生	麦	底径 (9.6) 残存高 3.8	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	赤褐色~淡茶褐色	(内) ケズリ	F-3区砂礫層
32図-7	弥生	麦	底径 (3.4) 残存高 1.7	1~3mmの砂粒 を含む	良好	黒	(外) ハケ目	E-3区砂礫層
32図-8	弥生	麦	底径 (3.2) 残存高 2.2	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 淡茶褐色 (内) 淡茶褐色	(外) ハケ目	Bライン壁
32図-9	弥生	麦	底径 (4.1) 残存高 2.2	1~3mmの砂粒 を含む	良好	茶褐色	風化のため不明	F-4区砂礫層
32図-10	弥生	麦	底径 (3.8) 残存高 2.2	1~3mmの砂粒 を含む	良好	黒	(内) ケズリ	D-3区砂礫層
32図-11	弥生	麦	底径 (4.0) 残存高 2.5	1~2mmの砂粒 を含む	良好	(外) 暗茶褐色 (内) 黒	(外) ミガキ (一部その後ナデ) (内) ケズリ	C-3区砂礫層
32図-12	弥生	麦	底径 (5.0) 残存高 1.8	1~2mm前後の 砂粒を含む		暗灰褐色	(外) ミガキ (内) 不明	C-3区砂礫層
32図-13	弥生	麦	底径 (4.2) 残存高 3.2	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	黒	(外) ミガキ (内) ミガキ	E-3区砂礫層
32図-14	弥生	麦	底径 (4.8) 残存高 1.8	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 淡茶褐色~黒	(外) ハケ目 (内) ケズリ	E-3区砂礫層
32図-15	弥生	麦	底径 (6.1) 残存高 2.7	1mm前後の砂 粒を含む	良好	暗茶褐色	(外) ハケ目	G-4区砂礫層
32図-16	弥生	麦	底径 (6.9) 残存高 3.8	1mm程度の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 黑~茶褐色 (内) 白茶褐色 (内) 白灰褐色	(外) ミガキ (内) ナデ痕~一部ミガキ、構ナデ	D-3区砂礫層
32図-17	弥生	麦	底径 (5.2) 残存高 3.8	1mm前後の砂 粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 暗茶褐色	(外) ハケ目 (内) 指印H底	E-3区砂礫層 A9
32図-18	弥生	麦	底径 (6.0) 残存高 3.5	1mm以下の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 暗褐色、ス 付着 (内) 暗褐色	(外) ハケ目 (内) ヘラケズリ (底面) ハ ケ目	E-3区砂礫層
32図-19	弥生	麦	底径 (6.2) 残存高 5.3	1~1.5mm前後の長 石、石英が多く含 む	良好	茶褐色~暗茶褐色 (内) 暗褐色	(外) ナデ後ハケ目 (内) ヘラケズリ (底 面) 不定方向のナデ	E-3区砂礫層
32図-20	弥生	麦	底径 (5.8) 残存高 5.1	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 暗灰褐色 (内) 底褐色	(外) ミガキ (表面が少し剥離) (内) ケズリ	G-3区砂礫層
32図-21	弥生	麦	底径 (5.4) 残存高 3.7	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	黒	(外) ミガキ (内) ケズリ	F-3区砂礫層
32図-22	弥生	麦	底径 (4.3) 残存高 3.2	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 淡茶褐色 (内) 暗茶褐色	(外) ハケ目 (内) ケズリ	F-4区砂礫層
32図-23	弥生	麦	底径 (3.8) 残存高 2.3	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 暗灰褐色 (内) 黑	(外) ハケ目 (内) 指印H底	D-3区砂礫層 F-4区砂礫層
32図-24	弥生	麦	底径 (5.8) 残存高 3.3	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	暗茶褐色	(外) ハケ目 (内) ケズリ	E-3区砂礫層
32図-25	弥生	麦	底径 (4.6) 残存高 2.3	1mm前後の砂 粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 茶褐色	(外) ナデ (内) 指印H底	E-3区砂礫層
32図-26	弥生	麦	底径 (6.4) 残存高 3.3	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	乳褐色	(外) 風化のため不明 (内) 頸部ケズリ	F-4区砂礫層
32図-27	弥生	麦	底径 (5.0) 残存高 3.3	1mm前後の砂 粒を含む	良好	黑~暗灰褐色	(外) ハケ目 (内) ケズリ	C-3区砂礫層 D-3区砂礫層
32図-28	弥生	麦	底径 (3.0) 残存高 4.1	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 黑 (内) 底褐色	(外) ミガキ (内) ケズリ	C-3区砂礫層
32図-29	弥生	麦	底径 (6.4) 残存高 2.6	1mm前後の砂 粒を含む	良好	淡茶褐色	不明	C-3区砂礫層
32図-30	弥生	麦	底径 (4.5) 残存高 3.1	1mm前後の砂 粒を含む	良好	(外) 乳白色 (内) 暗灰褐色	不明	G-4区砂礫層
32図-31	弥生	麦	底径 (7.8) 残存高 4.3	1mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 暗茶褐色	(外) ハケ目 (内) ヘラケズリ	G-3区砂礫層
32図-32	弥生	麦	底径 (7.0) 残存高 7.8	1~2mm前後の 砂粒を含む	良好	(外) 茶褐色~橙褐 色~黒 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ目 (内) 指印上底、ケズリ	F-4区砂礫層

押固番号	種類	器 様	法量 (cm)	胎 土	焼成	色 調	調整・手法の特徴・他	出土区・層
32回-33	弥生	甕	底径 (10.1) 残存高 4.8	1mm前後の石英、 長石を少し含む	良好	(外) 全般的にスズ付 付、黒色 (内) 黒褐色	(外) ハケ日 (内) ケズリ後ナデ	F-4区砂埋 層
32回-34	弥生	甕	底径 (3.7) 残存高 1.8	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全般的にスズ付 付、黒色 (内) 黒褐色	(外) ハケ日 (内) ヘラケズリ	C-3区砂埋 層
32回-35	弥生	甕	底径 (3.8) 残存高 2.3	1mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 全般的にスズ付 付、黒色 (内) 黒褐色	(外) ハケ日 (内) ヘラケズリ	A-3区砂埋 層
32回-36	弥生	甕	底径 (4.0) 残存高 4.1	1mm以下の砂 粒を含む	良好	(外) 黒 (内) 喀茶褐色	(外) ハケ日 (内) 指頭圧痕、ケズリ	D-3区砂埋 層
32回-37	弥生	甕	底径 (3.7) 残存高 7.2	1mmくらいの石英、 長石をわずかに含む	良好	(外) 法陶色 (スズ 付) 黒褐色 (内) 淡褐色	(外) ハケ日 (内) 指頭圧痕、ケズリ	D-3区砂埋 層
33回-1	弥生	器台	口径 (12.0)	1mm前後の砂粒 を含む	良好	(外) 淡茶色 (内) 淡茶色	(外) ナデ、凹線 (内) ケズリ後ミガキ	C-3区砂埋 層
33回-2	弥生	器台	口径 (17.8)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ、凹線 (内) ナデ、ミガキ	C-3区砂埋 層
33回-3	弥生	器台	底径 (14.2)	2mm以下の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰顔料付 付、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ミガキ、脚部凹線文 (内) ケズリ後ミ ガキ	G-3区砂埋 層
33回-4	弥生	器台	口径 19.4	2mm以下の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ日後凹線文、ミガキ、脚部凹線文 (内) ケズリ後ミガキ、脚ケズリ	G-3区砂埋 層
33回-5	弥生	器台	底径 (13.2)	1~2mmの砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ケズリ、ナデ	G-3区砂埋 層
33回-6	弥生	器台	口径 (18.0)	石英、長石微粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ナデ	G-3区砂埋 層
33回-7	弥生	器台	底径 (17.4)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ日、凹線 (内) ミガキ、ケズリ	F-3区砂埋 層
33回-8	弥生	器台	口径 (17.8)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ミガキ (内) ナデ	E-3区砂埋 層
33回-9	弥生	器台	口径 (19.7)	0.5mm前後の石英、 長石を多く含む	良好	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(外) ナデ後凹線文 (内) 黒化の為不明	C-3区砂埋 層
33回-10	弥生	器台	口径 (22.4)	0.5mm以下の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 赤色顔料付 付、赤褐色 (内) 赤褐色	(外) ナデ、凹線文 (内) ナデ、指ナデ後 ミガキ	C-3区砂埋 層
33回-11	弥生	器台	口径 (12.5)	石英、長石微粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡褐色、赤褐色 付、赤褐色 (内) 淡褐色、赤褐色	(外) ケズリ後ナデ後ミガキ (内) ケズリ後 ミガキ	F-4区砂埋 層
33回-12	弥生	器台		1mm以下の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 緩混茶色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	F-4区砂埋 層
33回-13	弥生	器台	口径 (20.8)	0.5~1mmの石英、 長石を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 付、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ミガキ、ケズリ後ミガキ	C-3区砂埋 層
33回-14	弥生	器台	底径 (11.3)	密	良好	(外) 淡灰褐色~灰褐色 付、淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ後ミガキ、ケズリ	Dライン珪
34回-1	弥生	器台	底径 (10.6)	1mm前後の砂粒 を含む	良好	(外) 白灰茶色 (内) 白灰茶色	(外) 指頭線文 (内) ケズリ、ナデ	E-3区砂埋 層
34回-2	弥生	器台	底径 (12.0)	1mm前後の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡白色 (内) 全般的に黑色	(外) ナデ、凹線文 (内) ケズリ	F-4区砂埋 層
34回-3	弥生	器台	底径 (13.8)	石英、長石微粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡褐色、赤褐色 付、赤褐色 (内) 黑色	(外) ミガキ、ナデ後凹線文 (内) ケズリ	E-3区砂埋 層
34回-4	弥生	器台	底径 (16.4)	1mm以上の石英少々、 石英、長石微粒 を含む	良好	(外) 淡褐色~淡雅 付、黑色~赤褐色 (内) 黑色~赤褐色	(外) ミガキ、ナデ後凹線文 (内) ケズリ	B-3区砂埋 層
34回-5	弥生	器台	底径 (16.2)	石英、長石微粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 黑褐色	(外) ミガキ、ナデ後凹線文 (内) ケズリ	D-3区砂埋 層
34回-6	弥生	器台	底径 (19.2)	1mm前後の石英、 長石を含む	良好	(外) 灰褐色 (内) 灰褐色	(外) ナデ、ナデ後凹線文 (内) ケズリ、 ナデ	D-3区砂埋 層
34回-7	弥生	器台	底径 (18.0)	1~2mm前後の白 色砂粒を含む	良好	(外) 白灰茶色 (内) 白灰茶色	(外) ク本のクシ状の工具で3回にわたり剥離線 (内) ケズリ、ナデ	E-3区砂埋 層
34回-8	弥生	器台	底径 (14.4)	1~2mmの砂粒を 多く含む	良好	(外) 淡褐色 付、淡褐色	(外) ナデ、ハケ日、ケズリ (内) ケズリ	C-3区砂埋 層
34回-9	弥生	器台	底径 (15.2)	1mm前後の石英、 長石を含む	良好	(外) 淡褐色 付、淡褐色 付、淡褐色 付、淡褐色	(外) 粗いミガキ、ナデ (内) ケズリ、ナデ	E-3区砂埋 層
34回-10	弥生	器台	口径 (20.8) 底径 (14.4)	1.5mm以下の石英、 長石、石英を含む	良好	(外) 淡褐色 付、淡褐色 付、淡褐色 付、淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	F-4区砂埋 層
35回-1	弥生	高坏	口径 (19.6)	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡褐色 付、淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	G-4区砂埋 層
35回-2	弥生	高坏	口径 (20.3)	1mm前後の石英、 長石を多く含む	良好	(外) 暗灰白色 付、暗灰白色	(外) ミガキ、ハケ日、ナデ (内) ミガキ	E-3区砂埋 層
35回-3	弥生	高坏	口径 (17.6)	1mm前後の砂粒 をわざかに含む	良好	(外) 淡褐色白色 付、淡褐色白色	(外) ヨコナデ (内) ヨコナデ、ヘラミガキ	E-3区砂埋 層

掲図番号	種類	器種	法試(cm)	船	上	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出上区・層
35図- 4	弥生	高坏	口径(16.1)	1~2mmの石英、長石をまばらに含む	良好	(外) 青褐色 (内) 青褐色 (術) 青褐色	(外) ミガキ (内) ミガキ		C-3区砂礫層
35図- 5	弥生	高坏	口径(22.2)	青	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ミガキ		D-3区砂礫層
35図- 6	土師器	高坏	口径(19.6)	0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰灰褐色 (内) 淡灰灰褐色	(外) ハケ後ナデ (内) ミガキ		B-3区砂礫層
35図- 7	土師器	高坏	口径(18.0)	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ミガキ		E-3区砂礫層
35図- 8	土師器	高坏	口径(17.4)	0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ナデ		E-3区砂礫層
35図- 9	土師器	高坏	口径(16.4)	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ミガキ		G-4区砂礫層
35図-10	土師器	高坏	口径(13.0)	1mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ミガキ (内) ミガキ		C-3区砂礫層
35図-11	土師器	高坏	口径(16.4)	0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ、ハケ日 (内) ミガキ		R-3区砂礫層
35図-12	土師器	高坏	口径(11.8)	1mm前後の石英をわずかに含む	良好	(外) 青褐色 (内) 青褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ナデ		E-4区砂礫層
35図-13	土師器	高坏		1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色	(外) ハケ後ナデ (内) ナデ		A-3区砂礫層
35図-14	弥生	高坏		2mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) スヌ音青、黑色	(外) ハケ日 (内) 壱、ミガキ、箇、ナデ		C-3区砂礫層
35図-15	弥生	高坏		1~2mmの白色砂粒を含む	良好	(外) 灰白灰色 (内) 灰白灰色	(外) ケズリ後ミガキ (内) 箇、ケズリ 壱、ミガキ中央部ナデ		E-3区砂礫層
35図-16	弥生	高坏		2mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ハラケズリ		C-3区砂礫層
35図-17	弥生	高坏	底径(11.4)	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ヘラミガキ (内) ケズリ後ナデ		E-3区砂礫層
35図-18	弥生	高坏		1~3mmの砂粒を含む	良好	(外) 黑色 (内) 从茶色、一部 淡灰褐色	(外) ミガキ (内) ケズリ		E-3区砂礫層
35図-19	土師器	高坏		1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ハケ後ナデ (内) ミガキ		G-4区砂礫層
35図-20	土師器	高坏		0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ後ナデ (内) ミガキ		F-4区砂礫層
35図-21	土師器	高坏		0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ後ナデ (内) ミガキ		F-4区砂礫層
35図-22	土師器	高坏		0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ後ナデ (内) ミガキ		E-3区砂礫層
35図-23	土師器	高坏		1mm前後の石英、長石を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 第一灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ハケ日 (内) ミガキ		F-4区砂礫層
35図-24	弥生	高坏		1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ミガキ後施紋 (内) 壱、ミガキ、箇、しばり後ナデ		F-4区砂礫層
35図-25	弥生	高坏		1mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ミガキ (内) 壱、ミガキ、箇、ケズリ		R続ライン層
35図-26	弥生	高坏		2mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ミガキ (内) 箇、ナデ		C-3区砂礫層
35図-27	弥生	高坏		1mm前後の白色砂粒を含む	良好	(外) 灰白色 (内) 灰白色	(外) ミガキ (内) 壱、ミガキ、箇、ケズリ		E-3区砂礫層
35図- 1	弥生	高坏		1mm前後の玉形、0.5mm以上の灰白、黒色を含む	良好	(外) 淡灰黃褐色 (内) 淡灰黃褐色	(外) ミガキ (内) ケズリ		D-3区砂礫層
36図- 2	弥生	高坏		1mm前後の白色砂粒を含む	良好	(外) 黑色 (内) 黑色	(外) ミガキ (内) 箇、ケズリ、箇、ハケ日		G-4区砂礫層
36図- 3	土師器	高坏		1mm以下の白色砂粒を含む	良好	(外) 灰白茶色 (内) 茶色	(外) ハケ後ミガキ (内) ケズリ、箇、ハケ日		D-3区砂礫層
36図- 4	土師器	高坏		1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰灰褐色 (内) 暗灰褐色	(外) 風化の為不明 (内) ナデ		D-3区砂礫層
36図- 5	土師器	高坏	底径(10.2)	1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ハケ日 (内) ナデ		G-4区砂礫層
36図- 6	土師器	高坏	底径(13.8)	青	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ミガキ、ハケ後ナデ (内) ナデ		C-3区砂礫層
36図- 7	土師器	高坏	底径(11.8)	青	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色 (術) 淡灰褐色	(外) ミガキ、ハケ後ナデ (内) ハケ日、ケズリ		C-3区砂礫層
36図- 8	土師器	高坏		1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 風化の為不明 (内) ケズリ		C-3区砂礫層

拂岡番号	種類	器種	法墨(cm)	胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土層/層
36回- 9	上飾器	高杯	底径 (9.8)	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡緑褐色 (内) 棕褐色	(外) ハケ目、ミガキ、裾ナデ (内) 筒、ケズリ、裾、ハケ目	E-3区砂埋層
36回- 10	上飾器	高杯		1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡緑白色 (内) 淡緑白色	(外) 風化の為不明 (内) ナデ	F-2区砂埋層
36回- 11	上飾器	高杯	底径 (8.8)	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡緑褐色 (内) 淡緑褐色	(外) ハケ目、ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
36回- 12	上飾器	高杯	底径 (9.2)	南	良好	(外) 淡緑褐色 (内) 棕褐色	(外) ハケ目、ナデ (内) ハケ目	E-3区砂埋層
36回- 13	土師器	高杯	底径 (9.4)	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) 風化の為不明 (内) ハケ目	B-3区砂埋層
36回- 14	土師器	高杯	底径 (9.0)	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡黄色 (内) 淡黃灰色	(外) ミガキ、ナデ (内) しばり	重複削作中表より
36回- 15	土師器	底脚杯	口径 (13.8)	1~2mmの石英、長石をわずかに含む	良好	(外) 棕褐色 (内) 淡黃褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
36回- 16	土師器	底脚杯		1mm前後の石英、長石を多く含む	良好	(外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 (外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色	(外) ハケ目、ナデ (内) ケズリ後ミガキ	D-3区砂埋層
36回- 17	土師器	底脚杯		1~2mmの石英、長石を多く含む	良好	(外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 (外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色	(外) ナデ (内) 風化の為不明	包含層
36回- 18	弥生	底脚杯	底径 10.0	1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡黃茶色 (内) 淡黃茶色	(外) ナデ (内) 壁、ミガキ、裾、ナデ	E-3区砂埋層
36回- 19	土師器	底脚杯	底径 6.5	0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ、ミガキ (内) ナデ	F-3区砂埋層
36回- 20	土師器	底脚杯	底径 5.2	1mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 風化の為不明 (内) 風化の為不明	E-3区砂埋層
36回- 21	土師器	底脚杯		密	良好	(外) 淡白灰色 (内) 淡白灰色	(外) ナデ (内) ナデ	G-3区砂埋層
36回- 22	土師器	底脚杯	底径 4.2	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色 (外) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	G-3区砂埋層
36回- 23	上飾器	底脚杯	底径 4.6	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色、一部黒色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
36回- 24	土師器	底脚杯	底径 4.2	0.5mm以下の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 風化の為不明 (内) 風化の為不明	F-4区砂埋層
36回- 25	上飾器	底脚杯	底径 2.9	1mm前後の石英、長石を含む	良好	(外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-2区砂埋層
36回- 26	弥生	蓋		2mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色 (内) 淡灰褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
36回- 27	弥生	蓋	底径 14.0	0.5~2mmの砂粒を多く含む	良好	(外) 暗灰色~淡灰色 (内) 暗灰色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
36回- 28	弥生	蓋		1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 全体的に墨色 (内) 黒色	(外) 風化の為不明 (内) 風化の為不明	Eライン壁
36回- 29	弥生	蓋	口径 8.8	2mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色 (外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ミガキ (内) ケズリ	F-3区砂埋層
36回- 30	弥生	蓋	口径 9.0	1~2mmの砂粒を含む	良好	(外) 朱色、朱色顔料 (内) 朱色、朱色顔料	(外) ミガキ (内) ケズリ、ミガキ	E-3区砂埋層
36回- 31	弥生	蓋	口径 11.2	密	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
37回- 1	弥生	(把手)		密1~2mm前後の砂粒を含む	良好	淡褐色	ケズリ	D-3区砂埋層
37回- 2	弥生			密1~2mmの砂粒を含む	良好	赤色(木漆りか?) 淡褐色	ケズリ	C-3区砂埋層
37回- 3	常生	瓶形上巻		密2~3mm前後の砂粒を含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 黒	(外) ケズリ後ナデ (内) ナデ	E-3区砂埋層
37回- 4		(把手)		密1~2mm前後の砂粒を含む	良好	淡黃褐色	ケズリ	C-3区砂埋層
37回- 5	上製品	上製支脚		密2~3mmの砂粒を含む	良好	淡黃褐色		B-3区砂埋層
37回- 6	土製品	土製支脚		1mm前後の砂粒をわずかに含む	良好	淡褐色		B-3区砂埋層
37回- 7	土製品	土製支脚	底径 10.3	1mm前後の砂粒を多く含む	良好	(外) 淡黃茶褐色 (内) 淡褐色 (外) 淡褐色		B-3区砂埋層
37回- 8	土製品	小型丸底盃	口径 (10.0) 底径 (8.4)	0.5mm以下の砂粒を若干含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色 (外) 淡褐色	(外) ナデ (内) 橫ナデ	B-3区砂埋層
37回- 9	土製品	小窓丸底盃	口径 (8.4) 底径 (5.9)	0.5mm以下の砂粒をわずかに含む	良好	(外) 淡褐色 (内) 淡褐色	(外) 橫ナデ、ハケ目 (内) 橫ナデ、横ナデ	E坑柱

探査番号	種類	器種	法量(cm)	胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴・他	出土区・層
37図-10	土製品	小型丸底甌	口径 8.4 直径 6.2	1mm前後の砂粒 を多く含む	良好	(外) 淡灰褐色一帯 (内) 淡褐色 (内) 淡灰色	(外) 横ナデ、ハケ日 (内) 橫ナデ、ヘラケ	B-3区砂礫層
37図-11	土製品	小型丸底甌	口径 (5.1)	0.5mm以下の砂 粒をわずかに含む	良好	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(外) ハケ後ナデ	B-3区砂礫層
37図-12	須恵器	蓋	口径 (18.7)	密	良好	淡褐色	(外) 回転ナデ (内) 橫転ナデ	D-3区砂礫層
37図-13	須恵器	环	口径 (10.1) 受部径 (13.4)	密	良好	(外、内) 淡 灰色	(外) 回転ナデ (内) 橫転ナデ	B-3区砂礫層
37図-14	須恵器	环	口径 (10.6) 受部径 (13.4)	密	良好	(外、内) 灰色	(外) 横ナデ (内) 横ナデ	F-4区砂礫層
37図-15	須恵器	环	口径 11.0 受部径 13.2	1mm以下前の砂 粒をわずかに含む	良好	灰色	(外) 尾部一へきり、ヘラケズリ (内) 橫 転ナデ	B-3区砂礫層
37図-16	須恵器	环	底径 (8.0)	1mm以下の長石 をわずかに含む	良好	(外、内) 淡 灰色	(外) 回転ナデ、不定方向のナデ、底部糸切痕 (内) ナデ	A-3区砂礫層
37図-17	須恵器	溝環	くぐれ部径 4.7	1mm以下の長石、 石英を多く含む	良好	(外) 灰色 (内) 淡灰色	(外) 回転ナデ、不定方向のナデ、底部糸切痕 (内) 橫転ナデ	E-3区砂礫層
37図-18	須恵器	溝環	底径 9.2	0.5mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	暗灰色	(外) 回転ナデ (内) ナデ、成形一ロクロ	E-3区砂礫層
37図-19	須恵器	溝環	底径 9.2	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	(外、内) 灰色	(外) ナデ (内) ナデ	E-4区砂礫層
37図-20	土製品	土甌	直徑 4.0	2mm前後の砂粒 を多く含む	良好	淡褐色		C-3区砂礫層
37図-21	土製品	土甌	直徑 3.1	密	良好	淡褐色		F-3区砂礫層
37図-22	土製品	土甌	直徑 2.9	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	淡褐色		F-3区砂礫層
37図-23	土製品	土甌	直徑 2.1	0.5mm以下の砂粒 をわずかに含む	良好	淡褐色		D-3区砂礫層
37図-24	土製品	土甌	直徑 3.0	0.5mm以下の砂粒 を多く含む	良好	淡褐色		G-4区砂礫層
37図-25	土製品	土甌	直徑 3.3	2mm前後の砂粒 をわずかに含む	良好	褐色	刺突痕は2ヶ所あるが孔は貫通していない	E-2区包含層上面
37図-26	土製品	土甌	直徑 1.85	密	良好	灰褐色一帯 灰色	孔無し	E-3区砂礫層

石器観察表

探査番号	種類	法量(cm,g)	石材	備考	出土区・層
38図-1	鐵	幅 2.1 横 1.35 厚さ 0.38 重さ 0.76	黒曜石		C-3区砂礫層
38図-2	鐵	幅 1.5 横 1.6 厚さ 0.25 重さ 0.55	黒曜石	一部欠損	包含層
38図-3	旗本製作	幅 2.3 2.3 横 0.55 厚さ 0.25 重さ 2.37	黒曜石		包含層
38図-4	スクレイパー	幅 5.7 3.0 横 1.3 厚さ 0.25 重さ 17.04	黒曜石		E-3区砂礫層
38図-5	スクレイパー	幅 3.7 3.8 横 1.0 厚さ 0.25 重さ 16.71	黒曜石		包含層上面
38図-6	スクレイパー	幅 3.9 4.5 横 0.9 厚さ 0.25 重さ 16.24	黒曜石		砂礫層
38図-7	スクレイパー	幅 4.5 6.5 横 1.0 厚さ 0.25 重さ 37.61	黒曜石		G-4区砂礫層
38図-8	スクレイパー	幅 2.2 3.35 横 1.2 厚さ 0.25 重さ 8.80	黒曜石		G-3区砂礫層
38図-9	スクレイパー	幅 1.3 3.6 横 0.3 厚さ 0.25 重さ 2.27	黒曜石		F-3区砂礫層
38図-10	スクレイパー	幅 1.7 2.3 横 0.8 厚さ 0.25 重さ 2.47	黒曜石	一部欠損	E-2区包含層上 面
38図-11	スクレイパー	幅 2.6 3.8 横 1.0 厚さ 0.25 重さ 10.32	黒曜石		包含層

捕獲番号	種類	法 量 (cm.g)	石材	備 考	出土区・層
39回- 1	スクレイパー	幅 4.2 横 2.8 厚さ 1.5 重さ 12.87	黒曜石		F-3区包含層上面
39回- 2	スクレイパー	幅 3.2 横 3.8 厚さ 1.7 重さ 16.69	黒曜石		G-2区遺構面
39回- 3	スクレイパー	幅 3.2 横 7.4 厚さ 0.9 重さ 19.10	黒曜石		F-4区砂礫層
39回- 4	スクレイパー	幅 2.7 横 6.8 厚さ 1.3 重さ 22.44	黒曜石		D-3区砂礫層
39回- 5	スクレイパー	幅 7.2 横 7.0 厚さ 2.0 重さ 100.71	黒曜石		D-2区遺構面
40回- 1	スクレイパー	幅 4.9 横 8.2 厚さ 1.4 重さ 40.33	黒曜石		E-4区砂礫層
40回- 2	スクレイパー	幅 5.6 横 7.7 厚さ 1.1 重さ 54.14	黒曜石		C-3区砂礫層
40回- 3	剥片	縦 2.5 横 3.4 厚さ 0.9 重さ 5.43	黒曜石		Aライン點
40回- 4	剥片	縦 2.2 横 2.2 厚さ 0.5 重さ 2.32	黒曜石		G-2区遺構検出面
40回- 5	剥片	縦 2.7 横 2.8 厚さ 0.4 重さ 3.83	黒曜石		F-4区砂礫層
40回- 6	剥片	縦 3.2 横 2.1 厚さ 0.6 重さ 2.44	黒曜石		G-2区遺構検出面
40回- 7	剥片	縦 4.0 横 2.2 厚さ 0.7 重さ 7.00	黒曜石		E-3区砂礫層
40回- 8	剥片	縦 3.8 横 2.5 厚さ 1.4 重さ 11.44	黒曜石		F-4区砂礫層
40回- 9	剥片	縦 3.1 横 2.6 厚さ 0.5 重さ 3.97	黒曜石		G-4区砂礫層

木 製 品 觀 察 表

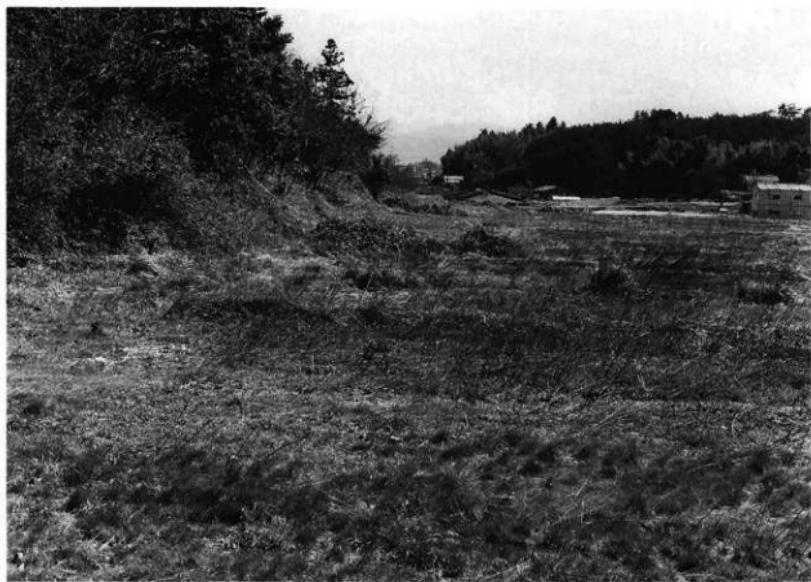
捕獲番号	種類	法 量 (cm)	樹種	形態の特徴・その他の	出土区・層
41回- 1	柵	全長 9.5 幅 4.7 厚さ 1.05			F-4区砂礫層
41回- 2	不明	残存長 8.6 幅 6.3 厚さ 4.1			F-4区砂礫層
41回- 3	不明	残存長 6.4 幅 3.7 厚さ 3.2			F-4区砂礫層
41回- 4	板材	残存長 31.2 幅 11.0 厚さ 1.9			F-4区砂礫層
41回- 5	杭	残存長 25.3 幅 6.7 厚さ 4.6			D-3区 No20
41回- 6	杭	残存長 8.0 幅 4.6 厚さ 3.8			D-3区 No21
41回- 7	板の皮	全長 9.35 幅 6.4 厚さ 3.9	板		E-3区砂礫層
42回- 1	板材	残在長 78.0 幅 6.8 厚さ 1.5			砂礫層
42回- 2	板材	全長 74.2 幅 16.0 厚さ 1.5			砂礫層
42回- 3	不明	全長 43.2 幅 23.5 厚さ 5.5			砂礫層

図 版

図版 1



田中谷遺跡調査前全景



田中谷遺跡調査前全景

図版 2



図版 3



流木検出状況

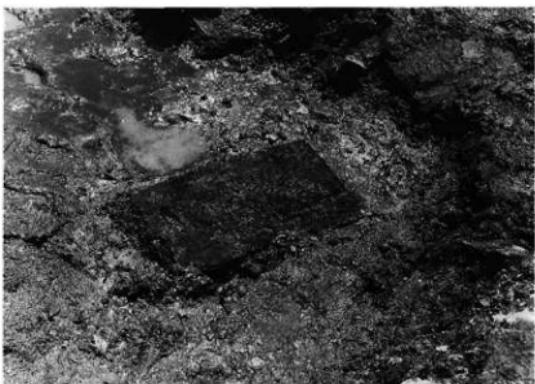


流木検出状況



旧河道土層断面

図版 4



図版 5



北区 S B-01・S K-01完掘状況



図版 6



北区完掘状況



北区完掘状況

図版 7



14 - 6



14 - 1



19 - 2



20 - 1



22 - 1



22 - 2



22 - 3



22 - 7



22 - 11



28 - 1

図版 8



26-12



27-3



33-4



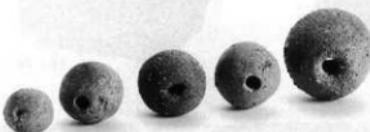
34-8



35-17



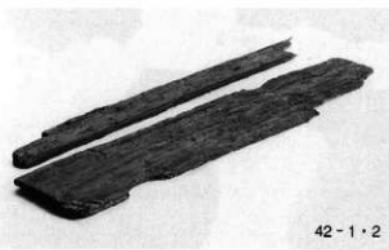
36-27



37-20~24



41-7

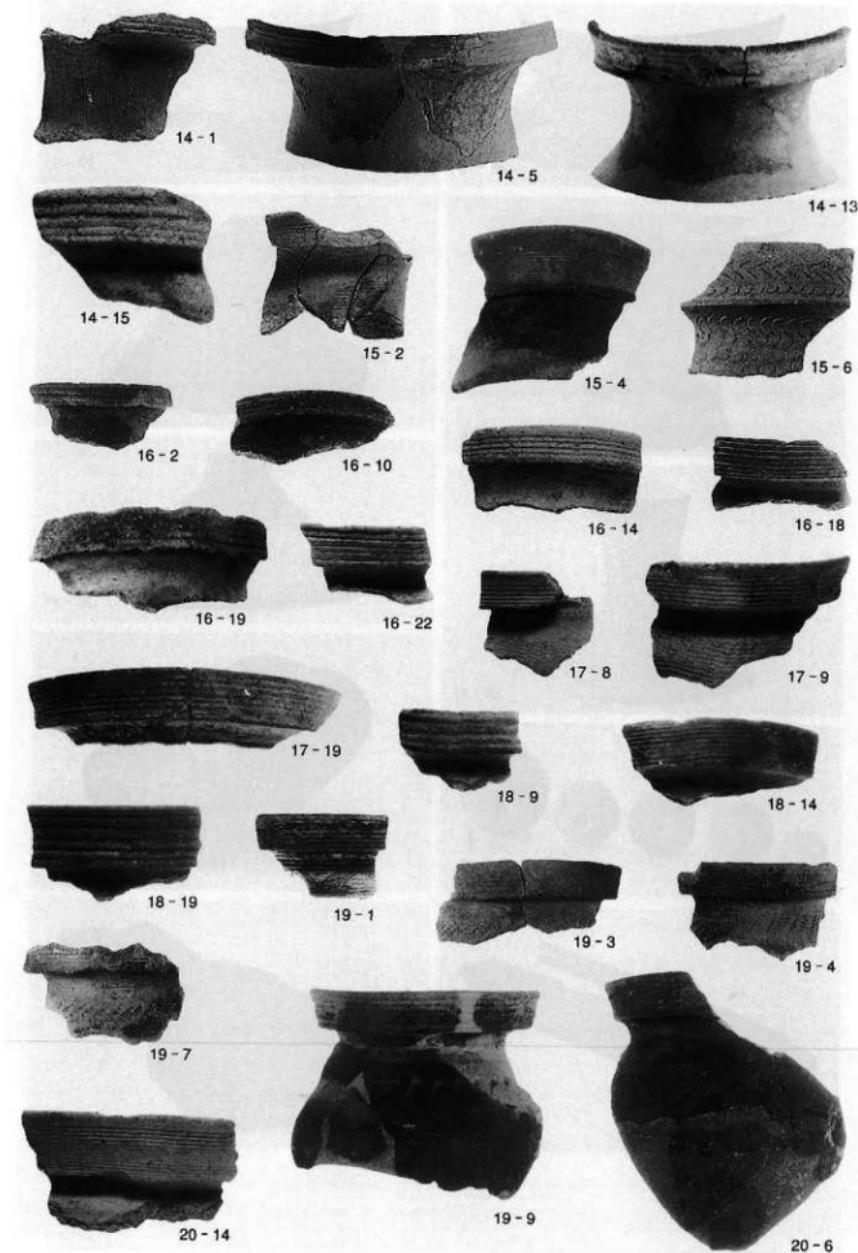


42-1・2

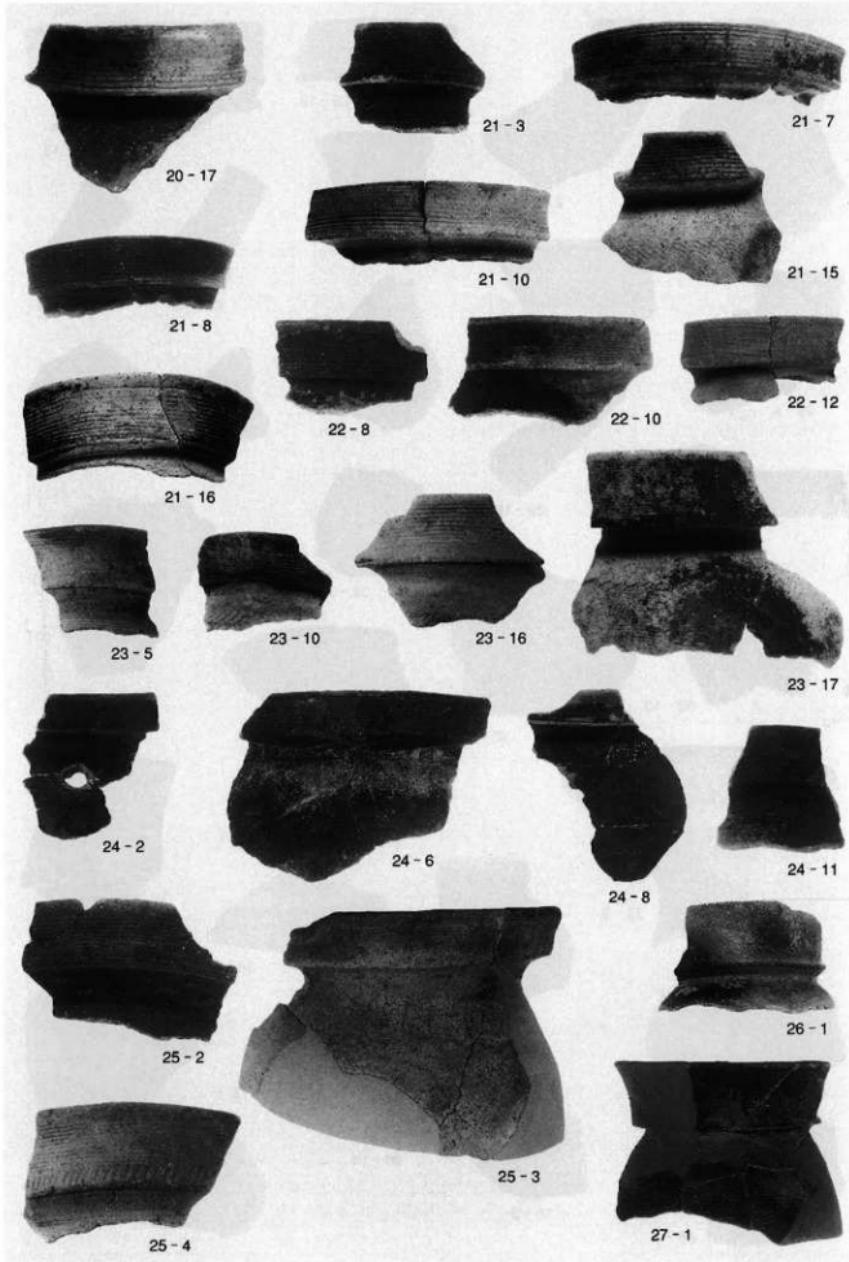


42-3

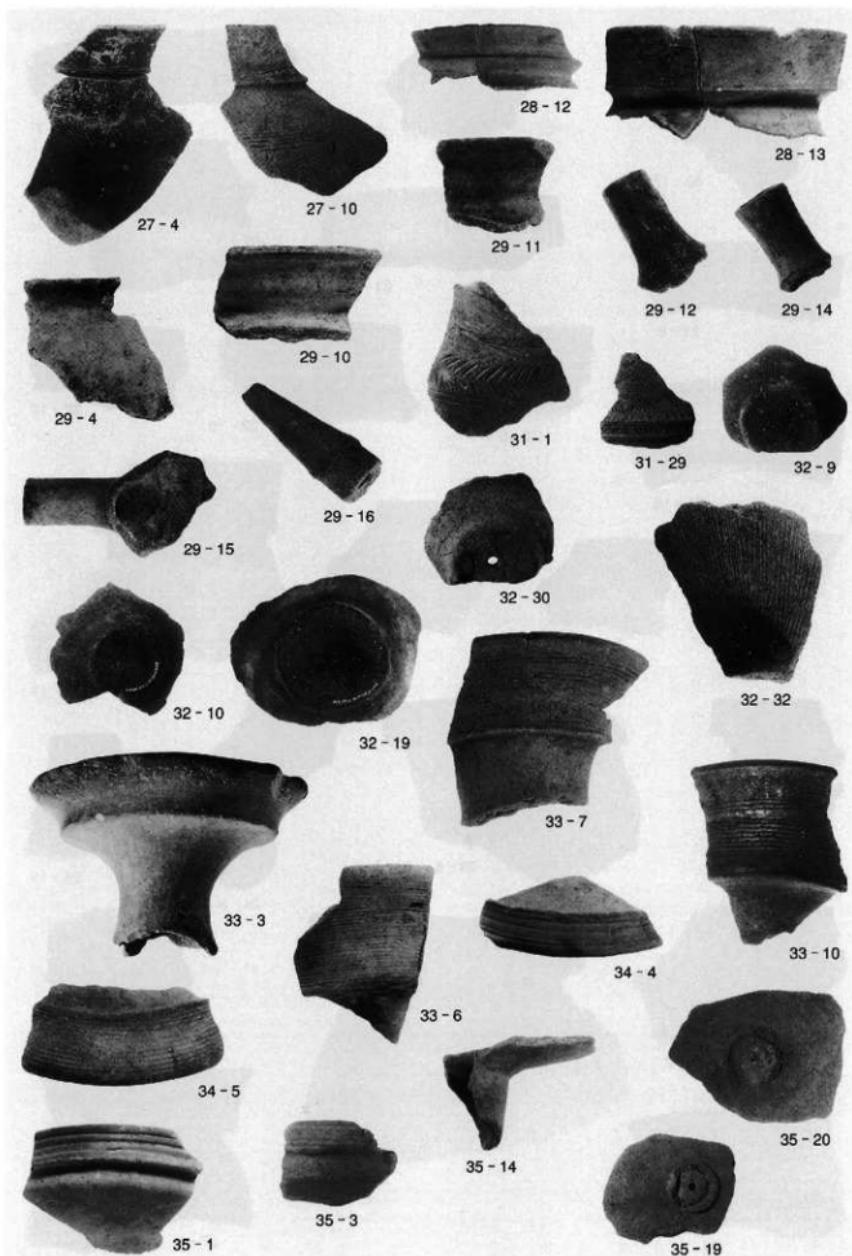
図版 9



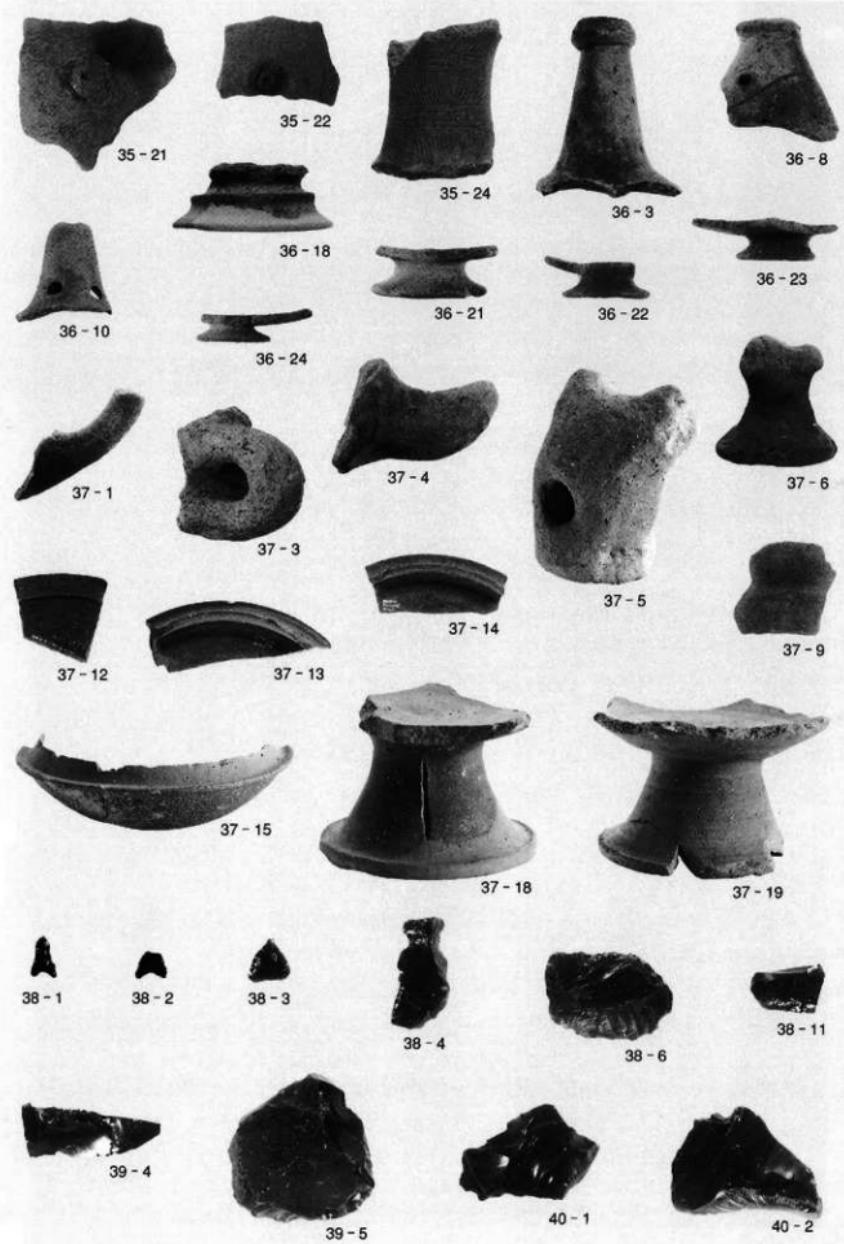
図版10



図版11



図版12



報告書抄録

フリガナ	たなかだいせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	出中谷遺跡発掘調査報告書							
副書名								
卷次								
編集名	江川幸子・石川 崇							
編集機関	財団法人松江市教育文化振興事業団							
所在地	松江市母衣町180-21							
発行年月日	2001年3月							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
田中谷遺跡	島根県 松江市 法吉町	32201	K-042	35° 29' 30"	135° 32' 50"	2001.4.10 ~ 2001.7.26		1,800m ² 道路建設
所収遺跡	各種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
田中谷遺跡	散布地	弥生時代	掘立柱建物跡	弥生土器 須恵器 木製品 石器				

田中谷遺跡(IV区)発掘調査報告書

2001年3月

発行 松江市教育委員会
財団法人松江市教育文化振興事業団

印刷 有限会社 渡部総合プリント
松江市邑生町142-18